

市整会四十周年記念誌

市 整 会



市

整

會

## 目次

巻頭言	市整会会長 鳴嶋真人	7
祝辞 市整会 40 周年おめでとうございます。		
	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教室 教授 中村博亮	8
// 常温で生きるということ		
	大阪市立大学大学院医学研究科 リウマチ外科学 教授 小池達也	9
// 市整会創立 40 周年記念誌に寄せて		
	大阪市立大学大学院医学研究科 同門会 会長 北野公造	10
// 市整会創立 40 周年に際し		
	大阪市立大学大学院整形外科同門勤務医会 会長 高見勝次	11
[ I ] 40 年を顧みて		13
1. 市整会 40 周年回顧と展望	市整会会長 鳴嶋真人 (S54)	14
2. 市整会発足当時の思い出	伊藤成幸 (S25)	16
3. 市整会 40 周年を迎えて	木下 孟 (S28)	18
4. わが友	吉中正好 (S36)	19
5. 会長職のハシゴで終わるわが人生	長田 明 (S38)	20
6. 市整会 40 周年にむけて＝その回顧とこれからの展望	南平克積 (S45)	23
7. 市整会にかかわって	頼 功 (S49)	24
[ II ] 市整会 40 周年記念祝賀会		25
[ III ] 自由投稿		
1. 彫塑 野島の崎	石上 直 (S32)	40
2. タングとボヤキと	榎本高明 (S39)	41
3. 片麻痺における痙縮固縮	永田清員 (S40)	43
4. 孫達と私	黒田晃司 (S46)	44
5. 市整会ゴルフコンペ	楯憲一郎 (S52)	47
6. 勤務医と開業医の私	鳴嶋真人 (S54)	48
7. 家族会	安田浩成 (S54)	50
8. 家族会	増田宗義 (S54)	51
9. 南仏紀行	宮脇裕二 (S55)	52
10. 市整会 40 周年記念行事を担当して	斧出安弘 (S56)	54
11. 35 周年から 40 周年への思い	寺川文彦 (S57)	56
12. 大好きなゴルフ	増田 博 (S57)	57
13. 市整会 40 周年おめでとうございます	上野憲司 (S60)	58
14. 自己紹介及び近況報告	宮口正継 (H7)	59
15. 祝！ 40 周年！！	木下裕介 (H7)	61
16. 準備委員としての 40 周年記念式典がおわり・・・	森川献志漢 (H8)	62
17. 再生医療に思う	片岡威博 (H14)	63

[ IV ] アンケート

1. 木下 孟 (S28)	20. 佐藤哲也 (S54)	39. 伊藤智康 (S63)
2. 妻鹿利和 (S31)	21. 田嶋考治 (S54)	40. 國重昌彦 (H2)
3. 石上 直 (S32)	22. 清水孝修 (S54)	41. 小堀肇彦 (H3)
4. 江口 亨 (S36)	23. 堀澤欣弘 (S54)	42. 木下裕介 (H7)
5. 長田 明 (S38)	24. 和田健志 (S54)	43. 鈴木英介 (H7)
6. 榎本高明 (S39)	25. 安田浩成 (S54)	44. 森川献志漢 (H8)
7. 三明靖昌 (S39)	26. 宮脇裕二 (S55)	45. 明石健一 (H11)
8. 前野岳敏 (S41)	27. 秋野一男 (S56)	46. 小竹志郎 (H11)
9. 門田嘉弘 (S43)	28. 斧出安弘 (S56)	47. 高尾泰広 (H13)
10. 奥田好彦 (S44)	29. 田中直史 (S56)	48. 田口 晋 (H13)
11. 黒田晃司 (S46)	30. 喜馬秀樹 (S56)	49. 木村浩朗 (H14)
12. 南平克積 (S46)	31. 天野祐一 (S57)	50. 中尾佳裕 (H14)
13. 山藤修輔 (S46)	32. 増田 博 (S57)	
14. 山田忠尚 (S46)	33. 柳井尚浩 (S57)	特別参加
15. 菱川 泰 (S48)	34. 馬野隆信 (S58)	49. 斉藤英雄 (S48)
16. 楯憲一郎 (S52)	35. 光武 宏 (S58)	市立藤井寺市民病院
17. 鳴嶋真人 (S54)	36. 中瀬嘉人 (S59)	50. 鄭 明和 (S60)
18. 西上茂樹 (S54)	37. 長濱信一 (S59)	岸和田徳洲会病院
19. 飯田伊佐男 (S54)	38. 橋本亮治 (S60)	

[ V ] 市整会の歩み (年表)	83
-------------------	----

[ VI ] 資料	91
資料1 スケルトンコンペ・市整会コンペ 成績表	92
資料2 整形ソング / 歌詞	93



# 巻 頭 言



市整会会長 鳴嶋真人

市整会（旧大阪市立大学整形外科開業医会）は、初代伊藤成幸会長のもとに、わずか31名の先生方が中心となって、1972年に発足しました。その結成の目的は開業の苦難克服、相互扶助、資質向上、最新の医療を勉強するためと伺っております。今年（2012年）で創立以来40周年を迎えるにあたり、会員数も204名にのぼるという大所帯にまで発展いたしました。

市整会が今日あるのは、初代伊藤成幸会長を初めとして、2代目より順に松尾、吉中、長田、榎本、南平、頼会長と引き継がれた各会長の努力は勿論のことではありますが、その年代で歴代会長をサポートしていただきました会員各位の御協力、ご努力の賜であると確信しております。

さらに、この度、このように40周年の記念事業を楽しく盛大に催すことができますのも、会員の皆様方のご尽力のおかげであると心より感謝申し上げます。

一方、市整会は今年40周年を迎えるにあたり、会員各位の年齢層も拡大してきております。さらには二世代会員も多数おられ、2つの世代にわたるような年齢構成に変化してきております。

そこで、今回、市整会40周年記念事業として、記念誌の発行をすることになりましたが、そのテーマとして『市整会40周年、回顧と展望』をあげさせていただきました。これには二つの世代の意見交換という意味があります。つまり、先輩の先生方の貴重な経験から、にじみでる意見そして逆に若者から出る斬新な意見、いずれも重要な意見ですが、これらの貴重な意見を十分に役立て活用し、これからの市整会をさらに盛り上げていきたいと考えております。

整形外科医の使命は、患者が運動器機能を高いレベルに維持し《健康寿命》を延伸することにあります。市整会はこの整形外科医というアイデンティティとプライドを共有して、全会員の資質向上と会員相互間の協調と親睦扶助を目的にこれからも皆様と共に頑張っていきたいと考えております。

また、市整会々員、御家族の皆様のこれからの益々の発展と、ご多幸を心より祈念しております。



## 市整会 40周年おめでとうございます。

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教室  
教授 中村博亮

市整会 40周年おめでとうございます。40年間の長きにわたって会を運営、維持されてこられました歴代の会長、役員それから会員の先生方に心から敬意を表します。昭和47年に発足準備委員会をつくられた際には伊藤先生が初代会長を務められ、会員数は31名で発足された由、その後40年の歳月を経る間、現代の鳴嶋会長に至るまで歴代8人の先生方が会長になられ、会員数も現在では200名を超えるという大所帯になったと伺っております。

40年という歳月ですが決して短い時間ではありません。そこでそれを実感するために40年前すなわち1972年にどういう出来事があったかを調べてみました。2月には元日本兵・横井正一さんがグアムで発見されました。帰国時に発せられた「恥ずかしながら帰って参りました」という言葉は当時の流行語になったように記憶しております。この帰ってくるのが恥ずかしいという感覚は、今となっては理解しがたいものかもしれません。また同月にはあさま山荘事件がありました。多くの機動隊員が浅間山荘を取り囲んだ様子は今でもはっきりと覚えています。また、5月にはアメリカ占領統治下にあった沖縄が日本に返還されました。このように1972年は種々歴史に残る出来事があったようです。振り返ってみれば、このあたりが戦後という時期が一区切りを迎えたのではないかと、とかと思います。その時期に新しい会が発足したという事は決して偶然ではなかったように思えます。この定義で言えば1958年生まれの私は戦後生まれという事になるのかもしれませんが。それから40年という歳月が流れ、2012年ももう終わろうとしています。

今年も色々なことがありました。あまりいいことがなかったようにも思えますが、その中でもわれわれの同門である山中伸弥先生がノーベル賞を受賞されたことはビックニュースでした。昔の彼を知るものとしてはノーベル賞が少々身近に感じることであった瞬間でした。

さて、大学には大阪府統合の大きな波が押し寄せております。医学部も例外ではなくその変革が余儀なくされます。2016年あたりを目途に大阪都立大学？が誕生するかもしれません。2013年は大変な変化の年となりそうですが、教室はその変化の波に適切に対応する必要に迫られることとなります。これからも市整会の先生方の多大なるご支援とご指導をよろしくお願いいたします。



## 常温で生きるということ

大阪市立大学大学院医学研究科 リウマチ外科学  
教授 小池達也

市整会 40 周年、おめでとうございます。市整会と言えば、先輩の方々の顔しか思い浮かばないのですが、僕より若い世代の方も実は多く、僕自身の医者人生も長い期間になってしまったことを実感させられます。記憶というのは面白いもので、40 年前（なんと高校生でした）の思い出の映像と 15 年前（ボストンにいました）の古い我が家の周辺の懐かしい景色と 1 年前の手術室での光景と、思い出してみれば色合いも光度もコントラストも全部一緒です。写真ならセピア色になっている風景も記憶の中では、「今」となにも変わらない鮮明な絵として浮かび上がってくれます。市整会を支えてこられた諸先輩の方々の記憶も同じでしょう。それらの記憶に支えられるようにして、今の市整会があるのではないのでしょうか。

大阪市立大学医学部整形外科に所属しようと決めた医者は、その後 3 つのグループに分かれます。大学そのもので働くもの、市中の病院で勤務医として仕事をするもの、そしてクリニックを開くものです。僕自身は開業を考えたことは一度もなく、今後も全く考えていません。理由は、研修医の時から基礎あるいは臨床研究をしたいと思ひ、今もそう思っているからです。昔の「白い巨塔」で、俳優の山本学が基礎研究を辞めて臨床に戻る決意をして吐く台詞がありました。「試験管を振っていても誰も助けることが出来ない、目の前の患者を助けるために臨床をやる。」というような意味の言葉でした。それを聞いたとき、僕が何をしていたかは記憶にありませんが、この言葉は間違っていると思いました。研究により、新しい治療法を編み出したり、薬を開発すれば、一挙に多くの患者を助けることが出来るからです。手術をするようになった頃に計算したことがあります。僕が何かの手術が非常にうまくなったとして、一生のうちにどれくらいの患者を助けることが出来るかと数えてみれば、せいぜい多く見積もっても 1 万人くらいでした。しかも、そのテクニックは後輩にうまく伝わるとは限りませんので、たいていはそれで終わり。それよりは、研究により、もっと普遍的に使用できる治療法を考えたいと思ったのでした。

こういう書き方をすると、「お前は開業医を馬鹿にしているのか？」と言われそうですが、若い頃は確かにそう思っていました。でも、それは医者としての若い頃で、僕自身ももっと若かった頃は、実際に診察をして貰っていた近所の開業医の先生を尊敬していました。その先生に聴診器を当てて貰うと、それだけで気持ちが和らぎ、熱もひいて行くような感じでした。その雰囲気にあこがれて医者になったようなものですから。そして、今、開業と言うものをどう思っているかという、「常温で生きること」だと思っています。研究の世界は生き馬の目を抜く程ではないにしろ、高温であったり低温であったりすることがしばしばです。それに比べて、開業での診察は常温で患者さんに接することが出来るのが最大の特徴じゃないでしょうか。その常温が患者さんには気持ちいいのです。

でも、その常温の世界にも最近変化が生じ始めています。リウマチの世界で言えば、作用機序が分からないまま使用されてきた従来の抗リウマチ薬に取って代わって、生物学的製剤をはじめとする分子標的薬が幅をきかせる時代になってしまいました。のんびりと治療することは非難的と成り、高速治療が要求されます。2000 人前後のリウマチ患者を抱えるメガクリニックも全国に多数存在します。患者がそれほど多くない大学病院など太刀打ちできなくなっています。そういうところでは、常温での治療が実施されることはなく、患者さんの気持ちよさは、少し横に置かれてしまいます。市整会の先生方には、やはり「ほっとする」治療を続けて頂きたいと思ひますし、そのために高温低温治療は、走り続けている我々がサポートできればなどと思っています。うまく有機的に連動できれば、というのが今の僕の気持ちです。



## 市整会 (大阪市立大学整形外科開業医会) 創立 40 周年記念誌に寄せて

大阪市立大学大学院医学研究科  
同門会会長 北野公造

市整会創立 40 周年を迎えられおめでとうございます。40 周年記念誌の発行をお慶び申し上げます。1948 年に初代水野教授のもと、教室が創立されてから、小谷教授、島津教授、山野教授、高岡教授、2009 年から中村教授と 6 代に渡り教室は発展を続けてまいりました。この 64 年間の教室および同門諸先生の数々の輝かしい業績には、初代伊藤成幸先生が会長として立ち上げられた開業医会の大きなご貢献がありました。1972 年 11 月の発足準備会を 31 人の発起人で始められ、1973 年 5 月、第 1 回総会以来、歴代の会長、第 2 代、松尾澄正先生、第 3 代、吉中正好先生、第 4 代、長田明先生、第 5 代、榎本高明先生、第 6 代、南平克積先生、第 7 代、頼功先生そして現会長の鳴嶋真人先生まで 8 人の会長のご尽力により、着実に会員数を増やされ、現在 204 名の会員の方々が活動中とのことです。歴代会長のご尽力に加え、支えて頂いた副会長はじめ役員の方のご協力、ご努力および会員の皆様の家族を含めたチームワークの賜物と思われまます。定款には、会員の資質の向上、協調・親睦、教室との連携を掲げて、整形外科を中心とした学術講演、医療・福祉・保健の諸制度に関する情報交換、親睦ゴルフ大会、家族を含めての文化講演、旅行、記念行事など、多くの催しを開催されました。会の活動状況の報告を詳細に記録に残され、記念誌にはそれぞれ個性豊かな趣味、特技、人生哲学などについて投稿され、楽しい思い出、貴重な経験を家族同様に共有しながら、定期的に 25、30、35 周年記念誌を編纂してこられました。引き続き、100 周年記念誌を目指して、継続されることをご祈念申し上げます。

教室の学会担当、記念行事のたびに、市整会の先生方から多額の賛助を頂きました。ありがとうございます。多くのご貢献の中でも、奨学金制度は、市整会の先生方の“暖かい志の結晶”です。是非、若い先生方に有効に奨学金を利用して頂けたらと願っております。今後も、引き続き教室への賛助をよろしくお願い申し上げます。

わが国は、2012 年 9 月、100 歳以上の方が、5 万人を越え、喜ぶべき長寿国ではありますが、約 10 年後、団塊の世代の方々が 75 歳前後になり、年間死亡者が、現在より 50～60 万人増えるとのことです。病院だけではなく、自宅あるいは施設での介護、看取りが必要になりそうです。超高齢化に伴い、骨折、脊椎変性疾患、変形性関節症などの患者さんが増える事が予想されます。今まで以上に病診連携が必要になり、開業医の先生方、市整会の皆様がさらに忙しくなりそうです。市整会の先生方がいつまでもお元気で、医療・福祉・保健の業務に精励され、社会的なご貢献をされますように、併せて、その余暇を楽しく活用され、充実した日々を過ごされますようお祈り申し上げます。



## 市整会創立40周年に際し

大阪市立大学整形外科同門勤務医会  
会長 高見勝次

市整会創立40周年に際し、心よりお喜び申し上げます。

大阪市立大学整形外科同門会の開業なさっている先生方の結びつきの強さに、感服しております。会員の資質向上、会員相互の協調と親睦を目的に学術講演会を年4回、文化講演会を毎年秋に、そして家族旅行、ゴルフコンペも催されており、これほど活発に行動されている会は世間一般に、もちろん大学同門会でもないのではないかと思います。

一方、大阪市立大学同門勤務医会は平成14年に同門会の構成要素の一つとして、大学医局、市整会につぐ第3の組織として、発足いたしました。現在、同門会所属勤務医（大学を除く）は約180名おりますが、毎年夏に行われます総会、学術講演会には50-60名が集まる程度で、市整会の充実ぶりからしますといささか見劣りがします。市整会創立40周年記念祝賀会にお招きいただき、勤務医会を大阪市立大学整形外科同門会を構成する三本の矢の一本として、充実させる必要性を実感いたしました。

今後、さらに市整会の先生方と親睦を深め、交流を活発にできればと思います。さしあたっては、学術講演会にお互い出席する機会を多くすることから始められればと思います。次回は平成25年7月27日（土曜）に第12回勤務医会講演会を開催の予定です（ご案内申し上げます）。市整会の先生方の御出席、何卒よろしくお願い申し上げます。

市整会の今後のますますのご発展、心よりお祈り申し上げます。

平成24年12月8日



[ I ]40 年を顧みて



## 市整会40周年回顧と展望

市整会々長  
鳴嶋真人

市整会は、1972年11月に31名の発起人の先生で発足したそうです。初代市整会々長を17年間勤められた伊藤成幸先生によると、昭和47年日本中の学園紛争も終わり、市大整形も、やっと落ち着きを取り戻した頃、松井善邦、宮内貴、吉田洋等の先生方が中心となって「開業医は一国一城の主ではあるが、個人の力はしれたもので、それぞれの力を結集すれば大きな力となり、何かがやれるのではないか。」ということで、開業医会を作ることになりました。

会員数の経過は当初、整形外科同窓会々員総数は165名で、約1/5の34名が開業医会々員でした。約18年後の昭和63年同窓会々員314名で約1/3の100名が開業医会々員であり、その時にやっと100名を超えました。現在、平成24年では同窓会々員数約520名で約206名の開業医会（市整会）々員数となっております。

このように、206名の会員を擁した整形外科開業医の会（同門会や同窓会ではなく）は現在でも、他の大学では全く、その類を見ないものであり、他大学の先生方や講演に来られる講師の先生方からも羨ましがれております。これは我々の先輩が時代をさきがけて創立された市大の誇りであり、同門会にとっても大きな財産です。

伊藤成幸初代会長は、25周年記念誌に市整会の将来に対する夢を6つ語っておられます。これらの夢の現状と、これからの展望を私なりに述べさせていただきます。

第1は、大学や関連病院との相互援助活動です。これは市整会の第一命題であり、歴代会長が苦勞された歴史があります。市整会々員の開業医が倒れたときの支援体制です。これには、中村博亮教授はじめ、医局長の寺井秀富先生の御理解で、大変スムーズに対応して頂き、中村博亮教授の「全面的にバックアップさせていただきます」と言う言葉を頂き、こんなに心強く思ったことはありません。

また、市整会内にも会員各人よりアンケート情報を頂き斧出安弘先生、森川献志漢先生を中心に市整会々員相互の支援プログラムも作成されています。

これは市整会で現役をリタイアされた先生の活動が貴重であり、現に江口亨先生、竹村永先生にご協力頂いたことは幸いでした。感謝申し上げます。

また、頼功会長、斧出安弘先生の御尽力のおかげで市整会ホームページが完成したことをはじめとし、また会員相互間のメーリングリストと綿密な情報ネットワークが完成されています。つまり大学や関連病院の先生がある臨床症例や疾患を集めたいとなると、このネットワークを通じてその先生に症例を提供できると考えます。

ゆえに大学や関連病院の臨床症例のすそ野が広がったこととなります。つまり市整会々員各人が大学や関連病院と連絡を密にすることで、基幹病院の臨床研究活動をよりスムーズにできるように貢献できると考えています。

第2は、市整会から日整会の評議員を出すことです。当時は伊藤成幸先生だけでしたが、これは大学、同門会の協力のもと現在、阪本邦雄先生と鳴嶋真人が担当しております。整形外科の中央情報を知り、日整会の情報を会報だけでなく、皆様にお伝えしてまいりたいと思います。

第3は、健康保険の審査員との関係を密にして、多くの情報を得ることです。そのためには、多くの審査員を市整会の先生が担い、御活躍して頂くことです。

現在では社会保険の審査員に岩本善介先生、寺川文彦先生、増田博先生が活躍されています。なお、国民健康保険の審査員には森沢康二先生が活躍されています。

労災保険の審査員には楠正敬先生、頼功先生、安田浩成先生、宮内晃先生が活躍されています。

その他、大阪府医師会や各地域医師会で活躍しておられる先生も多数おられます。

多くの市整会々員の先生方が出務担当され、市整会としても保険労災担当の天野祐一先生を中心に情報収集に努め、これらの先生方を講師にお招きし、新しい情報を提供して頂き、会員にプラスになる機会、講演会などを企画したいと考えています。

第4は、医療経営対策と医事紛争対策です。医療経営は診療報酬改定のたびに憂鬱になりますが、まずは市整会々員は医整会に入会参加し活動に期待し、医整会を応援します。改定のたびに勉強会なるものを企画して、会員相互間の知恵を出し合わなければなりません。

医事紛争問題では、大阪府医師会の紛争処理委員会があり、市整会々員各人が必ず医師会保険に入って対応して頂きたく思います。

また、委員は以前、木下孟先生がご担当され、御活躍されました。日々注意を怠らないようにして、資質向上に努め、未然に防ぎたいものです。

第5は、資質向上を目的とした勉強会、つまり学術講演です。これは私も長年苦勞してきました。南平克積元会長時代より学術の担当で講師選定で指導を受け、頼功前会長より、出席者数の倍増を至上命題に与えられました。それには『Up to Date な情報でなおかつ明日の診療に役立つ内容の講演』。これに尽きると確信して企画しました。MRIシリーズでは、各大学の放射線科の教授で骨関節疾患の専門家としている臨床の第一線で活躍中の人ばかりを招聘しました。またリウマチの生物製剤では、開業医の立場からお話頂ける人を中心に招聘しました。

H24年3月の講演では、超高齢化医療の先制医療として、遺伝子レベルのお話まで頂いた元京都大学総長の井村裕夫先生に講演頂けたことは大変嬉しいことでした。オーナズ社会へ突入するこれからの日本の医療のあり方、これからの先制医療、また遺伝子レベルの疾病のとらえかたなど、興味深い講演でした。

今後も、この至上命題を考えて、増田博副会長をはじめ、学術担当先生が力を合わせて、素晴らしい講師の先生を招聘して頂けることを期待しています。

第6は、最も大切な会員、家族を含めた会員相互の親睦です。これは、昔の先輩方のような、懐かしき、よき時代の豪快な旅行や、企画が出来ないのが、今の時代かと、少し考えさせられます。

しかし、頼功会長時代より、スケルトンが正式に市整会行事となり、年2回市整会ゴルフコンペが催行され、会員相互はもちろん勤務医の先生の多くの参加で活発に活動されています。

旅行は、最近日帰りバス旅行ですが、観光と味覚探訪で、家族、孫を連れての楽しい企画を考えています。

頼功会長より頂いた命令で「家族、会員全員が楽しめる企画を作って、バス2台で行くように」とこれまた、倍増計画の至上命令を頂きました。

会員の皆様よろしく御協力、御参加の程よろしく申し上げます。

長年お世話頂いた楯憲一郎先生より引き継いだ安田浩成副会長のもと、長濱信一先生はじめ、福利厚生を担当先生方のおかげで、今後も活発に活動し、1人でも多くの家族、会員の参加を得たいと考えています。

当初30人余りで発足した、大阪市立大整形外科開業医会も現在206名の市整会に成長しました。

そして記念すべき40周年を私の時に催すことが出来たことは、身に余る光栄であると感謝いたします。市整会の長い歴史を築かれた、諸先輩の先生、会員各位に対しては「市整会々員の総意は何か？」を常に念頭において、今後も執行部、スタッフ一同、一致団結して研鑽していく所存です。

会員皆様の御協力、御指導と、一致団結した和を宜しくお願い致します。



## 市整会の発足当時の思い出

伊藤成幸 (S25)

すばらしい 40 周年記念式典と祝宴でした。

祝宴で私が初代会長ということで乾杯の音頭をとるように云われ舞台上に上って会場を見わたした時、40 年前、ともに市整会を作り発展に寄与した人たちの顔が見え、市整会発足当時のことが、走馬燈のように思い出されました。

昭和 47 年、大学紛争も終わり、市大医学部も、やっと落ちつきをとりもどした頃、宮内貴、松井善郎、吉田洋等の先生方の呼びかけで、市大整形外科教室出身の開業医の先生方が、一人一人個人の力はしれたもので、それぞれの力を結集すれば、大きな力となり何かやれるのではないかというようなことで、開業医の会を作るべく、何度かの会合、打ち合わせののち、31 名の先生方が発起人となり、昭和 47 年 11 月 26 日、あべの橋の当時のエコーホテルにて、市大整形外科開業医会準備会がひらかれました。そしてそれが、市整会の幕あけとなりました。資料 1 はその時の開業医の皆さんへの案内状です。

翌年、昭和 48 年 5 月 20 日、第 1 回開業医会総会が開催されました。その時の案内状は資料 2 です。この時、すでに会の形態がかなりしっかりしておりました。総会のあと、小谷教授に「大学紛争の前後一現在の医局について」と言う演題で、「教室のなかも、やっと落ちつき、少しずつ研究活動や内部の秩序も回復してきた」というようなお話でした。大学紛争を経験していない方は、想像もできない大変な時代であったということです。

その後、毎年の総会では、その時々教授や教室の先生方に、講演をしていただくのが恒例になりました。

開業医会としての行事や事業は、その年々によって、いろいろなことをやりました。

その一つは、文化講演です。2,3 例をあげますと◇村松剛先生(筑波大教授)の中近東の国情について、数回に分けて拝聴しました。先生は、35 年程前、すでに中近東での現在の紛争を予告しておられ、第三次世界大戦は、この地域が火種になる危険があると云っておられた。◇竹本住太夫さん(人間国宝)の文楽の話。◇長谷川瀧度先生(四柱推測命)線の不思議◇高田法胤先生(現在薬師寺管長)佛教における心の◇林直道先生(大阪市大教授)百人一首の秘密、等々。

これらの講義のあとは、講師の先生方と一緒に食事や酒を酌みかわしながら講演では聴けない、いろいろな裏話を、聞き出したりして、非常に楽しい思い出です。

このようなお話を拝聴して、知識だけでなく、私達は、考え方や心が人間としての幅が大きくなったように思います。

もう一つは、観光旅行とゴルフです。これも非常に楽しい思い出があります。

昭和 54 年、第 1 回目の旅行は、小林栄次郎先生のお世話で、九州の唐津、呼子、名護屋城等へ参りました。初めての旅でとくに印象に残っております。呼子では、大きなで生け簀で泳いでいるイカの料理は、皆さんはじめての経験で、イカの足の吸盤が口の中や顔に吸いついて、何とも云いようのない食感で、ワイワイと非常に楽しいひとときでした。

当時大阪では泳いでいるイカなどは見られない時代でした。また川蟹の料理も大阪では味わうことのできないので、私ども大満足の旅行でした。

その後いろいろなところへ行きましたが、その行った先々での思い出が、今も鮮明に頭に残っております。3 回

目の熱海での豪遊。9回目の長崎では、シーボルトと関係のある沢井先生とシーボルトの遺跡をたずねて回ったのが昨日のように思い出されます。

20周年記念は、松尾先生が会長で、非常に盛大に記念式典と祝宴が行われました。祝宴で鳳蘭さんのショーがあり、蘭さんの歌に聴きほれていた時、私の肘の上に蘭さんが腰をおろして私の顔を見ながら歌をうたうという事件？がおこり、私自身びっくり。体のコワバリと、いいようのない気持ちでした。これも私の一生のうちのよき思い出です。

また、いろいろな方に大変お世話になったこと等次々と思ひ浮かんで参ります。しかし、今、この40年を振り返るとアッと云う間のような感じがいたします。

歴代の会長、役員、そして会員の皆様。特に今回の鳴嶋会長はじめ執行部の皆様いろいろお世話になりありがとうございます。

資料1

資料2

資料1  
 解散の概、先生方には益々ご健勝にてご治療のことと拝聴いたします。  
 私共が臨時として教育をうけました大阪府立医科大学が解散されて30年経ちます。大阪府立医科大学では30周年記念行事も催される由に聞きかまっております。その間、後者の先般、後者の松先生方が解散以来でご健勝されておられますが、卒業生同様に互いに健康に留意を要することを希望いたします。  
 私共が所属しているものは、その前多岐多岐と特種な余給もなく、臨時は先生方および各関係機関の先生との交遊を催する機会も少なく、また、競争する機会も少なく、お互いの交遊の機会もなし得ずやまらぬことは互いに不承かと思ひます。  
 私共が所属しては、例えば、腎臓研究会への参加、大学卒業との学歴交換、医師および医業員の充足対策、医業の学術的および公衆化、医業制度・医業の研究など種々の問題点を各機関もろかと思ひます。  
 これらの問題をもちよつて、相互の懸念の協力をほかり、大学医師および各関係機関との調整を要する問題の内部を認めたいと思ひます。  
 また、医業制度の改良、交換を要め、医業制度およびその知識情報の交換を行ない互いに促進を望み、相互協力をめぐる向上を図り、相互の連絡・協力を推進する目的をもつて、毎日公衆化有志の集りとなりました。  
 開会いたしました臨時協議会を組織いたしました。協議会に賛同（ご賛同）してご賛同ご協力をいたします。  
 既にご賛同いたします大阪府立医科大学（11月26日）には、多くの先生方のご協力を賜りお返しのご協力くださりまして、将来協力的な関係を築きより先生方のご協力をいたします。  
 昭和47年11月 日  
 大阪府立医科大学臨時協議会  
 日時 昭和47年11月26日（日）午後6時  
 会場 ホテル エコー 赤への梅園  
 会費 ¥5,000の2  
 1. 定款原案の検討等議  
 2. 府立医の解散および合併の検討  
 3. 空の活用、医業の件  
 4. 暫定執行部委員の承認を求める件（注：昭和46年3月31日まで）  
 5. 個人献金につき承認を求める件  
 ※なお、当日、会の発展の承認を求められれば、会費にて開会の入会申込書を受けたいと思ひます。申込書をご持参ください。  
 発起人（敬不問）  
 上田 勇 夫 井 井 一 安 藤 和 夫 海 原 正 治  
 伊 藤 誠 幸 大 村 隆 一 田 中 忠 敏 杉 田 道 治  
 松 岡 隆 彦 有 馬 英 之 田 中 忠 敏 松 野 光 夫  
 吉 田 昭 有 馬 隆 徳 藤 敏 夫 吉 岡 正 徳  
 小 野 友 枝 田 中 隆 徳 藤 敏 夫 吉 岡 正 徳  
 吉 田 洋 小 寺 太 平 松 井 善 邦 竹 村 水  
 藤 田 隆 良 田 英 之 上 原 昭 夫 小 田 政 郎  
 堀 川 忠 藤 田 隆 上 田 英 弘

資料2  
 市大医業医会 第 1 号  
 昭和 48 年 5 月 1 日  
 各 会 員 殿  
 開 議 会 長 伊 藤 誠 幸  
 牙 / 国 大 阪 市 大 整 形 外 科 關 東 医 会 定 期 総 会 開 催  
 について  
 本 会 定 款 第 7 条 により 標 記 総 会 支 下 詔 の と あり 開 催 いた します の で 御 謝  
 知 いた します  
 記  
 日 時 昭和 48 年 5 月 20 日 ( 日 ) 午 後 4 時 ( 時 間 厳 守 )  
 場 所 大 成 閣 ( 大 丸 十 台 百 貨 店 の 間 を 東 へ 200 米 )  
 議 会 次 第  
 1 開 会  
 2 会 長 換 抄  
 3 議 長 選 出  
 4 報 告  
 5 昭和 47 年 ( 設 立 47 年 ) 庶 務 及 び 会 計 報 告  
 理 事 及 び 監 事 の 選 出  
 6 議 事  
 1) 昭和 47 年 度 歳 入 歳 出 決 算 に 関 し 承 認 を 求 め る の 件  
 2) 昭和 48 年 度 専 業 計 画 及 び 其 の 承 認 を 求 め る の 件  
 3) 昭和 48 年 度 歳 入 歳 出 予 算 及 び 其 の 承 認 を 求 め る の 件  
 4) 昭和 48 年 度 会 員 職 課 金 徴 収 及 び 着 附 金 に 関 し 承 認 を 求 め る の 件  
 7 閉 会

司 統 幸 親 會 開 催 ( 午 右 5 時 30 分 予 定 )  
 小 袋 教 授 出 席 大 学 約 亭 の 前 後 - 現 在 の 医 局 に つ い て ( 約 30 分 )



## 市整会 40 周年を迎えて ---- 私の開業した頃のこと

木下 孟 (S28)

市整会が発足して今年は 40 年目という節目を迎えることになり、会の運営にあたっておられる先生方に、お役目御苦労様と心からお礼を申し上げたい。

伊藤先生を中心に 30 余人の方々が開業医会として産声を上げた時には、私はまだ大学医局に在籍していた。大学紛争終結の余波がようやくおさまり、診療や研究活動が再開され、海外交流も元のように盛んになり始めたころであった。過去の資料によると、開業医のみの、困難な問題をいかに解決すべきかを話し合っていこうと言うのが会発足の目的であったとある。同時に症例検討会や談話会が始められたが、会員 200 余人を擁し活発な活動を展開している市整会の現況をみると、初代伊藤会長の先見性、指導性に敬意を表するのである。

大学から市中病院に移り、2 年後に開業したのが昭和 56 年であった。30 年近い勤務医生活がすっかり身についてしまっていたようで、開業生活になかなかなじめなかったことを思い出している。レセプトの処理や取扱のイロハも解らず、開業先輩の先生に逐一教えていただいたことは実にありがたかったものである。地区医師会の先生方とは一面識もない方が殆んどで、勢い、聴きづらいことはすべて開業医会のメンバーにお知恵を拝借したものである。困った時に、弱った時にこそ開業医会の存在が大きく見えるものである。

開業してすこしずつ、その生活にも慣れた頃、長年同窓会の理事長を務めてこられた酒井純義先生が辞意を漏らしておられるのでということで、島津教授と相談の上、後任を引き受けることになったが、自分自身の経験からも、前々から、何とかして同窓会の中に「奨学基金」を作り国内外の大学や病院の視察見学、留学の費用に役立てられないかと思っていた。同窓会に「法人格の基金にすると制約や規制が多いので、私的な基金ではじめては」と提案して早速受け入れられたが、その強力な推進力になったのは伊藤、松井、宮内、吉田洋といった先生方で、拠出金の名目で多額の金額を開業医会の会員に負担していただいた。昭和 58 年 9 月、同窓会奨学基金は発足し、金庫番ともいべき基金の会計は宮内先生に委ねられたのである。その後の宮内先生の御努力に心から敬服している。

かなり前から、80 歳になれば引退すると宣言していたが、その年の春、隠居して以降診療実務には一切関知していない。もっぱら、古い村の昔仲間と交流しているが、だんだん、出足が悪くなり、遠出することも減ってしまった。無給医時代の仲間が一人、二人と去って逝く。2 代目会長の松尾君もそのひとりである。入局後しばらくして彼と二人で講義係を命ぜられ、毎回、水野教授から準備不足で、ふたり仲良く叱られたものである。叱ることが仕事、叱られることも仕事と割り切っていた。

ご冥福を祈るばかりである。



## わが友

吉中正好 (S36)

1972年に大阪市大整形外科開業医会が伊藤成幸先生を中心とし39名の先生方によって創立され今年で40年目を迎えました。本当に年の経つのは速いもので、現在では会員数も204名とお聞きしています。現在の発展を想う時、忘れてはならない先生の名前が脳裏から離れません。

市整会、発足当時は自弁で20～30名程度の会員の先生が集まって心齋橋北詰の料亭で研究会の公演を大学の諸先生方にお願ひしその後宴会を行い日ごろの苦勞や憂さ晴らしを行っている状態でした、このため、会員の集まりも悪く、又会員数も伸び悩んでいました。この時、渡辺径宏先生が現在の様な、医業共同開催の道を開拓し、その後は会員の皆様の参加が増加し、講演者も広く深く研究診療をされている先生方をお呼び出来るようになりました。日本整形外科学会の単位も取得可能となり、このことにより市整会以外の先生方も多く参加して頂くようになり、現在のような盛大な研修会に発展してきました。これもひとえに渡辺先生の尽力によるものと心からお礼を申しあげますと同時に渡辺先生の元気なお姿を見せて頂きたく又、市整会の発展と充実振りを先生自身の目と耳で確かめてもらいたいと思っています。



## 会長職のハシゴで終わる我が人生

長田 明 (S38)

先般、藤本義一氏が鬼籍に入られた。昔、私が小学生だった頃、藤本氏は同じ堺市浜寺諏訪森の町内に住む中学生（旧制）のお兄ちゃんだった。ずっと時代が下って、昭和63年、第15回日本臨床整形外科医会研修会が大阪で開催された時、私も大阪臨床整形外科医会の役員の方の末席に連なり、いろいろお世話をさせて頂いた。研修会のメインの文化講演会の演者を藤本氏にお願いしようということになり、その交渉を私がすることになった。事務所を通すと高くつくので直接お願いすることになり、「センセ うちの会そんなに予算ありませんね。50万でお願いできませんやろか?」「アア エエですよ、1時間半くらいでどうですか、題は（大阪人間商法）にしときましたよ。あなたのお父さんには、むかし病気の度に世話になったもんや」。父親とはほんとに有難いもんだと思った。

この時の講演で「大阪商人には三途の川は渡らず…三つのべからず、つまり三つのしてはいけない事がある…」と言い伝えられている」と話された。「役せず、ハン（印）せず、金貸さず」だそうである。

1. 「役せず」は自分の商売に関連性のないお役は引き受けてはいけない。時間の無駄だということである（そのぶん精を出して働け）。
2. 「ハンせず」はあちこちでみだりに判をついてはいけない。判をつく時は、きまった机の前に座って落ち着いてつけ。
3. 「金貸さず」は金は借りるものであって貸すものではない。信頼性があるから借りることが出来るのである。なるほどもっともなことであり、三途の川を渡ってしまえば、むこうは黄泉の国、どうなるか判ったものではない。「ウンなるほど」と妙に納得して聞いていたのを思い出す。

さて、昭和53年12月に堺市医師会に入会し、ささやかな診療所を開設した。翌54年に大阪市立大学整形外科開業医会に入れて頂いた。と言うより、松井善邦先生（S31入局）に「あなたも開業医会に入らなあかんがナ、ついて来なはれ」と言う鶴の一声で、連れて行かれたところが大阪ミナミの小料理屋の2階座敷。伊藤先生、宮内先生、反田先生ほか2～3人居られたように思うのだがお名前は覚えていない（申し訳ありません）。そして反田先生がこの席を仕切っておられ、「では、当日は〇〇先生にレセプト審査のお話しをお願いすることにします」とめられた。その後、会食になり反田先生が「おいオサダ君、ワシこれずーとやってきたんやけど、後あなた頼むはナ」との事。いきなり開業医会入会と世話人の仲間の末席に座らせていただき、次回より会のお世話をさせて頂くことになった。

堺市医師会に入会と同時にどこかの分科会に入会することになっている。「整形外科医会に入ります」と言ったのだが、「堺市医師会には整形外科医会はありません、外科医会に入って下さい」とのこと。おかげで外科の先生方と一緒に外科医会の行事に参加させて頂き、楽しく過ごさせて頂いた。そして、平成2年には皆さまのご推挙を得て、外科医会会長を務めさせて頂いた。

しかし、学術講演会になると外科関連のものは興味なく、整形外科関連のものは外科の先生が対象になるためかいささか物足りなく、今一つしっくりこない。やはり整形外科医会を分離独立させねばと、いろいろと根回しして平成6年7月16日に設立総会を開いて、大阪市大整形外科開業医会の先輩である竹村永先生を初代会長にお願いして、堺市医師会整形外科医会を立ち上げた。その後、平成10年から2年間、第2代目会長を務めさせて頂いた。現在は、同じく市大整形外科開業医会の西澤徹先生が会長を務めておられる。

大阪市大整形外科開業医会も次第に会員も増え、総会、研修会、世話人会と集まる機会も増えてきた。そうすると会場の方も気を利かせて、部屋の入口に大きく「大阪市立大学整形外科開業医会様」という看板を出してくれる

ようになった。ところが当時「開業医は儲けている、贅沢をしている」と言う世間の誤解があり「開業医」と言う文言はすこし拙いのではないかと世話人会で話が出て、なにかいい名前はないかということになり「市整会」はどうだろうということになった。北海道から沖縄まで市立大学で医学部があるのは大阪、名古屋、横浜の3市である。そこで、厚かましいとは思ったが当たって砕けろとばかりそれぞれの大学整形外科医局に電話をし、「市整会」と称する団体の有無をお伺いしたところ、そのようなものは無いとのお返事を頂いた。早速、世話人会でその旨を報告し「市整会」を通称とすることに決定した。

市整会行事で思い出に残るものは多々あるが、20周年記念祝賀会（松尾会長 平成4年）、25周年記念祝賀会（不肖長田が会長 平成9年）、30周年記念祝賀会（榎本会長 平成14年）、35周年記念祝賀会（南平会長 平成19年）、40周年記念祝賀会（鳴嶋会長 平成24年）と節目節目に挙行された式典と祝宴は大いに盛り上がったと思っている。

平成7年4月より平成12年3月まで市整会会長を務めさせて頂いたが、小松堅吾先生、榎本高明先生、渡辺径宏先生がそれぞれの特徴を生かして副会長としてサポートして下さったからこそ無事務めることが出来たと思っている。改めてお三人の先生方に、そしてご援助下さった市整会会員の皆様にとありがとうございましたとお礼を申し上げたい。

その後、平成12年から2年間は大阪臨床整形外科医会（O C O A）の会長として在阪5大学の先生方と一緒に仕事をさせて頂いた。平成13年6月にはJ C O A学会（現在日本臨床整形外科学会学術集会）を大阪でお世話させて頂いた。学会会長を阪大の堀木篤先生に、実行委員長を市大の小松堅吾先生にお願いして、在阪5大学の先生方が一丸となって学会を成功裏に終了させることが出来た。学会終了後、ひと仕事を成し遂げたという連帯感、満足感が皆の団結をさらに強固なものにした事は言うまでもない。以前より、他府県の先生方から「大阪は五つ大学があるのに、よく一枚岩でまとまっていますね」言われてきたが、各大学から世話人を出し、合議のうえ回り持ちの会長を皆で支えるという最初からの不文律を踏襲しているからに他ならない・

当時、数年前より柔道整復師の問題がいろいろと取り沙汰されていたが、このJ C O A学会の前日に「柔道整復師のレセプト（正確には柔道整復療養費支給申請書）を語る会」と題して小さな集会を開かせて頂いた。全国の臨床整形外科医会会長先生には、一応連絡は出したものの、各県に柔整レセプト審査委員会が組織されているかどうかははっきり判らない状況の中での案内である。十数名も集まれば御の字だと思っていたところ、50名を超す先生方が参加して熱心にご討議下さった。この問題に対する関心の深さを知ることができた。かねてよりJ C O A医療システム委員会（長田も委員の一人）では、柔整師の施術による健康被害を調査検討してきたが、この問題は看過できないと厚生省（当時）にお願いに出向いた（平成13年7月31日）。メンバーは伊丹康人（慈恵医大名誉教授）、浜西千秋（当時近畿大学教授）、角南義文（当時J C O A理事）、藤野圭司（J C O A医療システム委員会委員？）、長田 明（同委員？）の5人。我々の陳情を聞いた医政局中島正治医事課課長より「そんなこと言っても、あんた達だって誤診するじゃないか」とボロクソに言われて、しゅんとなっていたら気の毒と思ったのか「この問題は保険局医療課の療養指導専門官に相談しなさい」とそちらに回された。そこで、この専門官の話を聞いて柔道整復師の世界と政治家との絡み、厚生省への圧力など大きな壁を知ることになる。その後の活動に大いに参考となり、我々も「医政協議会」のようなものを結成して交渉の場に臨む必要性を痛感して帰阪した。

平成13年年末から14年にかけて私のO C O A会長の任期もあとわずか、無事平穏に終わるものと思っていた。ところが14年4月の診療報酬改定で、理学療法の通減制を始めとして整形外科領域が徹底的にたたかれることが判ってきた。しかし当時は、なす術もなく見守るうちに、あれよあれよ思う間もなく厚生省の原案どおりに決まってしまった。そして、14年4月から整形外科単科病院、整形外科診療所が苦難の道を歩くことになる。全国で整形外科診療所から不満が噴出し始めた。J C O Aでは4月の診療報酬マイナス改定以降の状況を独自調査し、1医療機関あたりの診療報酬総点数が前年同月比で4, 5, 6月とも約9%余り減少している状況を示した。J C O A執行部があちこちと走り回り情報を収集した結果「日医も中医協（中央社会保険医療協議会）もこれでいいと言った、だから私たち（厚生省）は整形外科の皆さんは納得しているものだと思っていた」とのこと。日医や中医協に任せてはだめなんだ、自分たちで直接交渉しなければいけないんだと思ひ知らされた。以後、つてを頼って政治家、厚生省（現厚労省）の役人との接触が始まった。そして組織されたのが「整形外科医政協議会」である。最初、柔

整問題で組織しようと思った医政協議会もこの時点では柔整問題はどこかに吹き飛んでしまっていた。

平成14年12月19日(木)15時~17時「整形外科医政協議会 診療報酬改定陳情 決起集会」が国会衆議院第2議員会館で開催された。全国から診療所を休診にしてJCOA会員約180余名が集まった。国会議員33名(衆:24、参:9)議員代理出席27名が応援参加して下さり大いに気炎を上げた。その成果と思われるが翌平成15年4月整形外科関連の診療報酬の一部改定が行われた。1年で再改定と言うことは、厚生省にしてみれば、自分たちのしたことが間違っていたということが公表されたことになり極めて異例の事だそうで、結果的に整形外科は厚生省の顔に泥を塗ったことになるのかもしれない。そのためかどうかは知らないが、それ以後、整形外科は厚労省から改正の度に目の敵にされているように思うのはひがみだろうか？

平成14年4月から18年3月迄4年間、JCOA理事として大阪・東京を往復していたが、この間、全国のJCOAの仲間と知己を得て、またJCOAのみならず日整会の先生方とも交流をもつことが出来たことは、私の人生における大きな財産だと思っている。

平成18年4月からは吉中先生の後を引き継がせていただき、大阪市大整形外科学教室同門会の会長をやらせて頂いた。みなさんのサポートのおかげで3期6年間無事務めさせていただき、今年24年4月に北野公造先生にバトンタッチすることが出来た。この間の事については、今年の同門会誌にいろいろと書かせていただいたので、ここでは省略する。

最後になりましたが市整会を運営するに当たっては、初代会長の伊藤成幸先生とそしていつも相談にのって下さった宮内貴先生が、お尋ねする度にたいへん貴重で的確なアドバイスを授けて下さった事に衷心より感謝申します。そして、堺市医師会整形外科医会創設当時から現在に至るまで、終始私のもとで共に苦勞をして下さった黒田晃司先生に衷心より御礼を申し上げます。黒田晃司先生は平成24年の7月に第25回日本臨床整形外科学会学術集会・関西の実行委員長として、近畿2府4県の臨床整形外科医会を率いて学術集会を成功裏に修めた立役者であります。先生の益々のご活躍を期待してやみません。

いろいろと書きながら、何度も冒頭の藤本義一氏の「役せず、ハン(印)せず、金貸さず」が頭の中を駆け巡っていた。「オレ役ばかりやってたヤン」「そやけど、同じ業界の役ばかりやったからよかったんや」「ほんまによかったんかナア?」。いや、やっぱり良かったと思う。ほんとに皆さんのお陰でわが人生最良の経験をさせて頂きました。ここに改めてお礼を申します。有難うございました。(平成24年12月16日記)



## 市整会 40 周年に向けて —その回顧とこれからの展望—

南平克積 (S46)

市整会の 40 年は現役で働いている整形外科開業医の現実打開、将来の展望を開くにはどうすれば良いのか、そんなことを希求しての同門の集まりであるように思います。開業医にはつねに事業の不安や困難があり、低医療費政策や医事紛争の恐怖に悩み、自分の健康に不安があり、医療の質の向上を目指す心意気があり、人間性の高邁たらんとする希望があり、そんな思いの中で人生の先輩方を鏡として多くを学び、同輩、後輩方と力を合わせこれらの困難を乗り越えようと力を合わせあってきた歴史であると思います。

人の意見を聴きたいことがたくさんあり、人はどうしているのだろうかと知りたいことがあり、そうしてこの 40 年間で開催されてきた講演会や懇親会は膨大な回数に上ります。みんなわれわれ会員の大きいなる血肉になっていることは間違いありません。市大整形外科医局出身のほとんどの先生方の加入を得て 200 名以上の規模となり、会員の絶大な支持を得て、ますます発展。拡大してゆく趨勢にあります。

先輩の先生方のおかげでゆとりのある経営状況にあり、今、現役の役員先生方は気力、体力、経験とも充実した 60 歳の厄年あたりにあり、献身的に頑張っておられます。今後の市整会の運営におおいに期待が持てます。個々には多忙を極める中で市整会のような公けの仕事をするは大変な負担でもあります。慣れないことを多士済々の先生方の前で喋ること自体、私にとってもたいへんなストレスでありました。多少の不手際や訥弁は許していただき、なんとか私もこの会の一時期、会長として役の責任をまっとうさせていただきました。今振り返ってもひや汗の出る思いであります。そんな中でいろいろなことを教えていただき、勉強させていただきました。会合の二次会でお酒を飲みながらいろいろな夢や希望を話し合いました。そして、優秀な次代の役員さんが市整会の存在意義をよく理解してく下さり、引き継いで下さいました。

市整会がやるべきこと、出来る事はたくさんあります。市整会定款の目的に謳われていることであります。夢もぼやきもおおいに語り会ってそれらを昇華、その実現に向けて頑張っていって戴きたいと願っています。特に今、開業医にも IT 化が喫緊の問題になっていますが、その応用、普及に市整会会員のために尽力して欲しいと思います。役員先生はもちろん頑張ってくださいですが、会員全員がとにかく行事に参加して下さることが会を盛り上げることになります。あるいは役員になって市整会を積極的に運営して戴きたいと切に願っています。

市整会はや第二世代が活躍をしている伝統ある会になりましたが、50 周年を迎える頃になれば第三世代が活躍し出すことになり、お爺さんをこの会を通じて懐かしむ老舗となることでしょう。この市整会 40 周年をお互いに喜びあい、今後、本会がますます発展して行くことを願いたいと思います。



## 市整会にかかわって

頼 功 (S49)

1994年9月に私が開業してまもなく小松堅吾先生から電話をいただき、市整会と大阪臨床整形外科医会の入会申し込み書類を送るから記入して送り返しなさいと言われた。誰もがほぼ似たような格好で市整会に入会されているものと思います。その後しばらくして長田明先生から市整会の理事に入れたから理事会に出席するように電話が入りました。否応無しでもあったが、自然と市整会に溶け込んでいったようでもありました。当初(1995年)はゴルフコンペのお手伝い程度の仕事をしていました。当時の市整会会長の吉中正好先生からの要請で市整会の公式行事ではないが、年末の会員有志によるゴルフコンペ(後に市整会会員と勤務医との交流コンペとなるスケルトンゴルフコンペに変貌)の幹事役をやっていました。また、2001年、2002年には鹿児島でご開業されている平田宗興先生、ご勤務医をされている同門の上釜健市先生(S41年入局)のところへ押しかけての鹿児島ゴルフ自由参加ツアー(参加者はご家族を含め20数名)なども企画しました。和気藹々でとても楽しいものでしたが、その後の宿泊ゴルフツアーの企画が自然消滅してしまいました。できればどなたか再度企画を立てていただければと思います。

市整会の公式行事のかかわりとしては、1998年から学術担当の仕事割り振りされました。勉強があまり好きでない私でしたが、なぜかそれ以降主として学術部門担当をしてきたようです。一番はじめの仕事が、1998年6月27日に三井アーバンホテル大阪ベイタワーで開催された市整会研修会でした。学術講演2題で、奈良医大の高倉義典先生(当時助教授)による「リウマチ性足部障害の治療について」と、大阪市大の藤森貢麻酔科名誉教授による「整形外科医に必要な局所麻酔薬の知識」のご講演でして、86名の参加者を見ました。その研修会の総司会を担当したのが学術担当理事の初仕事で、非常に緊張気味にしゃべっていたと記憶しています。いまだに口下手であるのが変わってはいません。長田明会長時代には、榎本高明副会長の下で、榎本高明会長時代には、前野岳敏副会長の下で、南平克積会長時代には鳴嶋真人現会長、玉田善雄先生、西上茂樹先生、古瀬洋一先生の若手理事と共に、しかもほかの理事の先生方にも手伝っていただきながら学術部門を担ってきました。学術講演の内容のみならず文化講演会も多く参加者が見込める内容をいつも吟味しながら開催してきました。また大学の教室や勤務医会との連携も密にとりながら、有意義な会の開催を目指して努力して参りました。努力の甲斐がありまして最近では多くの参加者が見られる研修会になっています。文化講演会などもご家族の参加者も多く見られるようになっており、大変喜ばしく思います。昇幹夫先生による「あなたの笑顔、なによりくすり」、山田憲彦先生による「わが国の災害医療と軍事医療」、勝谷誠彦氏による「これからのこの国のかたち、医療のかたち」、山田憲彦先生、勝谷誠彦氏と西澤徹先生の3名によるフリートークショー、朝原宣治氏や小椋久美子さんのオリンピック選手のお話など興味深く記憶に残っており、文化講演会としては多くの参加者を見ました。

南平克積名会長の後を受けて第7代目の会長に就任しましたが、すでに確立されたレールの中でただただ市整会の存続を絶やさず、継承することが使命と肝に銘じてまいりました。学術と親睦の二本柱を軸とした活動であります。いずれの行事も肩肘の張らない、ざっくばらんで温かくて居心地の好いこと、本音を語れる、しかも楽しい市整会行事をモットーにしてまいりました。担当理事のご努力の甲斐もあって、学術講演会には多くの会員の先生方のご参加の上、さらに大学同門勤務医会の先生方のご参加も多く見られるようになり誠に喜ばしいことでした。そしてご家族参加を奨励している行事、すなわち家族会ツアー、文化講演会そして新年宴会に多くのご家族参加者が見られるようになったことです。学術ばかりでなく会員相互の親睦、融和、しかもファミリーてきな市整会の一面が徐々に生まれつつあるように思います。渡辺径宏先生が道をつけていただいたおかげであると感謝致します。そして新たにメーリングリストの普及、市整会ホームページの立ち上げそして運営維持・充実化などIT関係も徐々に整備されてきました。担当理事の先生方のご努力に深謝いたします。積極的にご利用していただければと思います。

一方未だ市整会行事に参加されていない会員の先生方がかなり居られることには残念であり、且つ責任を感じま

す。とりわけ若い先生方の中には参加すれば役を押し付けられるのではと敬遠している向きもあるのですが、とりあえずは気楽に参加し、楽しんでいろいろと学習してメリットを見つけていただければと思うのであります。アットホームな市整会ファミリーの雰囲気を感じ取っていただければ、自然と参加者が増えていくものと思います。各世代での執拗な勧誘が重要であると思います。若い有能な役員の方々に支えられ、諸先輩先生方のご指導と会員の皆様のご協力の下で4年間の小生の会長時代を無事に終えることができましたことを深謝致します。ありがとうございました。

市整会の結束力のすばらしさ、大学の同門会とは別の組織で、開業医会としてこのように活発に活動している会は全国でも類を見ません。アットホームな温かい雰囲気が貴重で大事にしていくべきであります。40年を経てすばらしく発展した市整会が若い世代に引き継がれ、先輩諸氏のご苦勞されて作られた定款に謳っている、大学教室との連携を保ち、会員の資質向上を図り、会員の協調、相互親睦、互助活動を引き続き推進し、益々飛躍発展していくように祈っています。



# [Ⅱ] 市整会 40周年 記念式典・祝賀会

## 進行表

記念式典 開会（午後4時半） 司会 斧出安弘

開会宣言 阪本邦雄先生の電信による開会宣言を森川献志漢先生が代読

会長挨拶 市整会会長 鳴嶋真人先生

ご来賓祝辞

大阪市立大学整形外科学教室教授 中村博亮先生

大阪市立大学整形外科勤務医会会長 高見勝次先生

その他来賓のご紹介

大阪市立大学整形外科学教室病院教授

小池達也先生ご夫妻

准教授 伊藤陽一先生 医局長 寺井秀富先生

功労者表彰

会長歴任者 南平克積先生（S46）頼 功先生（S49）

特別功労者 石崎嘉昭先生（S37）上田晏弘先生（S37）

黒田晃司先生（S44）梶憲一郎先生（S49）

記念式典閉会の辞 市整会副会長 安田浩成生

記念祝宴 開宴（午後5時） 司会 斧出安弘

祝賀会開宴の御挨拶 市整会前会長 頼 功先生

乾杯のご発声 市整会初代会長 伊藤成幸先生

スピーチ 市整会元会長 長田 明先生

天野裕一先生作成のスライドショー

女性ジャズコーラスグループ「ハーミス」によるアトラクション

ビンゴゲーム 司会 天野裕一先生

アシスタント 秋野一男先生、柳井尚浩先生、伊藤智康先生

整形ソング合唱（木下 孟先生の解説と指揮により全員で合唱）

祝賀会閉演の御挨拶 市整会副会長 増田 博先生

式典・祝賀会 総括 市整会元会長 南平克積先生

祝賀会お開き（午後7時半）



40周年記念事業準備委員長を努めて頂いた  
阪本邦雄先生より頂いた電信による  
40周年記念祝賀会開会宣言

お祝い

お届け台紙名『彩り』  
お届け日 一月一八日午前

大阪府 大阪市 北区 堂島浜 一―三―一  
ANAクラウンプラザホテル

市整会 御中

ご来賓の皆様ならびに会員の先生方・ご家族の皆様、本日は市整会  
四十周年記念式典にご臨席賜り、誠にありがとうございます。

このような立派な式典を挙行できますのは、鳴嶋真人会長・斧出安  
弘実行委員長はじめ、諸先生方のご尽力の賜物と感謝いたしております。

私は病氣療養中のため、その責務を果たすことも出席することもで  
きず、本当に申し訳なく残念に思っております。

この記念式典・祝宴が厳粛かつ楽しく、市整会の発展へと繋がる会  
になりますよう病床より祈りを込めて、開会を宣言いたします。

阪本 邦雄

# 市整会40周年記念祝賀会 鳴嶋会長挨拶

皆様こんにちは！ 本日は、皆様、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございます。  
本日は107名のご参加をいただきましたことを感謝いたします。  
大阪市立大学整形外科開業医会は1972年のちょうど40年前の11月に31名の発起人により発足し、現在206名の会員をようする会に発展しました。  
市整会が今日あるのは本日まで参加いただいております初代会長伊藤成幸先生をはじめとし、松尾会長、吉中会長、長田会長、榎本会長、南平会長、頼会長と引き継がれたその各会長のご努力はもちろんのことではありますが、歴代会長をサポートしていただきました会員ひとりひとりのご努力とご協力の賜物であると確信しております。  
市整会は、会員の資質向上と会員の親睦と相互扶助の三本柱を中心に活動しております。  
そして我々開業医の癒しの場でありたいと考えております。

私、今年4月より会長を拝命しました。  
浅学非才の未熟者の私に勤まるものではないのですが、幸い有能な執行部の先生のご協力、ご指導のおかげで勤めさせて頂いており、深く感謝いたします。

本日この40周年記念祝賀会の準備にあたっては、準備委員長を当初阪本邦雄先生にお願いしておりました。阪本邦雄先生は現在リハビリ中であり頑張っておられます、一日も早い回復を会員一同祈念しております。本日、阪本先生より開会宣言のお言葉を頂きましたこと、たいへんな勇気と励ましをいただき、深く感謝いたします。

阪本副会長の後を斧出先生が立派に代行され、本日このような会を催すことができましたこと、斧出先生、天野先生をはじめ準備委員の先生方に深く感謝いたします。

阪本先生の休診時応援体制に際しては、医局の多くの先生方、同門の江口先生、竹村先生に大変お世話になりました。感謝申し上げます。  
本日の祝賀会にも医局を代表して、多くの先生がお忙しい中ご出席頂きました。  
中村博亮教授、小池達也教授、伊藤陽一准教授、医局長の寺井秀富先生、同門会を代表して勤務医の会会長の高見勝次先生、本日は本当にお忙しい中ありがとうございます。今後とも市整会をよろしくご指導ご協力お願いいたします。

今回の40周年記念事業は南平先生よりいただいたテーマ、「市整会40周年回顧と展望」と題しております。そこで皆様をお願いがございます。  
整形疾患のように長い経過を診る必要がある学問は少なく、新しい先生は教科書では足りません。経験からくる築かれた真実があると思います。  
長い整形外科の経験で気付いたこと、工夫したことを是非後輩の先生に伝えていただきたいと思います。  
どうか今回の40周年記念誌に気づかれたことを随筆としてご投稿いただきますようお願いいたします。  
特に年配の先生をお願いいたします。  
宮脇先生が記念誌を企画、編集を担当して下さっております。今からでも十分に間に合いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて先月、我々に、いや日本国民にとって朗報がありました。  
我々、市大整形外科同門である山中伸弥先生が、25年ぶりに利根川進先生以来の2人目であるノーベル医学生理学賞の栄誉に輝きました。  
彼は同門の先生より聞いても、本当に手術が下手くそで「じゃま中」と呼ばれていたほどでした。でも当時のリウマチ治療や脊損をみてこれでは治らないと考えていたようです。  
自らの臨床外科医の試練に耐え、自らを直視して、市大整形外科をよい意味でバネとし、飛躍をとげたのではないかと  
思います。  
その結果、実験の鬼となり、着目点の素晴らしさ、頭脳明晰さと真摯な努力が実ったのだと思います。

そこで、日本は世界で最も早く速い速度で、稀に見る超高齢化社会を迎えます。  
現在、我々整形外科も、高齢化社会で医療、福祉、介護のはざままで苦勞しております。  
山中先生ではないですが、今を耐え、努力し、研鑽すれば、追隨する他の先進国や新興国への見本となるような超高齢化先進国としての医療文化が根付くのではないかと考えます。

皆様の日常診療の日々の努力が、明日の高齢化社会を、明日の日本を明るくすると信じております。同時に、市整会の未来も相互扶助により益々発展し、明るい温かい市整会であり続けることを会員皆様とともに祈念し努力したいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

# 40周年記念式典Photos

## 市整会40周年記念祝賀会 ～市整会40年の回顧とこれからの展望～



祝賀会終了後・記念撮影



受付担当の先生方

平成 24 年 11 月 18 日  
ANA クラウンプラザホテル  
三階 万葉西の間  
市整会 40 周年記念祝賀会  
～市整会 40 年の回顧とこれからの展望～



# 40周年記念式典 ご紹介、ご挨拶



< 祝辞 > 中村博亮教授



< 祝辞 > 勤務医会会長 高見勝次先生



< 会長挨拶 >  
鳴嶋真人先生



< 乾杯 > 伊藤成幸先生



< 式典閉会挨拶 > 安田浩成先生



< 祝賀会閉会総括 >  
南平克積先生



< 祝宴開会挨拶 > 頼功先生



< 祝宴閉会挨拶 > 増田博先生



< 司会 > 斧出安弘先生

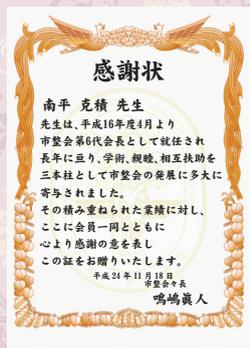


長田明先生のスピーチ

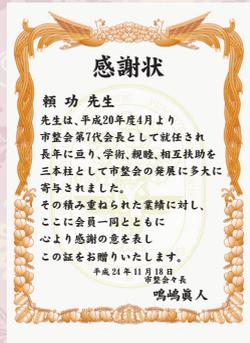


< 阪本邦雄先生からの  
電信代読 >  
森川献志漢先生

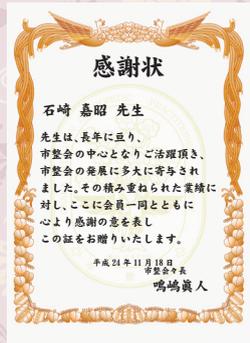
# 功勞者表彰



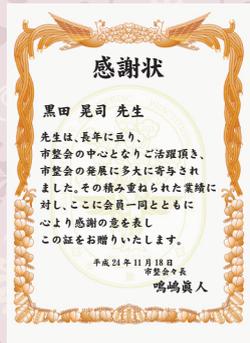
南平克積先生



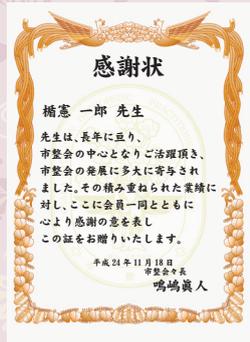
頼功先生



石崎嘉昭先生



黒田晃司先生



楯憲一郎先生

## 感謝状

南平 克積 先生  
先生は、平成16年度4月より市整会第6代会長として就任され長年に亘り、学術、観望、相互扶助を三本柱として市整会の発展に多大に寄与されました。その積み重ねられた業績に対し、ここに会員一同とともに心より感謝の意を表しこの証をお贈りいたします。  
平成24年11月18日  
市整会会長  
鳴嶋眞人

## 感謝状

頼 功 先生  
先生は、平成20年度4月より市整会第7代会長として就任され長年に亘り、学術、観望、相互扶助を三本柱として市整会の発展に多大に寄与されました。その積み重ねられた業績に対し、ここに会員一同とともに心より感謝の意を表しこの証をお贈りいたします。  
平成24年11月18日  
市整会会長  
鳴嶋眞人

## 感謝状

石崎 嘉昭 先生  
先生は、長年に亘り、市整会の中心となりご活躍頂き、市整会の発展に多大に寄与されました。その積み重ねられた業績に対し、ここに会員一同とともに心より感謝の意を表しこの証をお贈りいたします。  
平成24年11月18日  
市整会会長  
鳴嶋眞人

## 感謝状

黒田 晃司 先生  
先生は、長年に亘り、市整会の中心となりご活躍頂き、市整会の発展に多大に寄与されました。その積み重ねられた業績に対し、ここに会員一同とともに心より感謝の意を表しこの証をお贈りいたします。  
平成24年11月18日  
市整会会長  
鳴嶋眞人

## 感謝状

楯憲 一郎 先生  
先生は、長年に亘り、市整会の中心となりご活躍頂き、市整会の発展に多大に寄与されました。その積み重ねられた業績に対し、ここに会員一同とともに心より感謝の意を表しこの証をお贈りいたします。  
平成24年11月18日  
市整会会長  
鳴嶋眞人

# 市整会40周年記念式典 MENU



Photo: Yasuhiro Onode

# 祝賀会風景・各テーブルその1



中村博亮教授、高見勝次勤務医会会長  
黒田先生御夫妻、頼先生御夫妻、鳴嶋先生御夫妻



石上先生御夫妻、石崎先生、長田先生、三明先生  
榎本先生御夫妻、南平先生、吉中先生



伊藤成幸先生御夫妻、木下孟先生、有馬先生御夫妻  
森下先生、反田先生



小池達也病院教授御夫妻、斧出先生御夫妻  
秋野先生御夫妻、裕美さん、天野先生、上野先生



飯田先生、和田先生御夫妻、西上先生  
中岡先生御夫妻、成田先生御夫妻



柳井先生御夫妻、伊藤陽一准教授、馬野先生御夫妻  
小堀先生御夫妻、瑛里菜さん

# 祝賀会風景・各テーブルその2



奥田先生御夫妻、祐衣ちゃん、許先生御夫妻  
楯先生御夫妻、山藤先生、江口先生



吉田先生御夫妻、増田宗義先生御夫妻、  
柴田先生御夫妻、八木先生



寺井秀富医局長、宮脇先生御夫妻、増田博先生御夫妻  
中川先生、宮口先生、森川先生



安田先生御夫妻、寺川先生御夫妻・裕基先生御夫妻  
宮内先生、調子先生



田中先生御夫妻、長濱先生、高山先生御夫妻  
古瀬先生御夫妻、黒澤先生



安井先生、伊藤智康先生御夫妻、千智さん  
湊先生御夫妻、小竹先生御夫妻

## 祝賀会風景・各テーブルその3



桑野先生御夫妻、陽くん  
木下先生御夫妻、貴史くん、田口先生、悠喜君

## 祝賀会アトラクションその他



大盛り上がりの天野先生



笑顔たっぷりの秋野先生



威勢の良い伊藤先生



大当たりの黒田先生

# 祝賀会風景



おごそかな式典



乾杯!



商品をゲット  
反田先生と柳井先生



アトラクション：  
ジャズコーラスグループ  
「ハーミス」



「市整会ライブラリ」  
スライドショーを上映



由緒ある市整会ソングを  
全員で熱唱

# 市整会40周年記念式典・祝賀会総括

さる平成24年11月18日(日)、ANAクラウンプラザホテルにて市整会40周年記念式典及び祝賀会が盛大に行われました。

記念式典は16時30分からでしたが、準備委員会委員等の役員は15時から集合し、名札の準備、テーブルの振り分け、祝賀会のビンゴゲームの賞品の陳列等を行ないました。

控室のテーブルの上にビンゴゲームの商品が並べられましたが、どれもゲットしたい商品ばかりでした。

16時から受付が始まり、続々と会員の先生及びご家族が集合されました。

16時30分 病気療養中の市整会副会長阪本邦雄先生からお祝いの言葉と開会宣言を書面でいただいていたので、それを森川献志漢先生が代読し、阪本先生の早期回復を祈るコメントも述べられました。阪本先生は準備委員会の委員長であり、いろいろと準備を進めておられたので病気になられたことが非常に残念でした。

斧出安弘先生による総司会で記念式典はすすみ、まず、市整会会長鳴嶋真人先生より会長の挨拶がなされ、その後来賓の先生の紹介がありました。来賓は中村博亮教授、小池達也病院教授、伊藤陽一准教授、寺井秀富医局長、高見勝次勤務医会会長の各先生であり、来賓を代表して、中村教授、高見勤務医会会長よりご挨拶をいただきました。

次に功労者表彰が行われました。会長歴任者として南平克積先生、頼功先生に、特別功労者として石崎嘉昭先生、上田晏弘先生、黒田晃司先生、楯憲一郎先生に表彰状と花束の贈呈が行われ、それぞれの先生から受賞に対する思いを言葉にいただきました。

それぞれの先生が市整会に対する思いを述べられ、非常に感銘を受けました。花束の贈呈に際しては秋野裕美さま伊藤千智さまにお手伝いをいただきました。

記念式典は和やかななかにもおごそかな雰囲気の中無事終了し、式典閉会のあいさつを市整会副会長の安田浩成先生が述べられました。

引き続き、17時から斧出先生の司会のもと記念祝賀会が始まりました。

前市整会会長の頼功先生から開会のあいさつをいただき、伊藤成幸先生の乾杯のご発声でいよいよ大宴会の幕開けとなりました。

乾杯のご発声と同時に女性ジャズコーラスグループハーミスのピアノによる演奏も始まり祝宴の雰囲気を盛り上げてくれました。

祝宴の最中には天野祐一先生に作成していただいた過去の市整会の周年記念等のスライドの上映がなされましたが、その中にはかなり以前のスライドもあり、ご出席の先生方の若い時の写真や懐かしい先生の写真を見ることができました。また長田明先生が過去を振り返って市整会の歴史等を詳しく披露してくれました。

そしてアトラクションとしてハーミスの歌声演奏があり、祝宴を大いに盛り上げてくれ、そしていよいよ待ちに待った大ビンゴゲームが始まりました。秋野先生、天野先生、柳井先生、伊藤先生の吉本芸人にも負けない掛け声が会場内を駆け巡り、豪華賞品のルンバ、アイパッド、高級ワインとかの争奪戦が始まりました。ビンゴとの声が上がると大歓声がわき、さらに祝宴が盛り上がってきました。

そして祝宴も佳境に入ったところで整形ソングの大合唱を木下孟先生のお言葉をいただいた後行いました。市整会の準備委員会理事会等で整形ソングを何度も練習したのですが、この時に一番うまく歌え、すべての先生の気持ちが一つになったと感じました。開宴からの楽しい時間はあっという間に過ぎ、祝宴閉会のあいさつを市整会副会長の増田博が、祝賀会閉会あいさつと総括を元市整会会長の南平克積先生にいただき無事終了しました。

祝賀会終了後もしばらく祝宴の余韻があり解散するのが心残りでありました。お土産と記念品として紅白饅頭と市整会のロゴの入ったクオカードが配られました。市整会のロゴをクオカードにどのようなデザインで入れるかについてでも準備委員会ではいろいろと相談をした上で決定しました。皆様、ロゴのデザインを十分鑑賞したうえで大事に使ってください。鳴嶋先生、阪本先生、斧出先生をはじめ、準備委員会の皆様方の周到な準備の元このような素晴らしい会が執り行われました。皆様本当にありがとうございました。

そしてお疲れ様でした。

# [ Ⅲ ] 自由投稿



## 彫塑 野島の崎 (第 88 回二科展)

石上 直 (S32)

二科展 彫塑に 20 回連続入選しました。  
関西労災病院に 2 体、小生作のブロンズ像があります。  
堺市医師会ロビーにもあります。





## タンゴとボヤキと

榎本高明 (S39)

市整会 40 周年記念の記念誌の会員アンケートに、最近腹の立つことの項目がある。何かないかなあと考えていたら、ふとタンゴのことが心に浮かんできた。

私がタンゴと出会ったのは大学の教養の頃である。当時何かの映画の挿入歌の kiss of fire という曲がラジオからよく流れていた。その時、そのメロデーをタンゴのリズムで演奏している曲を耳にした。それが私を虜にした。エルチョクロであった。エルチョクロの方が元々原曲である。

アルゼンチンタンゴは 19 世紀末に、あちこちの音楽の影響を受けながら、ブエノスアイレスの港町で生まれた。そしてその後、多くの作曲家や演奏家が現れて、アルゼンチンの国家的な素晴らしい音楽として発展してきたのである。

全盛期のオルケスタ・ティピカ（標準編成楽団）は、バイオリン、バンドネオン、ピアノとコントラバスから成り立っていて、その人数は楽団によって異なっていて、それぞれの楽団が各々個性的な演奏をしていた。凛として、爽快で、歯切れの良いシャキシャキしたリズムで、心の中までしみ入る素晴らしい音楽である。4 分の 2 拍子のリズムをしっかりと刻んで、その上に、時にはバンドネオンの変奏や、バイオリンやピアノのソロが盛り込まれ、時に哀愁を帯び、ときにはセンチメンタルに、懐古的に、また時には激しく情熱的になり、一部クラシック音楽を感じさせるところもある。

私が聴き始めた 1960 年ごろには、NHK ラジオで「アルゼンチンタンゴの夕べ」という定期番組を毎週やっていた。又、アルゼンチン現地で活躍している一流の演奏家や楽団が来日して、素晴らしい演奏をきかせてくれた。当時はタンゴのレコードも沢山発売されていた。

梅田の OS 通りに、エネエネというタンゴのレコードだけを掛ける小さな喫茶店があって、よくそこに通った。それらで伝統的なタンゴを聴く機会が多く、耳も肥えていたと思う。

一方、1920 年頃から、タンゴがヨーロッパに広がって行って、コンチネンタルタンゴが生まれた。しっかりしたタンゴのリズムの上に美しいメロデーを乗せた聴きやすい音楽で、名曲も沢山生まれた。しかし伝統的なアルゼンチンタンゴを愛していた私には、シャキシャキした歯切れの良さや爽快感の不足で、物足りない感があった。

1960 年ごろから、アストル・ピアソラに代表される現代タンゴが発生してきた。1990 年代末に彼の没後、急に脚光を浴びてきた。彼の演奏は伝統的タンゴから外れた聴きづらいものであった。けれども、彼の演奏にはまだ 2 拍子のリズムが底に流れていた。

しかし、その後のモダンタンゴと称する奴は、本当のタンゴではない、と私は思っている。2 拍子のリズムもなく、不協和音を駆使した前衛的な不快なものである。タンゴを演奏できるメンバーと楽器をそろえた楽団が、単に他の音楽を演奏しているにすぎないと私は捉えている。

近頃はタンゴの派手なダンスショーが多くみられる。女性の美しい脚を見せるショーダンスのための音楽となっ  
てしまっている。観ているほうにはセクシーできれいであるが聴いていると気分が悪くなる。

本場のアルゼンチンタンゴを本場で聴こうと胸を膨らませて地球の裏まで行ったのに、私が連れていかれたタンゲリア（タンゴ演奏場）では胸糞悪いモダンタンゴという音楽が主で、期待はずれであった。

日本にいて、来日したアルゼンチンの演奏者の演奏を聴きに行くほうが遥かによいと、残念がった。旅行会社を叱りつけたのは、勿論である。現地の旅行会社の人、あのタンゲリアはブエノスアイレスでは有名な高級なところなんですけどね・・・、と言っていた。

ブエノスアイレスでは、現在のタンゴはそんなもんなんだなあと、ため息をついた。素晴らしい作曲家、演奏家

によって培われて、発展してきた伝統的なアルゼンチンタンゴは近い将来に、消滅するだろうと憂いている。

これが市整会のアンケートのムカツキとボヤキであります。

もし、機会があればもう一度当地へ行って、あちこちのタンゲリアを訪れて、伝統的なタンゴを探し求めたいと思っている。

## 片麻痺における 痙縮固縮

永田清員 (S40)

星状神経節遮断術はホルネル徴候が出現しなくても、頸手足を検査すればどこか薬効がでるものである。

昭和 60 年 20 歳男 自転車と四輪が衝突

陥没骨折 頭部外傷 III 型 左動眼神経麻痺 硬膜外血腫

左上肢機能機能障害 3 級 左下肢機能 4 級

障害合計 身障 2 級

平成 11 年

星状神経節遮断術は 12ml より減して、症状が軽くなった時は 2.8ml 施行。

低分子量デキスラン 500ml ヒデルギン 1 A ( $\alpha$  遮断剤の三種混合保険適用外) A T P 120mg 1 ~ 2 回 /W

上肢 橈骨手根伸筋 (手現穴) Allen テスト運動範囲内反力接地面種を見る。

約 2 年半内反足の接地面が尖足に拡大し、踵面接地にかわる。

その後歩行の改善が始まり上手の背筋力が効き 紙をはさめる様になる。

SGB が三叉神経の下行レベルに効き、その時不全筋に ATP+ 低分子量が効いていると見る。

脳梗塞後遺症は硬膜外血腫より 10 倍はかかるが減っていきます。

12 年後整形転医。治療開始でもあきらめぬこと。



## 孫達と私

黒田晃司 (S46)

我が家に4人の孫がいます。長男の家庭に男の子3人。5才(A)、2才(B)、1カ月(C)の3人です。娘のところに2歳の女の子(D)が1人。と先月4人になりました。

私達の子供は3人、長男、次男、長女の3人。彼らは、私が病院に勤務していた時2人、開業したあと娘が生まれました。いずれも出産には立ち会うことはできませんでした。

特に初めての長男は、私が珍しく2週間ずつ2回に分けて1ヶ月間、厚生省の補装具の研修会のため東京に出張していた間に産出いたしました。

この時代は、私の母と家内の両親が健在で子育ての助けをしてくれました。が、度々物議を醸す出来事もありました。自分が孫を持つ年齢になって、子育てに3人もの助っ人がいたことには感謝しなければならない、恵まれた環境だったと思います。その時は正直「うるさいなあー」と思った時もありました。私自身は仕事に追われて余裕のない状態で、それどころでなかったのですが、家内にしてみれば「我が子より仕事の方が大事だったわけ!!」と未だに言われ続けております(反省)。

初孫Aが誕生した時は「我ながら、いつの間にかずいぶん年齢を重ねたものだ」と感慨深いものがありました。生まれてきた孫は色の黒い、口の周りに泥棒髭のように産毛が黒々して、顔つきが見るからに黒田家の系統で、頭髪が黒々していました。嫁に似ていれば鼻の高い子になるはずでしたのに、団子鼻でした。次男Bは誕生して始めて見たとき、思わず「私の幼少時の写真にそっくり」と言ってしまって「またまた勝手なことを言う」と妻に諷められました。しかし思わず皆に私の2歳頃のアルバムを見せて「そっくりやろ」と言わずにおられないほど印象的でした。残念ながら頭髪が細くて、いつまでたっても生えそろうてきませんでした。最近やっとはじめて散髪しました後顔を合わせると、驚くほど精悍な顔になっていて、三男が誕生して「兄貴になった」と感じましたが、実際は今までの自分の座を弟に奪われたことが受け入れられず、悩んでいることは明らかで「バーバ」の助けがないと日々過ごせないことを主張しています。生まれたときから長男を見ているので、何でも早いのですが、言葉が口から出てきません。本当に喋らないのですが、事態は良く理解してしましてそのジェスチャーが的確で思わず吹き出してしまいます。三男Cはまだ生まれたばかりですが、今のところ長男の誕生した時とよく似ております。現在この3人の父親の我が息子は大阪総合医療センターに勤務しておりますので都島に住んでおりますが、Aが小学校に入学するまでに「自分が通った泉北地区の小学校に入学させたい」ので「自分が育った、私の建てた現在の家を譲ってほしい」とのことを昨年言われて、急遽、私が近所に家を探しました。この年になって引っ越しは大変です。30年過ごした家には、沢山の生活の歴史、父母から引き継いだものと私には少々収集癖もあり8畳ほどの屋根裏に作った物置部屋にいっぱい品々と本を大半廃棄しなければなりません。私は残しておきたいのですが、家内には厳しく廃棄するよう言われております。

唯一の女の子の孫Dは2才、物心ついたところから「伯父さん恐怖症」です。今は大分ましになりましたが、知らない人が「かわいい」などと言いながら近付いてくる度におお泣きしてあきれられています。私はその度言い訳をするのが大変です。さいわい私の顔を見ると、満面の笑みを浮かべて、両手を広げて駆け寄ってくるこの孫は、私には何にも代え難く可愛いものです。この子もほとんど喋りませんが、言われていること、状況はよく理解しております。2歳にして、反応は早く表情は豊です。

この子が生まれて、私が初めて対面した時、婿にそっくりの顔つきでがっかりさせられました。娘が小さい頃は日本人離れしたはっきりした顔つきでしたのと対照的でした。近頃変わってきましたので、年頃になると美人になるだろうと期待が持てるようになりました。そのころまで私が生きながらえることができるよう、健康に気を付けなければなりません。私は近頃感じていることの1つに日本では年頃の娘さんで「不細工な人」を見かけなくなっただと思います。なぜなのでしょう。やはり日本が豊かになって化粧品が豊富になったことと関係があるのでしょうか。男としてはしっかり化けてくださるよう期待したいものです。

私の友人の、誕生した時からよく知っている娘さんが、幼少のころは友人に似て色の黒い子で「奥さんに似ればよかったのに」と心配いたしました。その娘さんの結婚式に夫婦で招かれた時、色は白くスレンダーで余りの変わりように驚きました。日本では年頃になれば女の子は「皆美人に変身する」ようです。嬉しいことです。

最近の子供は私達の頃とは違い、豊かになり、十分に満足させられているからでしょうか？孫たちも「お出かけ」は大好きです。ホテルなどに食事に出かけるのも大好きですが、先日「長男Aの誕生日会をして欲しい」と嫁に言われたとき、本人の孫Aは「夕食はダメ」ということです。その理由を聞いてみると「夜出かけると疲れるから出かけたくない」とのこと、迎えに来る幼稚園のバスが、順路の関係で1番早く迎えに来るので7時30分までに用意してバスを待つ日課です。遅れないよう用意しなければならないため、6時過ぎに起床して準備しますので、夕食後8時過ぎには寝ているようです。出かけると時間が遅くなります。納得すると同時に、余りの優等生ぶりに空恐ろしくなります。次の日に疲れて、朝起きられなくて休むとか、眠気眼でゴテナガラ行るのが普通と考えている私には大きな衝撃でした。3歳から幼稚園に行くことにも、私は「そんなに早くから幼稚園に行かなくてもいいのに」という思いで抵抗がありましたが、現在は「4歳児の入園は狭き門」だそうで私の認識不足でした。幼稚園の願書配布当日、用事で出かけて帰りに代理で私達夫婦が夕方に願書ももらいに行きましたら、対応してくれた若い先生が「もう願書は無い」ということで「では、いつ来ればいいのか？」と間抜けな質問をして呆れられたのも忘れられません。世間では徹夜したり、早朝から並んで願書ももらうものだそうです。入園するためにはこの願書を獲得しなければ「権利を得られない」ということも知りませんでした。友人の大きな助けを得て、やっとのことで足を運んで入園にこぎ着けることができましたがの世間ではすでに幼稚園の入学から情報を収集しているようです。

もう28年前の話ですが、長男が小学校に入学するとき、3月になって息子が「ランドセルと学習机を買って欲しい」と言われてあわてて近所の百貨店など数軒回りましたが、すでに在庫が残り少なく、選択できなかったことがありました。しかしあの時の机はまだ健在です。おかげで次男、長女のときは同じ失敗をしなくて済みました。長女には大丸百貨店で、当時はランドセルの色が一般的には男は黒。女は赤が定番だった時代に、多分サンプルか広告のために作ったと思われるただ一つしか在庫のなかったピンクのランドセルを外商の担当者が紹介してくれて、早々に購入したこともありました。小学校でピンクのランドセルを背負っている子として有名でした。次の年からピンクのランドセルが娘の小学校で流行いたしました。今はカラフルになり、無い色は無いほどいろんな色のランドセルを見かけますが。

ちなみに、物置にしまってあった3個のランドセルを取りだしてみますと、皮がボロボロになって使用不能になっていました。こまめに油で手入れをしておけば孫に使えたのでしょうか？（呆れた！！「孫が嫌がるわ！」）と言われてしまいました。

使用済みのランドセルは皆様どうしておられるのでしょうか？以前にミニチュアに加工するという記事を見たことがあります。私のような考えですと、どんどん思い出の品がたまってゆきます。記念品の蔵を5～7棟建てなければなりません。

同じく記念品の話ですが、皆様アルバムはどうしておられますか？

我が家には私の両親のアルバムから残っています。私の家にはない祖父母や父の兄弟の写真が親戚に存在していることが、「黒田家のいとこ会」のときに話題になり、皆で各自の家を探しましたところ、私の父の兄弟が祖父母らと映っているものがでてまいりました。早速皆で持ち寄りスキャナーにて6つ切りの写真にして配りました。明治から大正にかけての写真はまさに記録映画の世界です。昭和初期の中之島の橋の写真は父のアルバムに残っております。阪大病院の屋上から撮影したものでしょう。ガラスの乾板が多数残っていたのですが、何度も引っ越しする間に破損してしまい、今は残っておりません。

我が家の子供達の写真は中学生の頃まで毎年各自300枚以上撮影、プリントしていました。1年にほぼアルバム3冊ずつ残っていった勘定になります。結婚しても自分の部屋の本箱に残しておりますので、我が家には300冊以上のアルバムが存在しております。昔のものは大きさも形も分厚さも異なりますので、本箱に保管するのに苦労します。私のものは物資の少ない時代一戦後の粗悪品でアルバムなどなかったのでしょう。大きさも形も揃っておりません。高校時代ころから同一サイズにいたしました。現在は皆様ご存知のように、フィルムカメラが無くなりデジタルカメラになりました。そのため写真屋さんで写真の焼き付けをする人が激減、写真はデジタル情報で残す

人が増え、アルバムの販売が本当に少なくなりました。私は今ナカバヤシのアルバムを使っていますが、それは私の目の届く範囲にはこれしかありません。子供達はアルバムを作りません。コンピューターに保存しております。「場所を取らないからいい」のは理解いたしますが、私の心情としては「プリントしていないものは写真ではない」と考えています。これは私のわがままな希望です。そのため孫たちのアルバムは私が撮影した写真で、私が作って我が家に残されています。しかし次世代にはお荷物になるかもしれませんが、そのことは考えないことにしています。また私が小学6年生の時もらったミニチュアカメラ、中学生になって買ってもらった、当時最新式の自動露出計付きコンパクトカメラ以降、自分で撮影したすべてのフィルムを年代順に保存しております。忘れもしない1963年、初めて撮影したカラーフィルムも残っています（大阪市大に入学した年の写真です）残念ながらこの時代のカラー写真は変色しております。思い出の写真は沢山ありますが何といても私の黒田家のルーツとも言える写真です。それは、黒田家では、私達の祖父母が健在でした時代は、愛媛県の北条村に子供の夏休み期間（今でいうお盆休みに当たるのでしょうか）結婚して関西方面に住んでいた小母さん達の一家が実家に帰省してきました。それに合わせて、松山にいた兄弟たちが集合しての黒田家の広い広い屋敷の中心にあった、祖父母が暮らしていた「お離れ」と呼ばれていた建物の前庭で、昭和28年の8月に祖父母を中心に、その息子娘・その孫達全員が集合して私の兄がセルフタイマーで撮った写真です。43人写っています。残念ながら、核家族化した現状では孫達にはこういう機会は無いでしょう。淋しいですが、これも時代の流れでしょう。いずれ孫達にはこの写真の意味を説明したいと思っています。



## 市整会ゴルフコンペ

楯憲一郎 (S52)

私は、頼功前会長の下で、福利厚生担当の副会長として、4年間勤めさせていただきました。主業務は家族会と市整会コンペの統括責任者という事でしたが、家族会の方は安田浩成先生が、市整会コンペは豊川英樹先生が、それぞれ実務を完璧にこなしていただき、無事役目を終える事ができました。両先生には感謝しております。

市整会コンペは今年で21回目を迎えます。福利厚生の一環として、会員相互の親睦を目的に毎年12月に泉ヶ丘カントリークラブで開催されています。縁あって、第1回から15回までの15年間、私が幹事をさせていただきました。開業3年目よりお世話をさせていただいていますので、文字通り、開業と共に歩んできた感じです。年1回の行事ですが、私にとっては一大イベントとして、2~3カ月前から準備をはじめ、楽しみでもあり、反面、結構直前キャンセルやら、会員が思うように集まらない年があったり、組み合わせ等に苦勞して辞めようと思った事もしばしばありましたが、過ぎてみれば、皆良き思い出として心に残っています。

当初は吉中正好先生、上田晏弘先生、小松堅吾先生、渡辺径宏先生といった、錚々たる名手が常時参加され、コンペ終了後の懇談会では開業したての私にとって、随分有意義なお話を諸先輩方から聞かせていただいた記憶があります。私は他大学の出身ですが、市整会のざっくばらんな暖たか味のある気取りのない雰囲気をかいまみました。

今年から市整会コンペの幹事は豊川英樹先生に代わって、長濱信一先生をチーフとした、田中直史先生、上野憲司先生、湊康行先生の4人の先生方に引き継がれる事になりました。新境地の開拓という意味で4人の先生方におおいに期待しています。

それから、ゴルフコンペに関しては、大阪市大の関連病院の勤務医の先生方との交流、親睦を目的としたスケルトンゴルフコンペも毎年7月に開催されています。市整会の公式行事ではありませんが、病診連携の一環として、情報交換も含めて、基本的には同門で楽しくゴルフをしようということが目的だと思っています。

当初は、対抗戦をやりましたが、最近は勤務医の先生方の参加が少なく、いかに多勢の勤務医の先生方に参加していただくかがスケルトンコンペの今後の課題になると思います。今年から会場をオークモントゴルフクラブから花吉野カントリー倶楽部に変更させていただき、今年も多勢の先生方に参加していただきました。

ゴルフは魔物です。人生と一緒に思わぬ所に落とし穴があります。スポーツとしてもゲームとしても面白いと思います。「たかがゴルフ、されどゴルフ」です。夏と冬のゴルフコンペ、皆で楽しみましょう。どうぞ、これからも多勢の市整会会員の先生方の参加をよろしくお願い致します。



## 勤務医と開業医の私

鳴嶋真人 (S54)

市整会の記念誌には、25周年を中心に各記念誌に多くの歴史が刻まれています。

私は現在60歳で還暦を迎えます。昔では人生の大きな節目で、何かを考えなければならない時でしょうか？

24歳で医者になり、2年間研修医、4年間の整形外科大学院で30歳を卒業しました。

私は今年で医者暦30周年で、15年間勤務医、15年間開業医をしました。丁度、勤務医と開業医をハーフ&ハーフしたことになります。

いずれも患者様第一主義で自らのことは後まわして、患者対応におわれた30年間だったことは確かです。開業して、診る疾病構成が変わり、整形以外の疾患である内科をはじめ、全般的な基礎知識が要求されるのはもちろんです。

しかし、勤務医から開業医と経るに従って、同じ整形疾患を扱っているのに、疾病の考え方が自分の中で変化し、治療法が変遷していくのです。自ら驚きを感じるが多かったように思います。

まず、その特徴について3項目ほど述べたいと思います。

1) 開業医の特徴は、新鮮外傷（骨折など）の一番最初の治療者であり、またその治療ができるということです。

開業当初は、骨折を診て、今まで自分が勤務医時代にそうしてきたように、すぐに手術の出来る病院へと紹介していました。それが、早い骨折は整復を上手にすれば、かなりの骨折は保存療法でいけるということです。つまり、骨折の初期治療で十分な整復操作をしていれば、手術しなくて済むことが多々あるのです。

勤務医時代では、数日して診るために、骨折部周囲は腫脹し、血腫は維持化器質化しており、血腫は整復の邪魔となり、十分な整復は得られず、勤務医のところへ来た時点では日数（時間）が経過しているため、手術をするのです。ゆえに、勤務医は送られてきた骨折は、ほとんど手術をする癖がつくのです。勿論、手術の方が面白いのが勤務医（研修医）ですから当然でしょう。また、ギプス固定後のような詳細な経過観察の必要もありません。

開業医では骨折部の血腫が十分形成されない時間に、整復すると驚くほど綺麗に整復位が得られるのです。

この経験を多くして保存療法の限界を知りたくになりました。保存療法を研鑽することが、開業医の立場であり、本領と思うようになりました。

開業医は外傷の一番最初の治療者であり、保存療法のパイオニア、保存療法の限界への挑戦者なのです。

そういう意味で開業医はテクニシャンであり、面白いのです。

2) 絞扼性末梢神経障害（Entrapment Neuropathy）です。外来でシビレを訴え、大病院で頭、頸、腰のMRIを受けて異常なしと言われ、見離されたように、愕然となった患者の対応です。

手根管症候群は夜間痛と、母指、示指、を中心とするシビレと考えます。

尺骨神経障害は（肘部管症候群）では、手全体のシビレなのです。教科書では小指、環指中心のシビレです。しかし、患者は手の全体のシビレを訴えます。これは手掌内筋（短母指外転筋以外）ほとんどが尺骨神経支配で、最終が第1背側骨間筋のため、これらの筋肉の動き不全が、これも患者にとってはシビレなのです。だから患者は「指全体（手全体）がシビレル」と訴えるのです。これは開業して患者の勝ちか、そして医者への負けかと思いました。つまり、医者は石頭で（これは私の頭（脳）の話です）、尺骨神経は、小指、環指の尺側のシビレと、教科書の既成概念で診ているからです。

足根管症候群の場合も同様です。足趾の趾尖爪を含め、趾の背側までで、足底部神経支配ですので、足の指のシビ

レもあって当然です。

足根管症候群は手根管症候群と同じぐらい多く見られ、高齢者ではそれ以上に多い疾患と思いますが、なかなか認知、および周知されていないように思います。足底、足趾のシビレ（時に足関節以下足全体のシビレ）を訴えます。その患者が高齢者であり、外反扁平足が軽度でもあれば、ほぼ足根管症候群に間違いありません。

他病院で腰のMRIでヘルニアをR/Oされていればなおさらです。（足根管症候群についての詳細は市整会ホームページ参照お願いします。）

Entrapment Neuropathy がこんなに多くあるのがわかり、患者に教えられるなあと感じるようになったのは、開業してから5年も過ぎたころでしょうか？

このように患者のシビレの訴えには脱帽です。「患者！ウソつかない！」患者は教科書以上の存在であり、教科書そのものです。

3) 変形性関節症（変形性膝関節症（膝OA）、変形性股関節症（股OA））JCOの機能評価点数とレ線所見とは一致しません。まして手術適応も開業して変わりました。開業後外来で、レ線画像を診て「何で！ここまで手術をせずに生きてこれたの？」と考えさせる症例に多く遭遇するからです。

保存療法の限界がどこにあるのか、今でもわかりません。疼痛を主訴として来院しても、以外と1ヶ月～3ヶ月の治療で疼痛はとれるのです。炎症期のステージの問題もありますが、膝の内側関節裂隙の疼痛は、半月板の磨耗の問題もありますが、それ以外にも脛骨内顆の軟骨下骨折が潜在しているのではないかと推測しております。つまり部分的な疲労骨折です。MRIの発展により、内反膝を伴うような内側関節裂隙の疼痛のある多くの症例が、MRIで同部の部分的な疲労骨折であると、解明されるのを待ちたいと思います。

一時的免荷、一本杖歩行で1～2ヶ月も部分免荷していれば治るのです。一時の杖で十分です。つまり、手術はいつするのか？その患者個人のライフスタイル、価値観によって違いますが、3ヶ月必死で治療してきても、満足してもらえない時が手術でしょうか？これが今の私の手術適応です。

以上、勤務医より開業医になってからの変化について、自らの経験論的考察です。

開業医は定年はなく、よく言えば一国一城の主（小さいけれど）ですが、地域密着型で地域患者と共に年を重ね、喜怒哀楽を共にして、開業医の最高の至福であり、活力の源は感謝されることが何よりです。

市整会はその愚痴や不安を語りあい、共有しあい、明日の力に変換できる場でありたい、創って行きたいと考えています。



## 家族会

安田浩成 (S54)

平成 20 年 10 月 19 日 (日)

～～海遊館、なにわ探検クルーズ、大阪料亭「芝苑」～～

行程： 9:15 難波出発——10:00 海遊館 11:30—12:00 日本割烹「芝苑」 14:00——14:40 湊町 落語家（桂三之助）と行くなにわ探検クルーズ（貸切船） 16:10 解散

参加人数：会員 20 名、家族 27 名、合計 47 名。

二次会 B-Roxy(ジャズライブ)

二次会参加人数：会員 13 名、家族 12 名、合計 25 名。

大阪での家族会とあって参加者は 47 名とたくさん集まりました。また子供さんも 8 人参加してくれました。大型バスでまず海遊館に到着。ここは自由行動で、大体人の流れに乗りながらも、各自思い思いの所で時間をかけてゆっくり見て回りました。いろいろな展示コーナーで多くの海の生き物を見ることが出来ました。その後昼食場所の「芝苑」へ移動しました。昼食は会席料理で、ビール、酒、焼酎、ワインなどを飲みながら、楽しく話をしながらおいしくいただきました。昼食後湊町の川にある船着き場へ行き、なにわ探検クルーズの船に乗りこみました。船は貸切で、落語家、桂三之助の軽妙な語り口の案内でクルージングを楽しみました。船から見る大阪の景色もなかなかいいものでした。

湊町で一旦解散した後、二次会参加の人達は日本橋の B-Roxy に行って、ジャズを楽しみました。バーボンを飲みながら女性ボーカリストの歌を楽しませてもらいました。

平成 21 年 10 月 18 日 (日)

～～有馬温泉日帰り旅行～～

行程： 9:00 難波出発——9:30 インスタントラーメン発明記念館 11:00——11:40 有馬グランドホテル（入浴・昼食） 14:30——15:00 神戸花鳥園 16:30——18:00 難波解散

参加人数：会員 13 名、家族 12 名、合計 25 名。

この年は新型インフルエンザの影響もあって、参加者が少なかったようです。

インスタントラーメン発明記念館ではチキンラーメンを作る体験をしました。5～6 人のグループに分かれて、エプロン姿に、頭にはバンダナ。粉を練って、機械で伸ばしてから細い麺にして、揚げ用の容器に丸めて入れます。後は向こうの人が揚げてくれます。揚がる間に袋に自分用の絵を描いて自分の袋を作り、揚がった麺を袋詰めしました。出来上がった自分のチキンラーメンとバンダナをお土産に持って帰りました。

そして有馬グランドホテルに行き、まず浴衣に着替えて、皆で大浴場に行き温泉につかりました。それから大広間で昼食をとりました。いつも通り、ビール、酒、ワインなどをしっかり飲みながらおいしい会席料理をいただきました。

昼食後はポートアイランドにある神戸花鳥園に行き、いろいろな花や鳥を見て回りました。目の前で鷹の飛行ショーなど楽しめました。



## 家族会

増田宗義 (S54)

平成 22 年 10 月 31 日 (日) 家族会 (参加 会員 20 名、家族 23 名、43 名)

～龍馬が駆け回った京都を巡る～

難波を出発したバスは 1 時間ほどで伏見に降り、ほどなく酒蔵が立ち並ぶ町並みが見えてきました。

寛永 14 年創業の月桂冠酒造の大倉記念館は、明治 42 年建造の酒蔵を改築し博物館としたもので、館内ではその歴史の長さを偲ばせる資料や酒造用具などと共に昔の酒造りの工程をわかりやすく展示しており、酒造りの唄が流れる中かつての酒蔵の雰囲気味わうことができました。最後にはきき酒を堪能した後、坂本龍馬ゆかりの寺田家を見学し、三十石船に乗りました。乗船前に雨がぱらつきましたが、折り返しの三栖閘門では雨もやみ広々とした風景を満喫することができました。

京都市内に移動し東山の麓にたたずむ名料亭「京大和」へ、平安からの歴史を受け継ぐ由緒あるこの地は江戸時代には京都でも有名な眺望の名所で、当時発刊された都林泉名勝図会には現在も残る翠紅館広間などがそのままの図面で記載されているようです。お料理はもちろんすばらしく、しっとりとしたお庭の景色を愛でつつ楽しい時間を過ごしました。

昼食後、幕末維新ミュージアムを見学し京都を後にしました。

平成 23 年 11 月 3 日 (木) 家族会 (参加 会員 22 名・家族 24 名 46 名)

～鳴門うずしおウォッチングツアー～

今回は少し遠出をして徳島は鳴門まで行きました。明石海峡大橋を渡り 2 時間ほどで大塚国際美術館に到着しました。館内ではガイドの人がわかりやすく説明してくださり、その後の自由時間も含め本物と見間違えるような陶板による世界の名画の数々に圧倒されました。以前に見た絵画を思い出された方も多かったのではないのでしょうか。その後、うずしお観潮船に乗って壮大な自然の営みにふれました。お昼ご飯は、名料理人小山裕久氏の料亭「古今青柳」にてお庭に面したお座敷で繊細なお料理の数々に舌鼓をうちました。帰りはサービスエリアでの買い物を堪能して大阪への帰途につきました。



## 南仏旅行

宮脇裕二 (S55)

市整会 40 周年誠にありがとうございます。今回は今年の夏訪れた南フランスの旅行記を書いてみたいと思います。南フランスは今回で 3 回目になりますか夏になりますと美しいニースの海をどうしても見たくって足が南フランスのほうに向いてしまいました。今回の訪問先はモナコ、ニース、カンヌ、の主要 3 都市で、これらは家内と 30 年前新婚旅行の時に訪れた街であります。今回の旅行で南フランスの美しい海ばかりでなく山の奥にある小さな村も探索して参りました。それからもうひとつ大きな目的の 1 つであります「ミシュラン三つ星レストラン”ルイケーヌズ”」で食事をするというのも計画に加えました。

まずはモナコですが、ここは完全にセレブの町で、グランドカジノ周辺に止めてある車を見て回るのが楽しいです。というのはフェラーリ、ポルシェ、アストンマーチンなど超高級車がずらりと止まっていますし、さらにロータスとかランボルギーニと言ったあまり大阪ではお目にかかれないような高級車も止まっています。車の前でまるで我が車のように写真を撮っていくのが観光客の常であります。私もごたぶんにもれずその一人であります。旅の目的の一つであります最高級ホテルのロテルドパリのメインレストラン、三つ星の”ルイケーヌズ”に行ってきました。ここの夕食は価格的にとても無理で、ランチタイムでの利用ということになりました。ランチの予約も大変で日本から前もってネットで予約していった方が賢明です。ユーロ安のおかげで、今回は一人 1 万 5,000 円位で昼食が可能でした。味はやはりうわさのように、とても素晴らしいものでした。南フランスと言えばロゼワインですがこの店でてきたワインリストの一番安い中にあった Pink Floyd というロゼワインが名前に非常に興味をそそりましたので、講釈を聴いてみると、このワインはミーハーな人にはとても喜ばれるワインということがわかりました。ブラットピットとアンジェリーナ・ジョリーがワイナリーを買い取ってそこで作られたワインです。ロッ



クバンドの Pink Floyd もうこのワイナリーにスタジオがあって実際に録音を行っているとのことでした。お味もなかなかフルーティーで暑い南フランスで肉料理を食べる際に赤いワインでは少し厳しいのでこのようなロゼワインがふさわしいかと思われます。

次になんといっても美しいのがニースの海です。ニースの浜は砂浜ではなく石ころの浜で、そのために独特の色(三層のブルー)を醸し出しています(写真①)。昔学会の後で大松先生とこの石ころ浜のプライベートビーチで泳いだ記憶があります。確か先生はこのビーチで朝から晩まで鋭気を養っておられたと思います。何か他に目的があったかもしれませんが。

次に車でニースから山のほうに入っていました。コートダジュールから山を想像するする人はあまりないかもしれませんが、ニースから入った山岳地帯はアルプス山脈に接しています。ここにはまだ観光化していない古い村々が点在しています。各村は城壁に囲まれいわゆる鷲巣村と言われています。鷲巣村といえばエズがこの辺りでは一番有名です。その他に幾つかの村を訪れたのですが一番印象深かったのが、コアラーズでここにはあまり知られていないジャンコクトーの日時計があります(写真②)。コクトーはこの観光地でもない小さな村にどんな魅力を感じて訪れたのでしょうか。さらにどうしてこの村に人気を作っただろうかという素朴な疑問が湧いてくる所でした。まだまだ訪れたいところは数々ありますがそれはまた来年以降のお楽しみということで。





## 市整会 40 周年記念行事を担当して

斧出安弘 (S56)

最初に、この度の 11 月 18 日に行われました、市整会 40 周年記念式典並びに祝賀会におきましては、たくさんの先生方、ご家族様にご参加いただき、素晴らしい思い出に残るパーティになりました。準備委員会を代表して、深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。この記念誌に、今回の祝賀会への私の思いを、残しておきたいと思います。

当初、この祝賀会の準備委員長は、阪本邦雄先生でした。ご存じのように、阪本邦雄先生が、6 月に病に伏されました。そのため、その後の準備委員長が私に回ってきました。阪本邦雄先生のご回復を祈りながらも、その時は、大変重要な仕事が回って来たと、身の引き締まる思いでした。平成 24 年 5 月 19 日に第 1 回の準備委員会を、「大東洋」でおこなったのですが、その時すでに、阪本邦雄先生が、ほとんどの準備の段取り、役割分担を決めて、資料としてお持ちいただきました。その後の、準備委員会の日程も、他の行事とできるだけ重ならないように配慮された日程が並んでいました。この阪本邦雄先生がくださった資料があることによって、大まかな部分は、ほとんど決まっていたので、後を引き継いだ 2 回目以降の会議では、細かい部分を決めるだけで、スムーズに準備委員会が進みました。阪本邦雄先生が、その時すでに、周到に計画を準備されていたことに、敬意を表するとともに、大変感謝しております。

1 回目の準備委員会は、決起集会のようなもので、簡単な会議をした後は、大東洋の美味しいお料理とお酒をいただき、楽しいひと時を過ごして帰りました。

2 回目以降は、私がこの委員会の細かい部分を決めていかなければなりませんでした。準備委員の先生方のご協力をいただき、特に、鳴嶋真人会長には、事細かなアドバイスをいただきました。また、会計の柳井尚浩先生も、私がお金のことをあまり気にせず、話を進めることができるようご配慮くださいました。また、40 周年の準備に並行して、鳴嶋会長のご提案で、阪本邦雄先生の件をきっかけに、市整会の診療支援対策をすることが決まり、それに対しては、森川献志漢先生が、大変尽力をしてくれました。そのおかげで、私は、式典の準備に専念することができました。先生方には、本当に感謝しております。

11 月 18 日の本番を迎えるまでに、10 月 27 日の市整会の学術文化講演会で、藤波辰爾さんの MC を務めた事、翌日の 28 日には、藤波辰爾さんのデビュー 40 周年のパーティの発起人になっており、何か重大な行事を、この数か月間に 2 つずつぐらい並行で準備していたので、正直疲れましたが、すべてやり終えた今は、達成感をひしひしと味わっております。

さて、祝賀会の当日ですが、準備委員の先生方が、それぞれの役割分担を、黙々とこなしていただき、順調に進行しました。今回の私の最大の思い出は、「整形ソング」を、先生方と一緒に合唱したことです。この企画は、鳴嶋真人会長が、2 回目の準備委員会前に、提案してくださいました。「整形ソングを昔みんなで、歌ったのを覚えてるやろ。みんなで、祝賀会の最後に合唱しようや！！そして、それを後世に残そうや！！」と提案されました。私も、28 年前の自分自身の結婚式の日に、出席していただいた先生方に、歌っていただきました。それを思い出して、飲み屋さんで一杯飲んでいる時に、友達のギタリストの中島岳君の携帯に、私がアカペラで歌って録音してもらいました。そこから、その歌の楽譜を作ってもらいました。(彼のグループ「Picture Perfect」は、2 年前の市整会の新年会に出演してくれました。私は家内と、今年の 4 月に、彼らのグループと一緒に、東北のボランティアに参加してきました。) ホームページの「整形ソング」のコーナーに私の歌を載せてもらいましたが、ギターの手奏は彼の後付けです。その時、中島岳君が私にくれた楽譜には、最初「オノデさんソング」と書かれていました。その、楽譜の題名を「整形ソング」に書き直して、ホームページに掲載しております。また、このコーナーには、寺川文彦先生が、ご自身の結婚式の日に撮られた整形ソングの合唱の映像を、提供してくださいました。ほんとに懐かしい映像です。本番までに、準備委員会の最後に、「整形ソング」を準備委員会のみんなで、練習しました。

その成果は、本番に出たと思います。本番では、木下孟先生に、歌の解説と指揮をお願いしました。最初にお願いしたときは、躊躇されていましたが、本番では、懐かしいお話をしてくださり、2番の寂びの部分は、ほとんど一人で熱唱してくださいました。味のある素晴らしい歌だったと思います。私は、司会の都合上、ピアノの後ろに並んで歌ったのですが、ピアノの譜面台の上には、「オノデさんソング」と、題名に書かれた譜面が置かれていました。それを見たときは、うれしかったです。細かい問題は、準備を進める段階でも、本番でも、実はいっぱいあったのですが、皆さんに喜んでいただき、楽しんでいただけたので、すべて吹っ飛びました。

パーティの途中、トイレですれ違った長田明先生が、「2世の先生方が、たくさん来てくれた。うれしいな～」というお言葉が、印象に残っております。

最後に、この度の、40周年記念行事にかかわってくださった皆さん、本当にありがとうございました。そして、今後ますます市整会が発展し、45周年、50周年の祝賀会が開けることを、心より祈っております。



## 35周年から40周年への思い

寺川文彦 (S57)

確か35周年のときは記念品が時計で小生は当時の会長の指示にてその時計に貼るシールをパソコンで作成したのを覚えています。その時は楽しいバンドの歌で踊る先生や家族の方もおられました。小さい子供さんが多かったようでした。また秋野、天野両先生のビンゴで有馬先生がブランド物のバッグを当てられたことも鮮明に覚えています。とても楽しい思い出でその時の写真を懐かしく見えています。40周年は長男夫婦とともに出席します。今年4月結婚したばかりですが楽しい思い出となってくれることを期待しています。

今年はなんといっても以前国立大阪病院（昭和63年4月から昭和64年3月まで）で1年間仕事をともにした山中教授がノーベル医学、生理学賞と文化勲章を受賞されたことが最大のニュースです。国立大阪病院では院内マラソンやオペ場の忘年会と一緒に女装して出た記憶があります。聞くところによりますと山中先生は、神戸大の出身でスポーツ整形を勉強しに市大の市川先生を頼りに整形に入局されたようです。ところが研修先の国立大阪病院の当時の部長の川田先生はスポーツ整形のSの字もお嫌いな厳しい先生で、また山中先生はあまり器用な方ではなかったため、2年間かなり厳しい研修期間だったようです。研修終了後、臨床を諦められたようで（これが一度目の挫折だそうです）、市大の薬理学の大学院に入られ臨床から基礎に移られました。卒後皆さんご存じのように93年に米国の研究所へ留学されて、帰国後、大阪市大で、当時米国で盛んだったマウスのES細胞（胚性幹細胞）の研究を続けようとしたが、研究環境の違いや周囲の無理解から思ったように成果が上がらなかったようです。2度目の挫折で臨床医に戻ることも考えたが、最後にもう一度、研究に挑戦してみようと、公募中だった奈良先端科学技術大学院大（奈良先端大）の助教授に応募。99年に採用され、iPS細胞研究の礎を築かれたようです。ここから教授となり、京大に招聘されて現在に至っています。OCA研修会（第193回）平成20年5月17日（土）ウェスティンホテル大阪で講演2：「人工多能性幹細胞の可能性と課題」京都大学再生医科学研究所 再生統御学研究部門 再生誘導研究分野教授山中伸弥先生の講演のあとtwo shotで先生と写真撮影してもらいました。またOCA研修会終了後同期の増田先生と3人でミナミに飲みに行きました。

これが先生との3回目の出あいで、1回目、2回目はともにJR天王寺駅でお会いしました。1回目は奈良先端科学技術大の教授時代でこれから大和路線で大学に行かれるときでした。2回目は京大教授時代で平成20年頃だったと思います。ノーネクタイでスーツケースを引いてこれからアメリカへ講演に行くと言われていました。山中先生が立派なのは、特許を守りつつ、他国に技術を追い抜かれぬようにall Japan体制で臨まれている点であると思います。またかつて臨床医であったからこそ、iPS細胞を用いて、製薬会社が開発しない患者の少ない難病にも治療薬を開発するという信念を持っておられるのだと思います。iPS細胞が一日も早く再生医療に臨床応用されることを希望いたします。最後にとりこめのない事を書いて申し訳ありませんでした。これからもわれわれ開業医が生き残れるように、今後さらに市整会が発展することを祈念しましてペンを置くことにします。

研修医時代の山中先生

1988年12月国立大阪病院内

駅伝大会で優勝した整形外科チーム、左下が山中先生です。





## 大好きなゴルフ

増田 博 (S57)

ゴルフを始めて30年になります。まったくの我流にて始めました。初めてコースを回ったのは瀬田ゴルフクラブです。義理の父に連れて行ってもらい デビューしました。確か150から160くらいのスコアだったと思います。その後、病理の大学院時代におなじ大学院生同士でよく行くようになり、120から130くらいで回っていたように覚えています。

だんだん調子が良くなってきていたのに あるとき シャンク病にかかりました。普通にまっすぐ打っているつもりなのに、ほぼ真横のほうに飛んでいくようになり、ゴルフが嫌になり、もうやめようと思ったこともありました。でも気を取り直して、ゴルフはスコアではない 楽しくメンバーと回れたらいいのだと考えるようになり、プレー中もアルコールを一杯飲み、スコアが悪いのは お酒のせい、天候のせい、寝不足のせいとか いろいろ理由をつけて回っていました。

島田病院時代には ゴルフの機会も増え、100に手が届くかというところまで来ていたのですが、その後、開業したので、少しゴルフから遠のくと、また低迷時代が続きました。

その後も、ゴルフはみんなと楽しく回れたらいいと考えるようにしていたのですが、ほかのメンバーが良いスコアを出すのを見ていると なんとなくさびしくなり、ここは 一つレッスンを受けようと一念発起して 3年前に近くの打球場におもむきレッスンを受けるようにしました。そんなに多くの回数は行くことができなかったのですが、久しぶりに行って コーチの前で素振りをすると コーチに「そんな素振りなんべんやっても同じや。」とかも言われ、非常に落ち込みましたが、それにもめげず、コーチの指導のもと何度かレッスンを受けるうちに 少しずつお褒めの言葉もいただけるようになってきました。ところが その打球場のオーナーが変わるということでしばらく改装をするため休場となったため、花開く前に中断することとなりました。

現在は レッスンには行ってませんが、その時に教えてもらった アドバイスを思い出しては コースに出ています。現在のスコアは100前後といたいところですが、100代でしょうか。



## 市整会 40 周年

上野憲司 (S60)

市整会 40 周年おめでとうございます。昭和 60 年大阪市大卒、整形外科入局の上野憲司です。

私も、松原市で平成 13 年に開業して、本年 12 年目を迎えました。専門はスポーツ医学であります。スポーツ医学は、整形外科の中でも応用学問とされ、また対象の治療目標が日常生活レベルでなく、スポーツ復帰と高いこと、治療手段で手術が多くなることなど、対応が特異であるゆえ、開業することなど全然考えずに、病院での診療に従事していましたが、何故か開業をしてしまいました。そして、市整会の仲間にしていただきました。

このスポーツ医学を志した理由は、医学部に入学したときに、マスコミなどに登場する花形スポーツドクターにあこがれたと記憶しています。プロ野球選手がけがをしたとき、診察をして、スポーツ新聞に担当医師の談話などで、名前が載ることを夢見ていたような……。大阪市大の整形外科教室に入局するやいなや、当時のスポーツ医学を担当しておられた大久保衛先生に弟子入りを申し入れました。即了解していただけるものと思いきや、とりあえず 2 年間いろいろな分野を研修してから、決めた方がいいといわれ、しかし、思い込んだら一直線、猪突猛進の性格ゆえ、「なんとか、なんとか」と頼み込み、仕事を手伝わせてもらいました。半年後に学会デビュー、その演題に、2 社から、論文執筆依頼が舞い込み、鼻高々になったときもありました。しかし、現実の診療や研究は、地道で、マスコミに載るなんて、夢のまた夢という生活でした。

当初からスポーツ医学に関わったことにより、学んだことがあります。患者がたまたまスポーツ選手であったという医療ではなく、スポーツ選手が患者になったことに対する医療を行う、この意識の差は全然違います。このことを多くの医療者に理解してほしいです。また、インフォームドコンセント、インフォームドチョイスと言った概念の登場より、先行して実践していたことや、医療の不確実性を理解しながら、治療プログラムをつくっていったことなど、現在では、当たり前のことになっている？ことを、早くから実践できたことは、大きな財産になっています。

「寝かせてはいけない、座らせる、座れば立て、立てば歩け、歩けば走れ」スポーツリハビリの経験から、人の回復の限りない可能性を教えてもらったし、一方でごく当たり前のことができていない現在のリハビリ医療になんとなく怒りを覚えています。老人医療においても、その機能低下を加齢現象で片づけるのではなく、もっと可能性を引き出せないのか、主体性を引き出すリハビリができないのか、自問自答をしながら、リハビリ医療のレベルを向上させたいと願っています。(本音か建前かわかりませんが、診療報酬には、期待せず、消炎鎮痛処置で頑張っています、念のため)

現在、地区の松原市医師会では、理事として、在宅医療推進事業、病診連携や医療介護連携を担当させていただいていますが、地域連携パスなどのプログラムやもっとレベルの高いリハビリのあり方をより多くの医療者や市民に知ってもらい、自分が生まれ育った松原を「住んでよかった松原」にしたいと願っています。開業時のあいさつ文に「地域医療に邁進し……」などと書くのですが、公私ともに地域のために頑張っているつもりです。雑文で申しわけないですが、自分の今の心情を披露し、40 周年記念誌への投稿とします。



## 自己紹介および近況報告

宮口正継 (H7)

たまにふらっと学術講演などで姿をみせるだけの中途半端な存在で、市整会運営にも協力できておらず申し訳ございません。大阪市大卒で平成7年入局の宮口正継と申します。この場をお借りして近況報告と幽霊部員の如く存在の弁明?をさせていただきたいと存じます。

亡き父(市大第2外科出身)が共同で開院していた病院の理事で戻ることになった関係で、当時会長だった長田先生が以前父と親交があったこともあって声をかけてくださり、市整会に入会させていただきました。とは言え、理事長でも院長でもございませんので開業医会に所属するのも微妙な立場でございます。

現在医療法人正清会 金剛病院という富田林市にある60床規模(30一般30療養のケアミックス型)の病院の運営に携わっております。病院といっても内科、神経内科と整形外科の常勤医は3人だけで、整形外科は個人的に友人の先生にお願いして手伝いに来ていただき、手術もできる範囲で行っております。小病院の悲しさで、昨年から一コマ減りましたが、それでも外来が午前診・夜診で週6コマと年間100例程度の手術をしながら入院患者も診て、当直もしております。よって半分は開業医で半分は病院勤務医のようなものです。私の診療スタイルの問題でもあるのですが、外来診察および病棟回診にも時間をかけるので、諸先輩方のこなす人数からするとたかがしれたものですが、外来が通常14~15時までかかり、途中で時間外も合体して16時くらいになることも多々あり、そこから急いで回診やら面談やら硬膜外ブロックやら会議やら・・・でそのまま昼も食べずに夜診の日は外来に突入り22~23時までという生活が続いています。

この状況もいつまで体力・精神力が耐えられるのかなのですが、在学中のクラブや大学勤務時代に鍛えられたせいなのか、忙しくしている分には疲れも感じませんし、休憩なし、食事なしでも意外と平気です。ただ一息つくと、どっと疲れが出るので取返してぶっ通しでしている面もあります。ところが40歳も過ぎると疲れが取れにくくなり、どうも睡眠不足が一番こたえるようになりました。早く帰った日などは子供を寝かせに寝室へ行くと9時半であろうがさっさとそのまま一緒に寝てしまう今日この頃です。

説明には十分時間をかけたい(余計なことまでしゃべり過ぎ?)かつカルテには細かく所見や情報を記載したい(ポイントを絞れずむやみやたらに書き過ぎ?)診療スタイルですので、ボールペンは4日ほどで空になります。外来が長いせいか、こちらに戻ってきてから喉がやられたらしく声質が変わってしまい、若かりし頃よくカラオケで唄って騒いだものですが、昔の十八番曲が声が出なくなり全然歌えなくなりました・・・声帯結節でもできているのでしょうか・・・。

昨今は開業医にとって厳しい時代となって参りました。しかしながら病院にとってはさらに厳しい風向きが続いております。医療改革のため中小病院はさっさとつぶれて更地になれ!と言わんばかりの診療報酬の改定の度に負担が増え続ける現状です。働けど働けどわが暮らし・・・の世界ですが、忙しいことはまだ有難いことと肝に銘じ自らを奮い立たせております。過去に医療過疎地と報道されたように、富田林を含む南河内はお世辞にも救急医療体制が整っているとは言い難い環境で、整形外科もしかりです。土曜日も基本的には夕方までの勤務体制になっており、土曜日の午後~夕方は受け入れ先が乏しいため時間外も多く救急をストップにしにくい環境でもあります。そのために土曜日の行事にも参加が容易でない現状があるのです。ただこれは患者のためでもあります。経営のためでもあります。しかしこれだけ苦勞しても病院単体で収支を黒字にすることは容易ではないのです。

ところで今年から私の拘束時間が長過ぎるため、理事長から金曜日の午後は公休とのお達しが出ました。勤務医負担軽減という減算し続ける診療報酬に相反する指針があります。そのためにさらに出席しなければならない会議が増えることとなり、どこが負担軽減なのかがよくわかりません。ところが現実には臨時手術や雑務諸々に追われほとんど通常勤務になっています。限界も感じ周囲の協力を得て、まずは書類雑務を軽減するシステムを試行中で、も

もう少しうまく時間をつくれるようになれば、半分は休息もしくは家族との時間に費やし、半分は関連病院の見学などをさせていただこうと考えております。

身体的な問題以外には、諸先生方も同じですが平日は病院を出にくいいため学会にほとんど参加できないという悩みがあります。このため学会発表からも完全に引退してしまいました（でもこれは半分以上言い訳ですね・・・）。ただ専門医や認定医をあれこれ取得してしまったがために資格の維持が大変で、市整会で主催してくださる講演会は大変有難く思っております。講演内容も要望を拾い上げながら企画されており会長および学術委員らのご苦勞が伺い知れます。土曜日でも外来終了後に病棟回診を済ませてからなので、どうしても病院を出発できるのが夕方近くになってしまうのですが、何とかやりくりしております。単位のためだけでなく、医療が自己流や現世から離れた村人生活にならぬよう絶えず新しい知識の研鑽と技術・システムの導入に努めたいと考えております。まだ手術に携わる者の立場から思うことは、開業直前まで一線の現場で働いておられた先生方ですが手術の適応や方法も刻々と変化しております。新しいやり方が必ずしも優れているわけでもなく、単なる流行りのものもある感は否めませんが、今の流れを開業医の先生方にも知っていただく必要があると感じています。ただその点市整会の先生方は色々ご多忙のはずなのに、市整会以外の講演会や勉強会でもしばしばお目にする先生方もおられ、常に新しい知識の研鑽を怠らぬ姿勢には大変感服いたしております。当院近隣にも今後クリニックがもし増えるのならば市整会のメンバーであることを期待しております。

最後に私は、「忙しい中にも余暇の時間つくる」というのがどうにも下手な人間です。もう少しうまく時間をつくれるようになりましたら諸先輩方や後輩の方々とも仕事以外のことも含めて交流を深められればと思っております。クリニックと病院では施設としての役割や診療報酬の体系も異なりますが色々勉強させていただきたいと思えますし、逆に病院的な立場からの情報も提供できることもあるかもしれません。「市整会創立 40 周年」先日記念式典に出席させていただき、ここに至るまでの諸先輩方の並みならぬご苦勞や市整会の歴史をお聞きいたしました。その功績に感謝の念を抱きつつ、今後のさらなる発展のため我々ひとりひとりが頑張っていかなばと思っております。まだまだ若輩ではございますが今後ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



## 祝！40周年！！

木下裕介 (H7)

祝！40周年！！この瞬間に市整会の会員であることに嬉しく、また誇らしげに感じます。

平成14年9月に勤務していた清恵会病院を退職し、翌10月から自宅医院に入り父のサポートをするようになりました。その情報がどこから漏れたのか、早速市整会からお誘いがあり、入会させて頂きました。

小生は、平成4年に福岡大学医学部卒業後平成7年3月まで川崎医科大学で研修した後翌4月に市大整形外科に入局、市大入局後は、府身障、清恵会病院に勤務していたため、同門の先生方と接触する機会があまり多くなかったため、多くの先生方と知り合うためにもすぐに入会させて頂きました。入会してみると予想通りすぐに多くの先生方と知り合うことができました。当たり前のことですが、全員開業医の先生方です。当時、開業について右も左もわからない僕にとって、色々な事を教えて頂きました。保険点数の算定の仕方については当然色々教えて頂きましたし、それ以外にも税理士費用はどのくらいか？とか、レントゲンの管球が切れるときにはどんな前徴があるか？とか新規職員採用の際に注意している点とか様々で、大変参考になったことを覚えています。

今では理事（広報）の仕事を頂いています。といってもたいした仕事は何も出来ていません。ただ年2回発行する会誌にサッカーに関する記事を投稿させて頂いています。この投稿についてもいいのか悪いのか？自分ではさっぱりわかりません。もしお気付きの点があれば、御指摘して頂ければ幸いです。よろしく願いいたします。

今後市整会は、50年、60年と歴史を積み上げていくと思います。その時も今と同様に、いや今以上に素晴らしい会になっていることを期待しています。

色々ご迷惑をかけることも多々あると思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 準備委員としての 40周年記念式典がおわり・・・

森川献志漢 (H8)

11月18日の40周年記念式典にあたり、準備委員会の末席に指名いただいたのに、これといったお手伝いもせず、ただただ傍観する日が過ぎていきました。鳴嶋会長の細部にいたるまでの心配り、病に倒れられた阪本先生の思い、斧出先生の膨大な仕事量・スピーディな対応、他の先生方の協力体制の数々、全てにおいて敬服の念でいっぱいであります。

また、会当日は3時に会場入りさせていただいたのですが、続々と集まってこられる準備委員会の先生方、その各々の先生方が準備を分担し記念式典を成功させようといった思いが満ち溢れておりました。

40周年記念式典・祝賀会も盛大であったことは文章では書き表せられませんが、阪本先生が病の床にありながらも電信をいただいたり、御来賓の中村教授・高見先生のご挨拶、功労者の先生方の市整会を思いやるコメント、祝賀会では頼前会長が手配して下さったハーミスの方々の歌声、天野先生の息子さんが作って下さった昔の写真が流れるスライドショー、プロ顔負けの名司会で行われたビンゴ大会、奥様目線で選ばれたビンゴ景品の数々やきっちりした柳井先生の会計などなど隔々まで行き届いた内容でした。会場内では、僕のような若輩に諸先輩先生方が声を掛けて会話していただきとてもうれしかったです。そして、会の最後には木下孟先生の解説の中、全員で整形ソングを合唱するなど、これまでの回顧とこれからの展望といったサブタイトルに合致した楽しいひと時でありました。

ただ、世の中にはプラスの一面があれば、マイナスの裏面があると僕は常日頃から考えるのですが、40周年式典があまりにも盛況であったが為に、その裏面でこれから、僕らの世代が増えていかなければ、折角これまで盛り立てて下さった市整会が衰退しないかとの心配が帰りの電車の中で頭の中をよぎってしまいました。

11月18日の盛大な1日だけでなく、その準備をする舞台裏も覗けたのは何倍も得をした期間でありました。

## 再生医療に想う

片岡威博 (H14)

山中伸弥教授がヒト iPS 細胞を樹立し、その成果により、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。iPS 細胞樹立の発表から短期間で臨床応用へ向け世界中で研究活動が広がっています。また、研究者だけでなく、さまざまな分野の専門家や市民へも大きなインパクトを与え、臨床応用へ向けての関心が高まっております。この成果をさらに発展させるために、全世界中で研究および支援体制がすすめられているようです。実際、外来診療の場でも、患者やその家族は iPS 細胞に対する関心や期待感を持っておられ、将来的な展望について意見を求められる機会が多くなりました。

しかし連日の報道では、倫理的な問題点を指摘するような論争はあまり表面化していないようです。iPS 細胞は、ES 細胞と比較し倫理的な問題が低く、受精卵を介さないというメリットが強調されています。しかし実際は、各評議会や専門調査会では新たな倫理的な課題が議論されており、今後はそれらの課題を解決する必要があるようです。まず、動物実験の際、ヒトの細胞が動物の生体内で組織を形成することは倫理的に問題があります。また、iPS 細胞はすべての遺伝情報を有しているため、プライバシーの問題が浮上します。その他、細胞提供者の権利の問題、iPS 細胞の倫理的な使用法など様々な問題が挙げられます。

山中教授は、新しい技術が受け入れられかどうかは専門家だけではなく、社会が決めることであると提言されておられます。iPS 細胞はその活用性が大きいと、基礎研究、臨床研究に携わる専門家だけの倫理観だけでは十分な解決策を見いだすことが困難であり、社会的な課題としてこれを受け止め社会全体が解決策を模索していくべきであります。我々医師、特に開業医は、患者やその家族のみならず様々な職種の方々や市民の方々から医学的意見や観念を求められる機会が多々あります。我々医師にとって、社会に対する啓蒙活動は、日常診療と同等に重要な責務であります。

これらの課題に対して真剣に熟考していき、微力ではあっても社会的な問題を解決できる礎になればなどと分不相応ではありますが愚考しております。





# [ IV ] アンケート

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 木下 孟 (S28)  | 33.柳井尚浩 (S57)  |
| 2. 妻鹿利和 (S31)  | 34.馬野隆信 (S58)  |
| 3. 石上 直 (S32)  | 35.光武 宏 (S58)  |
| 4. 江口 亨 (S36)  | 36.中瀬嘉人 (S59)  |
| 5. 長田 明 (S38)  | 37.長濱信一 (S59)  |
| 6. 榎本高明 (S39)  | 38.橋本亮治 (S60)  |
| 7. 三明靖昌 (S39)  | 39.伊藤智康 (S63)  |
| 8. 前野岳敏 (S41)  | 40.國重昌彦 (H2)   |
| 9. 門田嘉弘 (S43)  | 41.小堀肇彦 (H3)   |
| 10.奥田好彦 (S44)  | 42.木下裕介 (H7)   |
| 11.黒田晃司 (S46)  | 43.鈴木英介 (H7)   |
| 12.南平克積 (S46)  | 44.森川献志漢 (H8)  |
| 13.山藤修輔 (S46)  | 45.明石健一 (H11)  |
| 14.山田忠尚 (S46)  | 46.小竹志郎 (H11)  |
| 15.菱川 泰 (S48)  | 47.高尾泰広 (H13)  |
| 16.楯憲一郎 (S52)  | 48.田口 晋 (H13)  |
| 17.鳴嶋真人 (S54)  | 49.木村浩朗 (H14)  |
| 18.西上茂樹 (S54)  | 50.中尾佳裕 (H14)  |
| 19.飯田伊佐男 (S54) |                |
| 20.佐藤哲也 (S54)  | 特別参加           |
| 21.田嶋考治 (S54)  | 市立藤井寺市民病院      |
| 22.清水孝修 (S54)  | 49. 齊藤英雄 (S48) |
| 23.堀澤欣弘 (S54)  | 岸和田徳洲会病院       |
| 24.和田健志 (S54)  | 50. 鄭 明和 (S60) |
| 25.安田浩成 (S54)  |                |
| 26.宮脇裕二 (S55)  |                |
| 27.秋野一男 (S56)  |                |
| 28.斧出安弘 (S56)  |                |
| 29.田中直史 (S56)  |                |
| 30.喜馬秀樹 (S56)  |                |
| 31.天野祐一 (S57)  |                |
| 32.増田 博 (S57)  |                |

※括弧内は入局年度

## 市整会アンケート

市整会 25 周年記念誌で好評でありましたアンケートを 40 周年記念誌でも復活してみました。内容は前回とそれほど差はありませんが少し新しい項目を付け加えてみました。今回は、はじめから記名とうたっていたためか少し回収が悪いようでした。(これは広報の責任ですが)

アンケートの質問事項は以下のようになっております。

1. 最近とにかく腹がたつこと、“まあ皆さん聞いてください”とぼやきたくなること。
2. 困ったときの神頼み、さて実際神は？ 大学医局、奥さん、友人、親戚あるいは近所のおっさん？ 他には？
3. 俺ってまだまだいけてると思う時はどんなとき？
4. 自分に老いを感じるのはどんなとき？
5. 近頃の若い整形外科医に一言もの申す。
6. おすすめのストレス解消法は？
7. お近くの人には言いたくない美味しいお店ありますか？
8. 今これに凝っているという趣味は？
9. これまで乗った、現在乗っているあるいはこれから乗りたい車、バイクは？ フェラーリのハイブリッド？
10. 思わず口ずさんでしまう曲は？ 歌謡曲、演歌、軍歌、ビートルズ、はたまたキャンディーズ？
11. 開業したばかりの先生にアドバイス。借金を早く返す方法？患者の集め方？開業したばかりの先生方は、開業の先輩の先生方に聞きたいこと？
12. 市整会に望むこと
13. その他、ご意見ご感想をお書きください。

### 木下 孟 (S28)

1. とくにない
2. 女房かな
- 3.-
4. すでに十分に老いています
5. とくにない
6. とくにない
7. ない
8. とくにないが、強いて言えばラン（花）
- 9.-
10. 少々演歌を。
11. とくにない
12. 今まで通りで十分です
- 13.-



### 妻鹿利和 (S31)

1. TV、新聞、どれを見ても面白くない
2. 友人、知人、身近な人たち
3. 体型を維持している時
4. 2階以上の階段を登るとき！
5. 運動、遊び、勉学
6. 友人とのゴルフ
7. あり。すし丸さん。
8. 海釣、ゴルフ
9. 昔バイク、今は当たっても凹まない車あれば。
10. 恨み節あらば！
11. 健康で、ゆっくり長生することかな
12. 新しい近鉄ビルに負けない様に！
13. 集計のむづかしいアンケートでしたかも！



### 石上 直 (S32)

1. 終わりのない会話にはまったとき
2. 近所の他大学病院
3. グレンツゲヴィートに対したとき
4. IT について行けない
5. 紹介患者の返信に心遣いを
6. 無いと思う。むしろ向き合う！
7. 言いたくない店ならある
8. 彫塑
9. クラウンです
10. 旧制高校寮歌
11. もうけようという姿勢にならないように



12. 時代とともに会員の総意につけばよい
- 13.-

### 江口 亨 (S36)

1. 隣国との国境問題、医療費抑制問題……。枚挙にいとまがありません。
2. 無神論者です。頼りになるのは家内ぐらいですかねえー。
3. 思い当たる医療過誤もなく、今日に至っていること。
4. 鏡に映った自分の顔一皺だらけ！！
5. 先ず1. 聞く（問診）2. 見る（視診）3. 触る（触診）を習熟して下さい。一中々、点数は上がりませんが……。
6. 飲み屋で、キューッと一杯！！
7. 空腹時は何でも美味しいです。良いお店であれば、すぐ近くの友人を同伴してしまいます。
8. ささやかな家庭菜園。
9. 低燃費の軽・小型乗用車で十分。
10. 歌謡曲：芦屋雁之助「コップ酒」
11. 聞く、見る、触るの診察よりスタートして、ローン返済が負担にならぬよう購入は少しづつにして、極力節約すること。3～4年も経てば患者数は安定してきます。
12. 会員の特発的傷病による休診発生に対する早急な支援（翌日からの代診）が出来るような組織が作れたらいいなあと思っています。竹村 Dr その他の Dr 達の様な元気な高令浪人医師を検索し自宅依頼請願をしては如何でしょうか？
13. 27年間の診療所を昨年閉院致しました。当初の開院準備業務より、後始末の閉院の時の方が、比較にならない程大仕事でした。ご自身の年齢、体力、健康状態をわきまえて自営に勤しんで下さい。



### 長田 明 (S38)

1. 腹のたつこと、この年（後期高齢者）になるまで色々ありましたが、最近は本当に「えっ！」と思うことが頻発致しますので、このごろでは、何があってもあまり腹も立たず驚きもしなくなりました。人生の終焉でしょうか？
2. 奥さん、友人、そんな奥さん友人があれば幸せですね。結局は自分でしょう。なるようにしかならない。
3. クラブのオネエちゃんに「先生まだまだ若いわネ」と言われて、お世辞とわかっていながら「エへへへへ」、



- 俺ってやっぱスケベーか・・・
4. 近所の子供に「おじいちゃん」と言われたとき。自分の孫に言われてもあまり感じないのに、なんでやる？
  5. もうちょっと骨折の保存療法も考えろ・・・なんて偉そうな事は言えないか？
  6. 幼稚園年長組の孫娘と話すこと。大きな孫はアカン。
  7. 誰にでも吹聴する方ですので・・・
  8. 無趣味なので・・・スンません。
  9. 免許証は更新してますが、車には乗らなく（運転しなく）になりました。
  10. 大阪市立大学逍遥歌「桜花爛漫月朧ろ・・・」
  11. 先ずは 24 時間対応してあげること・・・できないヨな。アドバイスにはならない。
  12. みんなの「和」、和のないところに繁栄はない。
  13. 益々の繁栄を祈念しております。

#### 榎本高明 (S39)



1. 以前は、よくカッカッしましたが、今は腹が立つこともありません。相手の気持ちを理解できる「ゆとり」ができてきたのか、大人しくなってきました。しかし鈍感になったわけではなく音楽等芸術に対する感性は、まだあります。
2. 漠然とした神様仏様
3. 夜 11 時頃、古い阪奈道路を 100km/h で飛ばしている自分に気がついたとき
4. 動作が遅くなったとき。診察のスピードも然り。
5. もの申すどころか、立派なものです。
6. 下手なゴルフではあるが、練習ボールをぶっ叩くとき。
7. 奈良の学園前に美味しいフランス料理店があります。
- 8.-
- 9.-
- 10.-
- 11.-
12. 市整会全員各位は、できるだけ市整会行事に参加していただきたい。他の行事と重なったときは、市整会の方に参加していただきたい。
13. 執行部の先生方に感謝しています。市整会がいつまでも活発に続けられているのは、執行部の先生方の努力と、参加する会員のお陰です。

#### 三明靖昌 (S39)

- 1.-
2. 奥さん

3. 長距離ドライブで無事帰ってきた時
4. ゴルフの飛距離の短縮ぶりにガクゼンとする
- 5.-
6. 写真撮影とプリント
- 7.-
8. iPad の操作と形態の軽便さを楽しんでいます
9. なし
10. ビートルズ
- 11.-
- 12.-
- 13.-

#### 前野岳敏 (S41)



1. 世の中に矛盾することは多々ありますが、かねがね腹が立つことは柔整問題である。これだけ整形の医師が制度の矛盾について不本意に思っている事が制度として残っていてどうにもならない事に腹が立ちます。
2. 困ったことは無数に有りますが、先輩の先生方の生きざまを参考にして、頑張ってきています。
3. 本院はガレージもないビルの一部を借りての開業ですが、看板 1 つなく、宣伝はほとんどしておりません。患者の口こみで細々と昭和 60 年より開業して 27 年になりますが、今でもつぶれない程度に患者が来てくれることで、健康に気をつけて頑張ればまだまだいけると考えています。
4. 洗髪の時、最近、やけに抜け毛が多くなって来たこと。
5. 開業してから、若い先生との職場での交流はありませんが、関連病院の先生方が紹介患者をよく見ていただけるので深く感謝しています。
6. ストレス解消法は人それぞれにあると思いますが、小生の場合はテニスです。開業以来週一回テニススクールに通い、ヘタなテニスで前後左右に走らされ、息切れ動悸寸前までしごかれます。しかし終わって帰るときは、生きているとの幸福感で一杯で、ストレス解消になっています。
7. 小生は、食べ物は命をつなぐための物と考えているので、何でもおいしく、ありがたく食べています。したがってどの店もそれなりにおいしく、小生にとってグルメチックな店は心当たりがありません。
8. さつき盆栽です。昭和 63 年 5 月、奈良のさつき展で、銘花の部において、日本さつき盆栽協会会長賞をもらいました。最近は金魚が可愛くて仕方ありません。大型 1 尾と赤ちゃん稚魚 14 尾おりますが、あのようにスイス

イと優雅に泳ぐように生きてみたかったなあと思う今日  
このごろです。

9. 昭和40年ごろより乗った順は、コロナ、カローラ、ローレル、セドリック、クラウン、レジェンド、シトロエンです。

10. 「琵琶湖哀歌」「花は咲く」

11. 普遍的ですが、健康に気をつけてただひたすらに頑張るしか仕方ありません。小生は27年間、夏休みと正月休みは自分で決めますが、それ以外はカレンダー通りに開いて、唯々愚直に頑張ってきました。健康上のドタキャンはなく、大病にならずに幸せでした。

12. 現在の態勢で必要にして充分であると思います。歴代の会長をはじめ役員諸氏に感謝しております。

13.-

#### 門田嘉弘 (S43)

1.-

2. 友人、家族

3.-

4. 疲れ易くなった

5.-

6. 山をみること、登山の話をするとき

7.-

8.-

9. クラウン、ランドクルーザー。運転免許は、2年前返上した。

10.-

11. 昔は看板を上げれば患者が集まったが、今はそうではない。場合によっては早く決断することも必要かと思えます。

12. 市整会の情報は非常に役立った。できるだけ集会に参加される事をのぞみます。

13. -

#### 奥田好彦 (S44)

1. 薬価差益の少ないこと。消費税入れると3.6%。悲しくなります。

2. 困った時は10代の大変だった時代を思い出しています。

3. 息子と酒飲み過ぎても、翌日仕事している時。

4. 鏡みた時。

5. なんでも受け付けてくれ。

6. サッカー、今年は今のところ10勝5負6分。ボート。

7. 泉北のラーメン屋。河内長野市には1つ星の喜市が



あります。

8.75才の先輩の先生と2人で、遠くは南へ串本、西へは別府まで、ボートで走っています。雷が鳴ったり、霧で視界がなくなったり、大波の中、走るの怖いですが、生きている実感があり、おもしろいです。

9. トヨタサーフに乗っています。

10. 若い時は裕次郎、今はありません。

11. 開業して30年、70才になりました。勤務医時代は1人で120名以上の入院患者を受け持ちして、1日中手術に外来に、回診に、書類書きに、めがまわって倒れそうな事もありました。人工骨頭の手術なんか、1人で全麻かけて、看護婦さん相手に、皮膚切開から縫合まで15分で終わった事もありました。私の友人の先生が「御前達開業医なんか、たまに耳学問もするやろけど、開業したらそれ以後どんどんと出来ない医者になっていく」と言われました。なんでもずけずけ言う奴ですが、その通りだと思っています。もうやめてもよいと思いますが、何の取り柄もない爺さんになるのに躊躇しています。流行りすぎたらしんどいし、流行らなんだら借金返せません。若い時はがんばって働いて、あとはのんびりと仕事して下さい。

12.-

13.-

#### 黒田晃司 (S46)

1. 第25日本臨床整形外科医会の実行委員長を務めさせていただきました。大阪は日本一の会員数500名を誇っております。3年前から研修会の開催時に予告と学会への参加を呼びかけ、

演題を出して下さるようお願いいたし続けてまいりました。病診連携の成果として私の関連するものは大阪市立大学関連、堺市の私の近隣の病院。整形外科の後輩の先生方にこの趣旨に沿って演題をお願いしてまいりました。また全国のCOAのメンバーのところへも手分けして出かけてゆきました。努力の甲斐あって予想以上の演題を出していただきました。368題の応募があり、大喜びして必死になって準備をいたしました。しかし予備登録の人数が予想の800人にはるかに及ばず、当日参加で受付窓口が混雑しないよう窓口を広げて準備いたしました。結局予想の2000人どころか1450人。大阪からは109人しか参加してもらえませんでした。これは演題発表者+学会運営者+15人でした。残念でした。ご参加、運営にご協力いただいた皆様有難う



ございました。

2. ①奥様・家族 ②友人・知人・先輩 ③？

3. 限界ですね

4. 老眼。本を読むときメガネが必要。メガネをかけても読書速度が遅くなった。

階段を上がると動悸がして心臓が爆発しそうになる。ホテルの17階までエレベーターがとまっても階段を使って登っていたのは10年前でしたか？

5. 患者を紹介した私の真意を理解してください。紹介者の悪口を患者に言うのは最低の医者であることを知っておいてください。

6. あったら、教えて下さい。

7. 中華料理レストラン；花梨。譚國景。

8. 紅茶？

9. バイクこわい

10. 砂漠でラクダの隊商が近付いてきて来て、目の前を通り過ぎて通過してゆく、単調ではあるが情景がよく描写されている曲なんでしたか？題名が思い出せません。そう、ラベル作曲のボレロです。

11. 現状の保険医療では、整形外科医は勤務医でいるべきです。開業するならばリハビリテーション医療の経験を積んでください。

12. 同門会は開業したての30歳代から80歳代までの広い年代の人で構成されている団体です。これらの年代の人を対象に運営することを忘れないでいただきたい。お世話役に当たる皆様、順繰りですがご苦労様です。

13. よい伝統が時代に合わせながら続いていると思います。今後もお世話役の理事の先生方お願いいたします。

#### 南平克積 (S46)

1. ジェネリックの中には薬価が下がったのに納入価が上がったものがあるのは何故？

平成20年9月 プロイット 100A 4,300円 平成22年9月 4,900円以後そのまま

平成20年9月 エボントン 1,200T 4,080円 平成22年9月 4,920円以後同じ

2. 神：近くの内科医の親友。夜診の終了後まもなく。ちょっと風邪ひいて熱があるので風邪薬欲しいんやけど・・・。診たが最後チアノーゼ、呼吸困難。入院先を捜すのに内科医に来てもらって引受先の苦勞。

3. 緊急な腰痛でないけれど、レントゲン写真で圧潰像が骨粗鬆症の形と異なるので大病院に多発性骨髄腫の疑いで送ったら当たったとき。接骨院ではわからないだろ



う!!!

4. 走れなくなった。階段を下りるのに手摺り側に寄るようになった。太った若い女が太いのも健康的でかわい

いからただのメタボに見えるようになった。

5. 保存的治療も結構良好な結果あり。治療法はマニュアル化しないで、あくまでも患者の希望に沿って変幻自在にすべし。

6. 酒をのんでももう眠りたくないという程よく眠る。

7. 近くの四川料理の、腕に覚えのあるマスターのいる中華料理屋。

8. 読書。司馬遼太郎の街道をゆく。全43巻。各巻ごと、旅を歴史と民族学的考察を加えてすることで、その地にあこがれを想います。

9. トヨタで満足

10. 谷村新司、いい日旅立ち

11. 真実一路

12. 自分たちに必要な知識を教えてくれる講師を呼んだり、恥ずかしくて大きな声では言えないようなことを聞ける、話せる、そんな仲間関係を作っていって欲しい。

13.-

#### 山藤修輔 (S46)

1. 腹がたつことも、だんだんと、無く（少なく）なって来た。

2. 四面楚歌

3.-

4. 投薬するのに、薬品名が出てこず薬棚を見に行くことしばしば。

5.-

6. 人間万事塞翁が馬

7.-

8. 山登り

9. ランドローバーディフェンダー（白）で山登りしたい。

10.-

11.-

12.-

13.-



#### 山田忠尚 (S46)

1. 機嫌の悪い患者さんに対して、気を使って診察すること。

2. 神はいない、運と忍耐力

3. 時間内に多数の患者さんを気持ちよく診察したとき

4. 視力低下、親しい人の名前がすぐに出ないとき



5. 時間外でも積極的に老医師にかわって働くこと
6. 楽しい小説を読むこと
7. 知らない
8. 特になし、年に1～2回のスキーか
9. 乗りたい車—電気自動車（大型）
10. 大利根無情
11. 真面目に根気よく、いつでも患者さんを診察すること
12. いろいろな計画、ありがとうございます
13. 催しに参加できなく申し訳ありません

#### 菱川 泰 (S48)

1. 政治家が適当な事を言う。大臣がすぐに代わってしまう。
2. 今まで、どうも神さんはいなかった様な気がする。
3. ゴルフで年に1回80を切った時。
4. ゴルフでドライバーの距離が200ヤード以下になった。
5. 患者さんの説明、やさしさが足りない。自分の専門以外に興味を示さない。
6. スポーツ、旅行
7. 特になし
8. ハンゲル、中国語、テニス・・・
9. BMW New X6M(これから乗りたい車)
10. 韓国のポップス。テレビの朝ドラのテーマ曲。
11. 真面目に無理をせず、従業員にやさしくでしょうか。
12. そろそろいい年になったので、これからは孫をつれてイベントに参加しようと思ってます。
- 13.-



#### 楯憲一郎 (S52)

1. 痛い痛いと言えぬ人程、受診回数が少ない。レントゲンの説明をしても、翌週聞いてないと、又、聞きにくる。
2. 最終的には、妻と、相談に決めている。
3. 患者のおばあさんに「先生まだ年令より10才は若く見えるよ」といわれる時（本当の年令を教えた後で）
4. ・ 昨晚の夕食のメニューを時々忘れる。  
・ ゴルフで、てんかんパットが多くなった。  
・ 車で走っていて、なかなか、場所がおぼえられない。
5. あまり専門的になりすぎるのでは？



6. 映画、ドライブ、買い物
7. 特にありません
8. 特にありません。最近、京都のお寺巡りか！
9. 現在、乗っている車 -> ポルシェカイエンターボ、メルセデス 350E クーペ  
乗りたい車 -> アストンマーチン DB9
10. 演歌
11. ・ 節税と院内のスタッフの使い方（人件費等含めて）  
・ 経費を有効に使う
12. 若い先生方にもっと参加していただいて、更に発展させて欲しい。
13. 特にありません。

#### 鳴嶋 真人 (S54)

1. 超肥満で腰痛、変形性膝関節症で痛みの訴えの多い患者様に当方は運動療法でしっかり頑張りましょうと指導中、『先生！何食べたら痩せるんですか？』と……  
心の中で叫びます『もう何も食うな！動け』と。
2. 心の浄化（座禅）と発想の転換、価値観逆転、視線の変更。
3. 受傷数日の橈骨遠位端、粉碎骨折をクリニックの外來で骨片や関節面が綺麗に整復された術後レントゲンを見た時。
4. 電車に間に合うために小走りに走って、足がもつれそうになったり、電車内で頻脈を感じる時。
5. 解剖と病態をもう少し勉強して診療にあたって欲しい。（自らの若い時を反省しています。）
6. 美術館、博物館、骨董店を散策すること。  
サウナ風呂に入って、冷えたビールを飲むこと。
7. 珉珉のぎょうざ。串の坊の串カツ。
8. 陶芸。骨董。
9. レクサスのオープンカー（スポーツ車）  
（車種名をはっきり言えない程度の車好き？）
10. 中島みゆき、谷村新司かな？
11. 患者を身内の人と思って誠心誠意診ること。治療はベスト尽くすこと、出来なければベストの人を紹介すること。
12. 常のストレスの発散場所、機会であってほしい（今はたいへん苦勞、修行の場）
13. いつまでも、皆と仲良く憩いの場であり続ける。ユートピアを築きたい、創っていこう。



#### 西上茂樹 (S54)

1. 医療券（生保）が送られてきているのに中止との連絡があり、本人から徴収せよと。
2. 近隣の信頼関係のある病院
3. 色々な事に興味を失っていない
4. 同年令の患者が来られた時
5. よく勉強されていると思います
6. 早寝早起
7. くるみもち 田中清月堂（岸和田）
8. 鍼灸などの代替医療
9. 外車はやめて国産にします
10. カナダからの手紙（呉での研修医時代に流行していた）
11. 鍼や漢方をとり入れる。おもしろいが、経費的には？
12. より実践的な講演会を
- 13.-



#### 飯田伊佐男 (S54)

1. 腹をたてること、ぼやくこと、は精神衛生上よくないので、どんなことにも感謝の気持ちを忘れず、腹をたてないように心がけています。
2. 神は唯一、万物の創造主たる、天の神です。
3. 細かな創傷処理ができる時。
4. 髪の毛が白くなった、脛毛が薄くなった、身長が縮んだ、腰が曲がった（変形性脊椎症）etc
5. あまり早くから専門化せず、広く知識と技術を広げ、習得してもらいたい。
6. 犬（ラブラドルレトリバー）とじゃれ合うこと。
7. 美味しいお店があれば、できるだけ多くの人とうれしさを共有したいので、早く伝えたいと思います。
8. 自家製 DVD の製作。
9. キャンピングカー
10. ゴスペル
11. 借金を早く返したり、患者を集めたりする方法を考える前に、全ての人々のためにより良い医療をできているかどうか、常に自分を振り返りながら診療をすることの方が大切だと思います。
- 12.-
- 13.-



#### 佐藤哲也 (S54)

1. 働けど、働けど、吾、また働かん、それでも自分もハタもラクになりにつけり。
2. 私は前輪、妻は後輪、運転手は守護神、方向指示器は開業先輩の秋野先生です。守護神はだれにでもいます。（先日、体調をくずした時その数日だけ患者の数がへりました。とってもありがたかったです。守護神に感謝、感謝です。スタッフもとても不思議がっていました。）ただ、やさしい守護神だけでなく、試練を与えようとするいじわるな守護神もいるようです。後者は、自分が慢心したりうぬぼれが強くなると、やさしい守護神をおしのけて出てくる様です。いじわるな守護神もっと休んどいてお願い致します。
3. 午前診と午後診（夜診）がつながる事が時々あるが、なんとか頑張って働いているところです。1日連続13時間の診療は勤務医より辛いと思います。注射も1日150から200本うつのでゴルフダコならぬ注射ダコができています。
4. 新聞を離してみる様になったこと。廊下に落ちていた髪の毛をこれじいじいの毛と孫が持ってくるようになった、そんなにうすいかな〜。夜はバイアグラに頼っているしな〜。
5. 専門に偏りすぎると、いざ開業するとなると専門以外は一般外科医と同じレベルになっていることに気づくことになる。せめて注射のテクニックは上げておくべきだ。
6. 月に1回は妻と一緒に温泉旅行に行って溪流露天風呂で川のせせらぎを聞きながら本を読むのが最高の癒しです。週1〜2回これも妻と一緒に美味しい店を食べ歩きしています。もちろん昼食は抜いて体重は維持しています。午前診が早く終われば早くても3時〜4時ですがクリニックの横にある公園を散歩して、この公園の池で生まれたかもを呼び集め、食パン1斤分を細かくちぎって投げて餌付けしています。かもがけんかをしない様にあっちこっちに投げるのは結構良い運動にもなります。
7. 日本橋1丁目の福喜鮎（このあなごは日本一です）。新地 みやざわ（この料理長は中華の達人で以前料理の鉄人にも出演したことがあります）。両店ともミシュランにはのらないが☆☆☆級です。ふぐは甲子園の丸安がやはり日本1です。
8. 全国の温泉地の旅館や有名ホテルをはしごしています。



す。それぞれの旅館のあら探しをして評価査定をしている。今は星のやりゾート巡りをしています。あら探しをするのも結構楽しいもので、軽井沢の星のやから、よくなった星のやをまた見に来てくださいと招待状をいただきました。

9. 日本の国のことを考えたら国産でしょう。よく壊れるがただでなおしてくれるベンツより、どこか壊れているがよく走る BM より、燃費のよい安心して乗れるハイブリッドのレクサスでしょう。

10. 少年時代、青春時代、川の流れのように

11. 患者を家族と思って診療する。そうすると自然と弱い分野の調べものをするし技術もみがける。ただ、家族からは患者さんにやさしく家族に冷たいと言われる。致し方ない。私はおまかせリハは嫌いだがリハビリ機器だけは値段より1番良いものを選んでる。先日もミナトのポカイネ2（低中周波治療器）9台とも入れ替えました。周りとの差別化は常に意識すべきである。さらによき先輩のアドバイスをもらうことである。とかく自分の分析は難しい。他人の評価はできても自分の評価はできない。自分の足りない点だけでなく、良い点も評価アドバイスしてくれる先輩を持つことである。私の場合は、後輩であるが開業の先輩である秋野先生にアドバイスをいただいた。

12. いいホテル（リッツカールトンなど）ですと食事もおいしいので出席者がふえるかも？ 紅葉と桜の時期はずらしてください。1年前から旅行の予約をしていますので。

13. 電子カルテに移行する際の手順について経験のある先生がおられましたら教えてください。いろいろ複雑なシステムを組んで1番使いやすいものをつくりたいのでよろしく願います。

田嶋考治 (S54)

1. 大阪市と大阪府に妙な人物が君臨していること。

2. やはり勤務医時代の仕事仲間、そして地区医師会の理事の先生方です。本当に感謝の連続です。

3. ポールスミスやカルヴァンクラインの服が結構キマッタとき。

4. 夜中の三時頃にトイレへ立つとき。

5. どのギョーカイでも若手の成長のスピードが速いのは、驚かされる今日この頃です。ご健闘を祈ります。

6. 庭に寝ころんで、ポオーッとただ空を眺める。

7. あります。だから教えません。



8. 水泳と山歩きでしたが、現在、健康上の理由でどちらも中断しています。早く再開したいのですが。

9. 車の運転は7年前にやめました。もともと車にはあまり興味がありません。

10. 夜来香、旅順工大予科逍遥歌「唐紅の花衣」、ベルリーナールフト、オールマイラヴィング

11. 口先や見せかけではなく、患者さんに奉仕すること。そうすれば患者さんが次の患者さんを連れて来てくれます。勤務医時代にできなかったこと、しようともしなかったことは何か。それを考えて実践すること。

12. 40周年おめでとうございます。より一層のご発展をお祈り申し上げます。

13. 出不精の私ですが、来年はもう少し出席させていただこうと思っています。

清水孝修 (S54)

1. 最近、交通事故での保険会社からの書面による回答を求めるケースが増えているのですが、後遺症診断をけっこう時間をかけ行ったにもかかわらず、同じことにつき



再度照会がかかることがあります。これがまた手間のかかる内容で、後遺症の診断に全てを記載したつもりなのに、うんざりします。

2. 職員の看護師にとってもとても頼りになる方がいます。オープン当初からの職員で、その人のご主人のご両親を含め、家族ぐるみで応援してくれています。何か困ったとき一度相談してみると、そこから、いつも問題解決へのヒントが得られます。とてもありがたい人材です。人は力なりと思います。

3. 毎週火曜日は外来を他の先生にみていただいて、自分は訪問診療に出かけています。12～15件にも及び、生野区から平野区、東住吉区に及ぶとても広い範囲です。それを自転車で4～5時間かけて回っています。雨の日、夏の猛暑、真冬の寒波の時などとても大変ですが、まだまだ大丈夫です。

4. 細かい物がとても見えにくい。老眼のつらさもどこかしさを感じます。遠近両用めがねを使用していますが、それでもダメな時があります。縫合糸はよく確認できません。めがねをとれば、まだよく見えます。

5. 患部に触れる、徒手の検査をするなど患者さんに触れていく機会をふやしてほしいと思います。

6. おいしい物をいろいろ食べて、おいしい酒をいろいろ飲むことです。

7. 決して秘密にするつもりはありませんが、自宅から

歩いて10分くらい、地下鉄西田辺駅のすぐ近くに和風の居酒屋っぽい料理屋があります。料理も酒も良しで、ストレス解消に役立っています。

8. 和食と吟醸酒の組み合わせ～奥の深い日本酒の世界にすっかりはまっています。量はたくさん飲めないのですが、これからも時間をかけて、死ぬまでに、日本全国のすぐれた日本酒を味わっていきたいと思います。

9. ボルボのセダントypeに乗っています。非常に運転しやすく疲れにくいです。次乗りかえる時も同じメーカーの車種がいいと感じています。

10. 「津軽海峡冬景色」「Everything」

11. 少しでもかんじゃさんに触れること。そしてあたりまえの治療をすること。それにちょっとのおもしろトークをまぜること。

12. 整形外科領域だけでなくいろんな広い領域にわたるような話題や講演をお願いします。いつも大変楽しみにしています。

13. 最近参加する機会が減ってしまい、とても残念に思います。でもこれからはもっと積極的に皆様と交流もしていきたいと考えています。

#### 堀澤欣弘 (S54)

1. 仕事に関しては腹を立てないことに決めています。いちいち腹を立てると、血圧が上がって身体に悪いので。

2. 子供が頼り、と早く言ってみたいです。

3. 5年前から参加している自転車のロングライドの大会で毎年、完走タイムを短縮できていること

4. 孫から「ジィジィ」と呼ばれて喜んでいるとき

5. 皆、真面目でよく勉強します。あとは一般常識を備えて人間性を磨いてください。

6. 自転車に乗って思いっきり汗をかくこと

7. 「キャブ・ド・パワー」

8. やはり自転車、乗るのも楽しいですがサイクルロードレース（例えばツール・ド・フランス）を観るのも楽しいです。

9. S-Works Roubaix SL3（エンジンは1955年製）

10. 「ハイ・ホー」

11. 職員を大切にしましょう

12. このままでいいと思います。理事の先生方、いつもありがとうございます。

13. 先日、近隣の生涯現役とおっしゃっていた先生が引退されました。現在57歳で、あと十年は頑張ろうと思っ



ていますが、その先の事を考えるようになった今日この頃です。

#### 和田健志 (S54)

1. 当院の前で整骨院が客引きをすること

2. 時間が解決してくれる

3. 長時間のドライブ

4. 小さな文字が見つらくなってきている

5. よく頑張っていると思う

6. 源泉かけ流しの温泉に入ること

7. 特になし

8. 本物の温泉巡り

9. 車は故障なく、よく走るもので十分

10. 特になし

11. マイペース

12. 皆さんよく頑張っていると思う

13.-



#### 安田浩成 (S54)

1. 小さい子連れの若いお母さん。診察室の中やすぐ外で騒いでいるのに、注意ぐらいしてや。

2. いざという時はやっぱり奥さん。しっかり頼むでえ。

3. 膝の関注で針先で関節包を貫く感触がわかった時。

4. 書類を書いている時に手の筋肉がつってくること。

5. 触診してや。

6. お笑い。「やす・きよ」や「阪神・巨人」。

7. 南紀田辺「からかさ」のクエ料理。

8. 何かの楽器を弾きたい。

9. 車は何でもよい。リニア新幹線に乗りたい。

10. 「昴」。

11. 患者さんが患者さんを集めてくるので、あせらずじっくりと。

12. 会員の皆さん、市整会の行事に参加してください。

13. 楽しい市整会にしていきたいと思います。



#### 宮脇裕二 (S55)

1. 原稿、アンケートを漏れ無く集めきれない自分のふがいなさ。

2. やはり最後は家内、子供といった家族や友人でしょう。

3. 最新のパソコンが欲しくなるこ



と

4. 集合写真を撮ったときの頭の寂しさ。
5. もっと海外に出よう。
6. 海外旅行
7. イタリアレストラン カメリーノ
8. かつこいい市整会会報をつくること。 夢かな？
9. BMW alpina B3 biturbo , 乗りたいのは Alpina B6, AM DB9 かな
10. 8時だよ全員集合の場面が変わるときに演奏される曲。その後いかりや長介さんが『じゃー後半行ってみよー』
11. コンサルに任さず自分で情報収集すること。
12. もっと会報に投稿を
13. つたないアンケートで大変お騒がせいたしました。

#### 秋野一男 (S56)

1. ナースの募集に新聞の折り込みチラシを使いますが、そもそも、最近の人は新聞自体をとっていない！
2. 神仏を尊び、神仏を頼まず！
3. お酒がたくさん飲めること
4. 暗いところで視力が落ちている
5. 私も若い整形外科医です！
6. お酒、カラオケ
7. 昭和町「だるま寿司」
8. グルメ、旅行
9. 今は、ポルシェカレラS・・・女性に例えると、こんな感じです。  
「これほどの美人なので、きっと気が強くて、性格も悪いと思い込んでいましたが、実は、とても素直で、やさしくて、料理の腕もなかなかのものです。どんな時にもニコニコしていて本当にすばらしい人です。多少、洋服にお金がかかるのは、しかたないよねー。」
10. ウィスキーがお好きでしょ（石川さゆり）他多数
11. IQよりEQが大切。つまり人柄です。
12. 役員の方々には、感謝しています。
- 13.-



#### 斧出安弘 (S56)

1. ・怪我や病気が治らないのを、医者へのせいにする患者。  
・いつまでも、若いと思っているお年寄り。年寄扱いすると、怒る患者。  
・セカンドオピニオンを繰り返す、支払いのいらぬ患者。  
・メーカー品の薬を要求する、支払いのいらぬ患者。  
・しつけのできていない子供を連れてくる患者。  
(子供が患者の場合もあるが、たいてい親も常識が無い)  
・怪我をしてきて治療しているにも関わらず、「明日の試合に出ていいか？」と聞く、スポーツで怪我をした親子。(たとえば、手関節の骨折でギブスを巻いたとき等)
2. 事務長兼薬剤師の家内 (いつも感謝しております。)
3. 空手の稽古をしているとき。
4. 肩こりがひどくなった。夜に本を読めなくなった。
5. 頑張ってください。ただ、実地ができる現場が減っていることに関しては、可愛そうに思う。
6. ・空手の稽古  
・食べ歩き  
・ライブに行くこと。
7. COAOの会報の企画になっているので、ここでは言いたくない。
8. ・写真撮影。  
・空手の稽古。  
・ライブに行くこと。
9. ・現在は、トヨタの「ラブフォー」に乗っている。  
・プリウスαを買ったが、視界が悪く(特に左の後ろ)、数回ぶつかりそうになったので、半年で売却した。
10. ・整形ソング  
・東北支援ソング Picture Perfectの「君のとなりで」
11. ・誠実に、患者さんに接する事が、大切だと思います。頑張れ〜。
12. 基本、今のままで良い。
13. 市整会行事に、たくさんの先生方が参加されるようになれば、いいなと思います。



#### 田中直史 (S56)

- 1.-
2. 最初と最後は奥さん、家族かな？
3. 患者さんに説明し負けない事
4. メガネの使い分けが必要になった。書類を書くのが遅くなった。



5. (これは難しい・・・) 1人前の整形外科医とは？
6. やはり”肩甲骨”を使う事でしょう・・・。
7. あることはあるが、皆さん口が肥えているので・・・。
8. できる運動と言えば、ゴルフしかない。
9. 車には興味はありませぬ。(何でもよい)
10. 中島みゆき
11. やはり「口コミ」でしょうから・・・。患者さんには優しく・・・。私はまだ7年目で借金は半分残っています。
12. 大先輩方はいつもありがたいと思っています。何にも不満はありません。
- 13.-

### 喜馬秀樹 (S56)

1. 接骨院の増えすぎ
2. とりあえず御先祖の仏壇へ
3. 若い人より早く歩け、ティーショットでオーバードライブした時。若い時より精神的ダメージの回復が早い。
4. 肉体的疲労の回復がおそい。
5. 専門以外の疾患をトータルに考えた治療を心がけること
6. ゴルフ、水泳、読書、映画、酒、等
7. 展望も入れて、ハイアットリージェンシーホテル「天空」
8. ピークは過ぎたがゴルフか。
9. ブルーバード、アコード、セドリック、クラウン、ベンツ E、ベンツ 600s、BMW3 シリーズ、セルシオ、で、これから何に乗ったらいいですか？不明。
10. 1970年代のナツメロをたまに。
11. コツコツ、永く続けるよう。
12. よく頑張っておられます。参加少なくてすみません。
- 13.-



### 天野祐一 (S57)

1. 店頭でモノを買うような態度で受診する方が増えてきました。薬が欲しいだけなら薬局へ行けば、と言いたい。
2. やはり、一緒に働いた病院での先輩や同僚がなにかと力になってくれます
3. 56才をすぎて、全然思いません
4. ラケットを振れば右肘が、ゴルフクラブを振っても左肘が、10km歩いた翌日に山登りをすれば右膝が痛く



- なりました・・・老いたなあ
5. 特に病院勤めの先生方、責任と重圧の下、よくがんばっていると考えます
6. 運動して、声を出して、酒のんで、しっかり寝る！に、つきます。
7. 料理人の匂も10年くらい。長いスパンではどんどんはやりすたりがあります。20年前のいきつけの店は、ほとんど潰れてしまいました。
8. 長年やってきたドラゴンボートも、クルーが集まらず競技から娯楽レベルになってしまいました。パーソナルにできる趣味を模索中です。
9. 学生時代に乗っていたナナハンにまた、帰りたいです。ハーレーも3台乗りつぎましたが、やはりトラクターみたいで面白くない・・・
10. NHKのど自慢出場等、数々の思い出の曲がありますねえ。やはり三波春夫、俵星玄蕃でしょう！
11. アドバイスができる様な状況にないです。逆に見習うことの方が多様な・・・
12. 市整会のよいところをこのまま残してほしいですね。
- 13.-

### 増田 博 (S57)

1. 休みの日でもいつもと同じ AM6:30に目が覚めること
2. ご先祖様 神様
3. 年よりも若いネと言われる時
4. アルコールを深夜(12時)まで飲むと翌日に残ること。昔はそうでなかった。
5. 市整会活動、医師会活動に参加しましょう
6. 寝る
7. 診療所の近くにある串あげの店「松風」
8. なかなかできないが、断捨離
9. スプリンタートレノ、チェイサー、ウィンダム
10. なだそうそう
11. とにかく働く！！患者さんの目線で仕事をする
12. ずっと肩肘のはらない会であってほしい
- 13.-



### 柳井尚浩 (S57)

1. 特になし
2. 知人の弁護士
3. 無し
4. 鏡で自分の白髪を見たとき
5. 無し



6. アルコール
7. 彩々 (ラーメン)
8. 特になし
9. McLaren MP4-12C、ミツオカ・オロチ
10. 月のしずく
11. できるだけ借金を減らす
12. 早く会計やめさせてください。
- 13.-

#### 馬野隆信 (S58)

1. 国民のレベル以上の政治は無い、と同じように院長のレベル以上の施設はない、と言われること。
2. なんとと言っても奥様ですわ。後、あびこ観音と田辺不動
3. いけてまへん (>0<)
4. 最近、腰は痛いし、メニエルなるし、眼はかすむし・・・
5. 「整形外科〇〇クリニック」、そろそろ他にネーミングありません？
6. なんとと言っても美味しいもの食べて楽しく過ごすこと
7. 西田辺の「魚路」、ミナミの「栢田」「FUJIYA」(既に有名ですが)
8. 外で下手なゴルフ、家でサラウンドで映画、後は仕事が趣味みたいなもの
9. 今はメルセデスのS63AMGがお気に入り、通勤はCかAUDI Q5  
ガルウィングのSL欲しい、Gが板ガラスで無くなったらこれも。
10. アリス、吉幾三、(時代が分かりますね)
11. ユニクロはファッションを捨て、iPodは高音質を捨て、どちらも勝ってます。  
整形外科の専門性を捨て、認知症も一般内科も診れる整形外科開業、というのはどう？
12. 益々のご発展を皆様で
13. 共に生きる仲間が大切ですね。



#### 光武 宏 (S58)

1. 時間外の骨折で入院が必要なPt.の入院先をさがすのが大変
2. 先輩の先生に頼みます
- 3.-
4. 階段の昇降がイヤになる
5. 患者さんに対していい対応すること
6. スポーツ、ハイキング



- 7.-
- 8.-
- 9.-
10. 赤い鳥の曲 (翼を下さい)
11. 無理な投資はしないこと
- 12.-
- 13.-

#### 中瀬嘉人 (S59)

1. この有限性の人生において些細なことに腹を立てている自分に腹が立つ
2. 自然の神は存在する。その神は別名、偶然あるいは誤謬ともいい、あらゆる生物を繁殖へと駆り立てるが、個体の滅亡には一切無頓着である。
3. ジムでスクワットとベンチプレスのトレーニングをしているとき。
4. レース (トライアスロン、マラソン) に出たとき
5. まともな大人の医者にももの申すことはありません。
6. (1) 美食をすること。  
(2) 旨い酒を飲むこと。  
(3) 物欲を満たすこと。  
(4) いい女と付き合うこと。
7. 言いたい美味しい店はある。
8. 時計の収集 (ウブロ、オーヂマピゲ、IWC)
9. 現実 -> ボクスター  
夢 -> アヴェンタドール、ヴェイロン、マクラレン
10. さっき聞いた曲 (ジャンルを問わず)
11. (1) 欲しい機械をどんどん入れること -> 機械は裏切らない。  
(2) 借金を気にせず堂々としていること -> そもそもこの肉体が借り物だ。  
(3) いやな患者を追い出すこと -> ストレスが減り仕事を長く続けることができるのでそれだけ得になる。
12. 100周年、200周年と続きますように。
- 13.-



#### 長濱信一 (S59)

1. 自分の腹が出てきたこと
2. 一応、家内とクリニックのスタッフということにしておきます
3. 趣味で出ているマラソン大会で、世代別の平均記録より上位に



入った時

1. 昔ほどたくさん食べられなくなったと思う時
2. 大きな視野で患者を診て欲しい
3. よく笑うこと
4. おいしいイタリアンの店があります
5. 犬のしつけ
6. トヨタ車で十分満足している
7. 我が家の愛犬の歌（自作自演）
8. 開業したばかりではありませんが、私にもアドバイスが欲しいです（開業4年目）
9. 未永く続いて欲しい

### 橋本亮治 (S60)

1. 保存療法で安静を守ってくれる人が少なくなりました。
2. やはりインターネットは便利です。
3. 小さい女の子にハイタッチされたとき
4. 毛染めのサイクルが早くなったとき
5. みんな結構爽やかですね
6. 何も考えずボーッとしていることです
7. フレンチ フォン・ド・タナハシ
8. m3.com のポイント集め
9. 運動神経がさらに悪化し卒業がちらついています
10. 嵐にいまはまっています
11. 地道にコツコツやる方が失敗が少ない様に思います
12. 開業医の良きアドバイザーでいてください
13. これからも宜しく願いいたします。



### 伊藤智康 (S63)

1. 国民のことを考えていない政治。マスコミに踊らされている国民。日本はどうなっていくのでしょうか？
2. やはり妻でしょ！
3. コンペでドラコン賞を取った時
4. 小さな文字が見にくい時
5. がんばって下さい
6. 温泉でゆっくりくつろぐ
7. 中崎町にある「フスマにかけろ中崎壺丁」というラーメン屋
8. 金魚の飼育
9. 将来乗りたい車、ベンツ G-Class



10. ゆずの「虹」

11. 在宅医療をされている先生に、医療機関側における良い面と悪い面（大変なところ等）をお聞きしたい。
12. これからも会員や家族が集える場所を提供して下さい。
- 13.-

### 國重昌彦 (H2)

1. 生保の患者さんのあたりが強いこと。
2. 友人と職員と患者さんです。
3. 習っているジャズピアノやジャズサックスがうまく演奏できたとき。
4. 水泳しているとき。
5. がんばってな。
6. たくさんありすぎて、かききれません。
7. たくさんありすぎて、かききれません。
8. ジャズサックス、ジャズピアノ、車のレース。いろんな会の幹事。
9. たくさんあって、書けません。
10. 最近では、「あんた」
11. たくさんありすぎて、かけません。
12. 気楽な会もつくっていただけたら。
- 13.-



### 小堀肇彦 (H3)

1. 腰痛、膝痛、頸部痛、肩こり、打撲捻挫、関節痛、皮下出血、挫傷、感冒熱発、しびれ等々軽症例患者 (RA 除く) に腹がたつときもある。
- 2.-
3. 体脂肪率 17%、体重 65kg、40 年近く維持していること
4. 思考能力低下、易疲労性、筋弱力、早朝覚醒
- 5.-
6. 海外旅行
- 7.-
8. テニス、ジム
9. マツダ、トヨタ、本田、次はスバル
- 10.-
11. 自分の親、子供に対するのと同じ対応をすること
- 12.-
13. 生保、自賠責患者に対する複雑な思い



### 木下裕介 (H7)

1. 月遅れで「労災でお願いします」と言われた時。
2. 不在です。寝ます。
3. 朝 4:00 に大阪を出て、ゲレンデで夕方まですべって、翌日普通に仕事をした時（スキーです）
4. 老眼です
5. まだまだ一言言える立場ではありません。一言言えるようにがんばります。
6. 寝て忘れます。
7. このアンケートをもとに、食べ歩きたいです。すみません。
8. 凝っているわけではないですが、去年はじめてキャンプをしました。
9. プレリウド->インテグラ->CR-V->CR-V->ステップワゴン->ステップワゴン。今までずっとホンダ車です。
10. とんぼ
11. ローンとリースどっちが得。その使い分けは？
12. 誰にも、どんな事でも相談できる会であってほしいです。
- 13.-



### 鈴木英介 (H7)

1. 医療器具が故障してひとつのパーツだけを買おうとしたら、???というくらいの値段であったこと
2. 困ったときにはまわりの人に助けられています
3. 波乗りで肩レベルの波にのれたとき
4. 冷たい水でうがいをする歯にしみるとき（いわゆる知覚過敏とはこれかと）
5. 整形外科の学習範囲が広がる一方で研究のレベルもあがり世間の要求レベルもあがり大変だとおもいますが、頑張ってください。
6. おもいきりハードに運動することです
7. ありますが、やはり混んでますね。
8. 波乗り：自然相手のスポーツで、波の大きいときには、さらわれそうになって怖い目にあいましたが、しばらく続けようと思います。
9. いま乗っているバイクはフォルツァ (FORZA)
10. ビートルズ、はたまたキャンディーズ？  
K-POP 曲はその都度かわります



11. 年末年始の休みと夏休みはいつ頃、どれくらいにされていますか
12. お世話になっています。現状に満足しています。
13. 特にありません。

### 森川献志漢 (H8)

1. 患者さんには出来るだけ噛み砕いて説明をしているつもりなのですが、説明が終わった後に、もう一度同じことを聞かれたときに、少し凹んでしまいます。
2. 僕自身、キリスト教ですが、神様は信じません。ただ、それらの教えは、どの宗教でも突き詰めれば正しいとの認識はあります。
3. 6歳の娘にお父さんが、一番かっこいいと言ってくれる時、まだまだ頑張らなければと思います。（親ばかでスママセン）
4. ナートしていても、少し離して術野を見てしまうとき、老眼を認識し、老いを感じてしまいます。
5. 僕もまだまだ若輩であり、仲良く宜しくお願い致します。
6. 次の日の事を考えずに、飲酒かな？
7. 藤井寺駅前にある志万浅（値段はまあまあしますが、鉄板焼きの串料理で、美味しいです。）
8. 下手くそであります、Golf（宜しくお願い致します）
9. 走ればこだわりありません
10. 矢沢永吉の I Love You OK
- 11.-
12. ご迷惑をおかけする事が多いと思いますが、宜しくお願い致します。
- 13.-



### 明石健一 (H11)

1. 治療費未収金問題。思った以上に多くてびっくりです。
2. 市整会の諸先生方。困ったときは相談に乗って下さい。
3. 開業して2年、俺ってまだまだだなどと思うことの方が多いかも。
4. 鼻毛に白髪を発見！
5. 38歳、私自身まだまだひよっこです。
6. 私にとっては5歳の娘と2歳の息子と遊ぶこと。
7. 大阪狭山市の懐石料理 加賀。味は有名店に勝るとも劣らない。



8. デジタル一眼レフカメラで子供の写真を撮ること。
9. 夢はハーレーダビッドソン。
10. ぐるぐるぐるぐるグルコサミン♪世田谷育ちのグルコサミン♪
11. 人を雇うって診療以上に大変かも。良いアドバイスがあれば教えてください。
12. 開業したての私にとって、市整会は開業医として必要な最新の知識を習得でき、経験豊富な先生方とも親睦を深めることができる会と考えております。非常に有意義で素晴らしい市整会の更なる発展を期待しております。
13. 市整会の活動に微力ながらお役に立てればと思っております。

#### 小竹志郎 (H11)

1. いっぱいありすぎて、何をぼやけばよいのやら・・・
2. 奥さん
3. 夫婦でワイン2本空けても2日酔いにならなかった時
4. 最近ラーメンの好みがだんだん豚骨 => 魚介系に・・・
5. 人生苦もありゃ楽もある？どっちに進んでもやっぱり大変にはちがいないので、老若男女各々頑張りましょう
6. ゴルフ（といえるスコアになりたい）
7. 奈良にうまいものなし、は過去の話です
8. ゴルフ
9. Ferrari 512BBi（現在トミカのみ保有）
10. ボブディランー風に吹かれて
11. ありきたりの疾患にしっかりと効果を出すこと
12. 先輩方の貴重なノウハウを埋もれさせないようにデータ化して保存共有する事
- 13.-



#### 高尾泰広 (H13)

1. 妻がママ友と毎日 昼食で ええもん食べに出かけてること。
2. あまり 誰にも頼みません・・・
3. 全然いけてないです・・・
4. 妻におっさん臭がするといわれた時
5. 週一の飲み歩き
6. あります。
7. 子供にスキーを教える
8. ベンツ ゲレンデワゴン
9. ゴールデン ボンバーの女々しくて

10. どうしたら もうかりますか？
11. すいません・・・
- 12.-
- 13.-

#### 田口 晋 (H13)

1. 消費税アップです。
2. 誰かいるようないないような。
3. 最近マラソンのタイムが縮みました。
4. 極力無理をしないようになりました。
5. 当直頑張ってる。
6. 黄色い球を無心で追いかけます。
7. ジャンボたこ焼き？。
8. ランニング。
9. 死ぬまでにもう一度ビックバイクに乗りたいです。
10. インディジョーンズのテーマ曲。
11. 内科に比べ 診療単価が低いのが悩みです。
12. 今後とも宜しくお願いします。
- 13.-



#### 木村浩朗 (H14)

1. 突合点検。1年前の薬に文句をつけられても、、、
2. 困った時に相談事を聞いてくれるのは、家のクマのぬいぐるみさんだけです。
3. 診察中に「もっと若いとおもってました」と言われた時
4. 子供の運動会の保護者参加に恐怖を感じた時
5. 志を高く頑張ってください
6. 運動
7. 何を食べても美味しく思えます。
8. 読書
9. フィガロ 一度ボンネットから煙を吹きました
10. インペリアルのマーチ
11. 長続きさせる秘訣は？
12. まだまだ若輩者ですので、御指導、御鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。
- 13.-



#### 中尾佳裕 (H14)

1. 野田首相がウソばかりついてなかなか辞めないこと。
2. 家族、友人、スタッフその他かわってくれている人全て
3. 日をあけずに筋肉痛が出た時
4. 走ると息切れするとき
5. 頑張っ
6. 打ちっ放しでひたすら打ち続けること
7. 秘密です
8. 野球観戦（阪神タイガースの応援）
9. 電気自動車のスポーツカー
10. ミッションインポッシブルのテーマ
11. レセプトで減点されないコツはなんですか？
12. 特にないです
13. ご指導よろしくお願いたします。



7. あまりない
8. マラソン
9. 10年間 Volvo
10. 特にありません。
- 11.-
12. 今までどおりの学術・文化講演会を楽しませてもらってます。
13. 異業種の文化講演会が楽しいです。

#### 斉藤英雄

- 1.-
2. 大学の医局
3. 患者の笑い
4. 夜間トイレに行く時
5. 特になし
6. 痛飲
7. 特になし
8. 小説を読むこと（読書）
9. バイク怖い・・・クラウン
- 10.-
11. 開業する気なし
- 12.-
- 13.-



#### 鄭 明和

1. 年をとってあまり腹立たなくなってきました。思いどおり行かない事やがっかりする事は多いですけど。
2. 本当に困ったときは、だれも助けてくれないと思っています。
3. やつとこのことでマラソン完走できた時（年に1回くらいですが）  
ゴルフでバーディとれた時（これも年に1回くらいですが）
4. 4件、5件も手術すると疲労感が強くなった時。
5. 患者に優しい先生になってほしい。
6. 本を読んだり、飲んで寝る。



# [ V ] 市整会の歩み (年表)

## 市整会の歩み

### 学術集会の経緯 2008年(平成20年1月)以降

※平成19年12月までは35周年記念誌に掲載

#### 平成20年(2008年)

- 1月19日(土) 新年会 於:全日空ホテル(エーザイ共催:参加44名)  
特別講演「上肢変形治療骨折に対するコンピューター支援手術」  
(座長:鳴嶋真人)  
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学准教授 香月憲一先生
- 2月 市整会会報発行(35周年記念特別号)
- 3月15日(土) 学術講演会 於:ホテル阪急インターナショナル(小野薬品共催:141名)  
「肩関節周囲疾患をどう診るか? その診断・治療とpitfall」  
(座長:玉田善雄)  
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学講師 伊藤陽一先生  
「脊椎疾患に対する最近の低侵襲手術について」  
(座長:頼 功)  
医療法人藤井会 顧問 石切生喜病院 整形外科 松田英樹先生
- 3月29日(土) 理事会 於:全日空ホテル(久光製薬共催)
- 4月19日(土) 総会 於:スイスホテル(旭化成共催:参加37名)  
特別講演  
「ステロイド性大腿骨頭壊死症の原因究明と予防法の開発」  
(座長:鳴嶋真人)  
大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教室 岩切健太郎先生
- 5月24日(土) 諮問委員会(13名)
- 6月14日(土) 学術講演会 於:北浜フォーラム(三菱田辺共催:参加109名)  
「RAを取り巻く膠原病診療の骨(こつ)」  
(座長:鳴嶋真人)  
近畿大学医学部附属病院 腎臓・膠原病内科准教授 船内正憲先生  
「整形外科診療において医療過誤に結びつく動脈疾患  
—閉塞性動脈硬化症と急性大腿動脈解離・瘤破裂—」  
(座長:宮内 晃)  
厚生連高岡病院 整形外科 診療部長 鳥嶋廣憲先生  
「整形外科疾患に対する薬物療法の落とし穴—効果的で安全な薬物療法を考える—」  
(座長:玉田善雄)  
兵庫医科大学 集中治療医学 教授 西 信一先生
- 7月27日(日) スケルトンゴルフコンペ 於:オークモントカントリークラブ 参加19名
- 8月 市整会会報発行
- 8月23日(土) これからの整形外科セミナー 於:全日空ホテル(久光製薬共催:参加34名)  
「整形外科における診療報酬の算定のポイント」  
加川医療経営企画 加川力男先生

「整形外科診療所が取り組む介護保険事業①  
～介護保険制度概略と訪問リハビリ事業を中心に～」

荒木整形外科 荒木良守先生

「整形外科診療所が取り組む介護保険事業②  
～施設系事業、ヘルパー事業を中心に～」

ウマノ整形外科クリニック 馬野隆信先生

「医院のIT化」

たかやま整形外科 高山 優先生

9月27日(土) 理事会 於：大東洋(帝人共催：参加19名)

10月19日(日) 家族会(会員20名 家族27名 計47名)

落語家と行くなにわ探検クルーズ中之島・大阪城コース(貸切船)

海遊館～料亭芝苑～川めぐり

2次会 B・Roxy(日本橋1丁目、黒門市場のすぐ近く)

11月8日(土) 諮問委員会 於：梅田スカイビルタワー(参加10名)

11月8日(土) 学術文化講演会 於：梅田スカイビルタワー

(日本臓器共催：参加会員78名、ご家族5名、計83名)

学術講演 「爪について」

(座長：鳴嶋真人)

東京慈恵会医科大学 形成外科 教授 児島忠雄先生

文化講演 「笑の話」

(座長：頼 功)

産婦人科医・日本笑い学会副会長 昇 幹夫先生

11月 市整会会誌発行

12月23日(祝)第17回市整会ゴルフコンペ 於：泉ヶ丘カントリークラブ(参加25名)

## 平成21年(2009年)

1月17日(土) 新年会 於：ANAクラウンプラザホテル大阪

(エーザイ共催：参加講演会45名 懇親会ご家族を含めて75名)

特別講演「軟骨再生の歴史、現状、将来」

(座長：玉田善雄)

大阪市立大学大学院研究科 准教授 脇谷滋之先生

アトラクション『ザ・クラシック笑』

ピアノ 亀山法男、ソプラノ 亀山勝子ご夫妻

3月7日(土) 学術講演会 於：帝国ホテル大阪(小野薬品共催：参加会員94名、非会員63名、157名)

「整形外科医のための外傷初期治療」

(座長：頼 功)

大阪市立大学大学院医学研究科 救急生体管理医学教授 溝端康光先生

「整形外科医のためのMRI」

(座長: 鳴嶋真人)

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科展開医療科学講座  
放射線診療治療学 教授 上谷雅孝先生

3月28日(土) 諮問委員会 於: ホテル阪急インターナショナル (参加11名)

4月4日(土) 理事会 於: ANA クラウンプラザホテル (久光製薬共催)

4月25日(土) 総会 於: スイスホテル大阪南海 (旭化成ファーマ共催: 参加37名)

特別講演

「Noggin siRNA 導入による BMP の骨分化誘導作用増強」

我汝会えにわ病院 整形外科 高山和士先生

6月13日(土) 学術講演会 於: ヒルトン大阪

(田辺三菱製薬共催: 参加125名 会員74名 同門会15名 非会員36名)

「関節リウマチの新しい治療法—病診連携の取り組みを交えて—」

(座長: 小竹志郎)

大阪南医療センター 免疫異常疾患研究室室長 大島至郎先生

「整形外科診療に役立つパーキンソンニズムの基礎知識」

(座長: 鳴嶋真人)

ベガサス馬場記念病院 神経内科部長 北口正孝先生

「医療訴訟の現状とその対策」

(座長: 玉田善雄)

若松陽子法律事務所 弁護士 若松陽子先生

7月 市整会誌発行

7月26日(日) スケルトンゴルフコンペ 於: オークモントゴルフクラブ (参加20名)

9月12日(土) 理事会 於: 大東洋 (帝人共催: 参加23名)

10月18日(日) 家族会 (参加25名)

インスタントラーメン発明記念館=チキンラーメン手作り体験他=有馬温泉=  
有馬グランドホテルにて入浴、昼食=神戸花鳥園

11月7日(土) 学術文化講演会 於: 天王寺都ホテル (日本臓器共催: 参加97名、内会員63名)

学術講演

「整形外科におけるNSAIDs無効例・禁忌例の薬物療法  
—ペインクリニックの立場から—」

(座長: 古瀬洋一)

京都府立医科大学疼痛緩和医療部部长病院教授 細川豊史 先生

文化講演

「災害時の広域緊急医療制度

—本当に不足しているモノは何か?—」

(座長: 西澤 徹)

防衛省航空幕僚監部 首席衛生官 山田 憲彦 先生

「これからのこの国のかたち、医療のかたち」

(座長: 頼 功)

コラムニスト 勝谷 誠彦 氏

パネルディスカッション

「みんなで楽しいトークショーに」

パネリスト 勝谷誠彦氏、山田憲彦先生、西澤 徹先生

11月16日 市整会ホームページ開設

12月13日 第18回市整会ゴルフコンペ 於：泉が丘カントリークラブ（参加28名）

## 平成22年(2010年)

1月 市整会会誌発行

1月15日(土) 新年会 於：ANAクラウンプラザホテル（エーザイ共催：参加 講演会45名 新年会82名）  
特別講演 「脊椎外科診療におけるピットフォールについて」

(座長：頼 功)

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科教授 中村 博亮 先生

3月13日(土) 学術講演会 於：ホテル阪急インターナショナル  
(小野薬品共催：参加 会員87名 非会員72名、159名)  
「高齢者の脊椎疾患における新たな病態」

(座長：宮内 晃)

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科講師 寺井秀富先生

「膝関節のMRI」

(座長：鳴嶋真人)

首都大学東京 健康福祉部 放射線学科 教授 新津 守先生

3月27日(土) 理事会 於：ANAクラウンプラザホテル（久光製薬共催）

4月17日(土) 総会 於：天王寺都ホテル（旭化成ファーマ共催：参加44名）

特別講演Ⅰ

「GFPラットとWild-Typeラット間移植による異所性骨形成再生メカニズムの解析」

(座長：鳴嶋真人)

大阪市立総合医療センター 矢野公一先生

特別講演Ⅱ

「柔道整復師の何が問題なのか？ほんとに悪いのか？」

(座長：阪本邦雄)

オサダ整形外科 長田 明先生

6月12日(土) 学術講演会 於：天王寺都ホテル（田辺三菱製薬共催：参加 会員100名 非会員29名 129名）  
「ビデオで見る神経疾患」

(座長：宮内 晃)

北野病院神経内科 松本禎之先生

「RAにおける生物学的製剤による治療：より有効に、より安全に使うには」

(座長：鳴嶋真人)

大阪南医療センター 臨床研究部 部長 佐伯行彦先生

「整形外科診療とロコモティブシンドローム」

(座長：頼 功)

東京大学大学院 整形外科学 教授 中村耕三先生

7月 市整会会誌発行

7月25日(日) スケルトンゴルフコンペ オークモントゴルフクラブ（参加 会員10名 勤務医5名、15名）

9月25日(土) 理事会 於：大東洋（帝人共催：参加26名）

10月31日(日) 家族会（参加 会員20名、家族23名、43名）

行程：難波集合＝京都伏見（月桂冠大倉記念館、寺田屋）寺田屋浜乗船場三十石船～

寺田屋浜乗船場＝昼食 老舗料亭 京大和幕末維新ミュージアム（霊山歴史館）＝難波解散

11月13日（土）学術文化講演会 於：スカイタワー梅田

（日本臓器共催：参加 会員 57名 家族 15名 非会員 16名、88名）

学術講演

「整形外科領域における神経ブロック－合併症とその対応について－」

（座長：古瀬洋一）

東京クリニック 院長順天堂大学名誉教授 宮崎 東洋 先生

文化講演

「諦めなければ夢はかなう－陸上競技人生 20年の軌跡－」

（座長：斧出安弘）

大阪ガス株式会社・北京オリンピック 400mリレー銅メダリスト 朝原 宣治 氏

12月12日（日）第19回市整会ゴルフコンペ 泉ヶ丘カントリークラブ（参加 30名）

## 平成 23 年 (2011 年)

1月 市整会会誌発行

1月15日（土）新年会 於：ANA クラウンプラザホテル（エーザイ共催）

特別講演「脊椎外科この10年の歩み」

（座長：頼 功）

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教授 中村 博亮 先生

3月12日（土）理事会 於：阪急ターミナルスクエア 17（久光製薬共催 参加 19名）

3月26日（土）市整会学術講演会 於：リーガロイヤルホテル大阪

（小野薬品共催：参加 会員 62名 市大同門会 20名 その他 58名、140名）

「腰部脊柱管狭窄症の病態と治療」

（座長：宮内 晃）

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科講師 寺井秀富先生

「整形外科領域における MRI 読影のコツ」

（座長：鳴嶋真人）

慈恵医大附属病院 放射線学科教授 福田 國彦先生

4月9日（土）パソコン教室（総会前）参加 14名

4月9日（土）総会 於：天王寺都ホテル（旭化成ファーマ共催：参加 38名）

特別講演 I

「BMP（骨形成蛋白）と  $\beta$ -TCP を用いた脊椎固定術－ウサギを用いた実験的研究－」

（座長：鳴嶋真人）

講師 大阪市立大学 整形外科 堂園 将先生

6月18日（土）市整会学術講演会 於：ヒルトン大阪

（田辺三菱製薬共催：参加 会員 55名、同門会 31名、非会員 39名、125名）

「整形外科に於ける生物学的製剤の使用経験～レミケード早期導入が必要なのか？～」

（座長：小竹志郎）

「交通事故診療上の注意点—外傷性脊椎周辺症状を含めて—」

(座長:宮内 晃)

やました整形外科 山下仁司先生

(JCOA 自賠労災委員会委員長)

「ストレス解消と Fighting Spirit」

(座長:鳴嶋真人)

日本医科大学名誉教授 吉野槇一先生

7月 市整会誌発行

7月24日(日) スケルトンゴルフコンペ 花吉野カントリー倶楽部(参加 24名)

8月6日(土) 学術講演会 於:ホテルモントレグラスミア大阪

(ヤンセンファーマ共催:参加 会員45名、同門会22名、非会員19名、86名)

「整形外科領域の疼痛に対する新たな薬物療法—プレガバリンとオピオイドを中心に—」

(座長:西上茂樹)

サトウ病院 古瀬洋一先生

「非がん疼痛—治療の現状—」

(座長:鳴嶋真人)

順天堂大学医学部附属順天堂医院 井関雅子先生

10月1日(土)理事会 天王寺都ホテル 午後4時半(帝人共催:出席22名)

11月3日(木)家族会(参加 会員22名・ご家族24名 46名)

鳴門うずしお ウォッチングツアー

11月5日(土)学術文化講演会 於:天王寺都ホテル

(日本臓器共催:参加、会員30名 家族13名 同門会12名 非会員9名、64名)

「頸椎神経根症・脊髄症の外来診療と手術療法」

(座長:宮脇裕二)

高知医科大学 整形外科教授 谷 俊一先生

「夢を実現する力」

(座長:斧出安弘)

元バドミントン日本代表 小椋久美子氏

12月11日(日)第20回市整会ゴルフコンペ 於:泉ヶ丘カントリークラブ(参加27名)

## 平成24年(2012年)

1月 市整会誌発行

1月14日(土)新年会 於ANAクラウンプラザホテル

(エーザイ共催:講演会35名 新年会54名)

特別講演 「肩関節疾患に対する、診断能力の向上と治療効果の改善」

(座長:頼 功)

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学准教授 伊藤陽一先生

3月3日(土)学術講演会 於:ホテルモントレグラスミア大阪

(小野薬品共催:参加 会員40名 同門会9名 その他23名 合計72名)

「股関節疾患の画像診断 -MRI 診断を中心に -」

(座長: 鳴嶋真人)

九州大学大学院医学研究院 整形外科分野 講師 山本卓明先生

「骨粗鬆症に関連した脊椎椎体骨折の治療バリエーション」

(座長: 佐藤哲也)

長崎労災病院 副院長 小西宏昭先生

3月10日(土) 諮問委員会 於: 大東洋 (参加 12名)

3月24日(土) 理事会 於: 堂島ホテル (久光製薬共催: 参加 20名)

4月14日(土) 市整会総会 於: ホテルモントレグラスミア大阪 (旭化成共催: 参加 31名)

特別講演

「骨粗鬆症性椎体骨折において ADL 低下に関与する因子はなにか」

(座長: 宮内 晃)

大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 松本富哉先生

5月19日(土) 第1回40周年記念行事準備委員会 於: 大東洋 (参加 15名)

6月23日(土) 学術講演会 於: 天王寺都ホテル

(田辺三菱製薬共催: 参加、会員 45名 同門会 25名 非会員 41名、111名)

「関節リウマチ治療のパラダイムシフト」

(座長: 小竹志郎)

大阪市立大学大学院医学研究科 リウマチ外科学准教授 小池達也先生

「中高年の肩関節疾患～外来診療のポイント～」

(座長: 飯田伊佐男)

船橋整形外科病院 スポーツ医学センター

肩関節・肘関節外科部長 菅谷啓之先生

「超高齢社会における医学の課題～とくに先制医療を中心に～」

(座長: 鳴嶋真人)

財団法人 先端医療振興財団 理事長 井村裕夫先生

7月28日(土) 第2回40周年記念行事準備委員会 於: 大東洋 (参加 18名)

7月29日(日) スケルトンゴルフコンペ 於: 花吉野カンツリー倶楽部 (参加 31名)

9月8日(土) 第3回40周年記念行事準備委員会 於: 帝人ホール

9月8日(土) 理事会 帝人ホール (帝人ファーマ共催: 参加 24名)

10月27日(土) 第4回40周年記念行事準備委員会 於: 梅田スカイビル

10月27日(土) 市整会学術文化講演会 於: 梅田スカイビル

(日本臓器共催: 参加、会員 40名 家族 4名 非会員 7名、51名)

学術講演

「宇宙飛行士の健康管理と整形外科的問題」

(座長: 増田 博)

防衛医大 公衆衛生、医療環境、宇宙医学 立花正一教授

文化講演

「ネバーギブアップ! 我がプロレス人生」

(座長: 斧出安弘)

プロレスラー 藤波辰爾氏

11月18日(日) 市整会40周年記念式典 於: ANA クラウンプラザホテル

(参加、会員 57名 家族・ゲスト 49名、106名)

12月09日(日) 市整会ゴルフコンペ 於: 泉ヶ丘カントリークラブ (参加 28名)

# [ VI ] 資料

## スケルトンコンペ成績（敬称略）

2008.7.27

第15回 オークモントGC 参加者19名

	氏名	West	South	Gross	HDCP	Net
1位	頼 功	48	39	87	14.4	72.6
2位	豊川英樹	39	42	81	7.2	73.8
3位	森 英隆	47	43	90	15.6	74.4

2009.7.26

第16回 オークモントGC 参加者20名

	氏名	West	South	Gross	HDCP	Net
1位	頼 功	50	44	94	21.6	72.4
2位	南平克積	47	52	99	26.4	72.6
3位	吉中正好	44	42	86	13.2	72.8

2010.7.25

第17回 オークモントGC 参加者15名

	氏名	Gross	HDCP	Net		
1位	福岡慎一	48	47	95	24	71
2位	田中直史	46	43	89	15.6	73.4
3位	山下 豊	42	52	94	19.2	74.8

2011.7.24

第18回 花吉野CC 参加者22名

	氏名	OUT	IN	Gross	HDCP	Net
1位	林 正樹	44	41	85	13.2	71.8
2位	本田泰郎	40	43	83	10.8	72.2
3位	豊川英樹	40	43	83	10.8	72.2

2012.7.29

第19回 花吉野CC 参加者31名

	氏名	OUT	IN	Gross	HDCP	Net
1位	馬野隆信	44	46	90	19.2	70.8
2位	原 好延	44	44	88	16.8	71.2
3位	島田比呂志	43	44	87	15.6	71.4

## 市整会コンペ成績（敬称略）

2008.12.23

第17回 泉ヶ丘CC 参加者24名

	氏名	岩湧	金剛	Gross	HDCP	Net
1位	頼 功	50	50	100	28.8	71.2
2位	中野博友	45	44	89	15.6	73.4
3位	森北育宏	38	41	79	4.8	74.2

2009.12.13

第18回 泉ヶ丘CC 参加者28名

	氏名	葛城	岩湧	Gross	HDCP	Net
1位	豊川英樹	39	39	78	7.2	70.8
2位	喜馬秀樹	48	40	88	15.6	72.4
3位	南平克積	47	51	98	25.2	72.8

2010.12.12

第19回 泉ヶ丘CC 参加者30名

	氏名	葛城	岩湧	Gross	HDCP	Net
1位	片上善嗣	47	45	92	22.8	69.2
2位	豊川英樹	39	39	78	4.8	73.2
3位	森北育宏	43	40	83	9.6	73.4

2011.12.11

第20回 泉ヶ丘CC 参加者27名

	氏名	葛城	岩湧	Gross	HDCP	Net
1位	長濱信一	46	46	92	19.2	72.8
2位	南平克積	54	50	104	31.2	72.8
3位	豊川英樹	44	41	85	12	73

2012.12.9

第21回 泉ヶ丘CC 参加者28名

	氏名	岩湧	金剛	Gross	HDCP	Net
1位	中州 裕	53	52	105	32.4	72.6
2位	吉中正好	48	50	98	25.2	72.8
3位	島田比呂志	40	43	83	9.6	73.4

市整会ゴルフコンペは、夏は勤務医の先生方をお誘いしスケルトンゴルフコンペと称して、また冬は市整会の先生方のみでゴルフコンペを行っており、平成24年12月現在でもうすでに21回（スケルトンは19回）を数えています。別表のごとく過去5年間の成績をまとめてみましたが、夏と冬に行われますのであまり気候的には恵まれない状況にもかかわらず皆さん好スコアで回っておられ、先生方のゴルフに対する情熱が感じられます。

このように毎回優勝争いも白熱しますが、親睦を深める会としてラウンド中もラウンド後の懇親会もいつも和気あいあいとした雰囲気の中で行われています。また福利更生部門のゴルフ担当は平成23年度までは豊川英樹先生が幹事をされ、平成24年度より我々4人体制で幹事を務めさせていただいております。

前副会長をされていた楯憲一郎先生や福利更生担当の副会長である安田浩成先生を始め諸先輩方に助言をいただきながら、平成24年度もなんとか無事に終了いたしました。今後一人でも多くの先生が参加されますようなお一層楽しい会にしていく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

福利更生担当理事（ゴルフ担当） 文責 長濱信一（昭和59年入局）  
 田中直史（昭和56年入局）  
 上野憲司（昭和60年入局）  
 湊 康行（平成2年入局）

# 整形ソング

僕は整形のハンサムで  
生まれ育ちはボンボンよ  
箸しかもたない優男  
今じゃ大工に左官です  
あ、あ、整形

整形のハンサムボーイ

朝の八時のトップのオペは  
全麻コロンナ大低気圧  
足持ち 鈎引き ツツペンで  
ドナラレ タタカレ イビラレナガラ  
泣く 泣く 医局員  
ギブス巻きつゝ、泣きじゃくる

僕は整形のハンサムで  
いつもニコニコほがらかよ  
共に手をとり腕くん  
明日の整形もりたてる  
あ、あ、整形

整形のハンサムボーイ

平成二十四年十一月十八日  
市整会四十周年記念

## 編集後記

最後の原稿を集め終えて、2012年の瀬を迎えてこの原稿を書いております。私は35周年の記念誌も担当いたしました。まだその頃は市整会に入りたてで右も左も分からないままに記念誌を編集しましたので、十分なものを作ることができず、その反省の上に立って今回の記念誌を編集させていただきました。鳴嶋会長のご指導のもと、少し心残りではありますが、十分な原稿の数は集められたと思います。

教室からは中村教授、同門会からは北野先生さらに勤務医会からも高見先生からお言葉をいただきました。多くの教室、勤務医の先生方に支えられ、市整会会員の先生方のさらなるご努力で、市整会はこれからも発展し、50周年、60周年と年輪を刻んでゆくことになると思います。アンケートは25周年記念誌の形態を踏襲いたしましたが、結局この形が会員皆様の今のお姿を反映できると考えております。

このままいくと45周年記念誌も私が担当になってしまいますので、だれか助太刀よろしく願いいたします。

(広報：宮脇裕二)

---

発行責任者 会長 鳴嶋真人

市整会40周年記念行事 準備委員会

南平克積	頼功
楯憲一郎	阪本邦雄
安田浩成	増田宗義
宮脇裕二	斧出安弘
天野祐一	柳井尚浩
増田博	長濱信一
宮内晃	伊藤智康
木下裕介	森川献志 漢
小竹志郎	





